

\*\*\*\*\*  
**会 告 ・ 通 知**  
\*\*\*\*\*

会告欄は本会ホームページからも御覧になれます  
<http://www.ieice.org/jpn/kaikoku/kaikoku-tsuuchi.html>  
(本会ホームページ→左側 MENU 上から3番目会告ページ入る)

————— 平成 24 年 9 月号会告・通知目次 —————

◇CEATEC JAPAN 2012 との連携企画開催のお知らせ	2
◇CEATEC JAPAN 2012 電子情報通信学会 特別シンポジウム	3
◇CEATEC JAPAN 2012 電子情報通信学会 東京支部シンポジウム	4
◇第一種研究会開催案内(平成24年9月2日～10月5日)等	5
(CEATEC JAPAN 2012 との連携企画開催(第一種研究会, 第二種研究会)は告7, 8を参照)	
◇第二種研究会開催案内・発表募集案内	24
◇2012年ソサイエティ大会開催案内	27
◇支部大会	
・平成24年度(第63回)電気・情報関連学会中国支部連合大会	28
◇講演会・講習会・学術研究集会等	
・関西支部 IEICE 関西支部 ICT 基礎講座「OFDM 通信基礎(無線通信基盤技術と光通信への展開)」	28
電気四学会関西支部講演会及び見学会「理化学研究所スーパーコンピュータ「京」	28
電気四学会関西支部専門講習会「こんなことまでできる磁界解析 —磁気測定・モデル化の基礎から電気機器設計への応用まで—	29
電気四学会関西支部「准員及び学生員のための講演会(前半)」	29
電気四学会関西支部専門講習会「周波数再編とホワイトスペース」	30
・本会が協賛等のもの	30
◇国際会議	32
◇受賞候補者募集等	32
◇求人欄	34
◇お知らせ	
・銀行・ゆうちょ銀行(郵便局)口座自動引落しの割引特典のお知らせ	38
・御登録情報の変更・確認はマイページを御利用下さい	38
・平成24年9月号及び10月号和・英論文誌特集・小特集テーマ	38
◇論文特集号原稿募集	
・人や社会と共生するシステムを実現するネットワークソフトウェア論文特集号(和文論文誌B)	39
・ヒト・モノ・データをつなげるインターネットアーキテクチャ特集号(和文論文誌B)	40
・並列分散コンピューティングとネットワーク小特集号(英文論文誌D)	41
・ディベンダブルコンピューティング小特集号(英文論文誌D)	41
◇論文特集号論文募集カレンダー	43
♣複写される方へ	33
♣各種証明, 閲覧の手数料について	42
♣総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開について	38

## —CEATEC JAPAN 2012 との連携企画開催のお知らせ—

産業界における学会価値の向上を目的に、企業に所属する技術者が多数参加する CEATEC JAPAN 2012 と、昨年に引き続き連携することになりました。CEATEC JAPAN 2012 は、電子情報通信系最大規模の展示会です。CEATEC JAPAN 2012 と連携することで、電子情報通信分野で活躍する企業技術者に本会活動を広く知って頂くことができます。更に、CEATEC JAPAN 2012 展示会に参加した技術者が研究会に参加する、あるいは、研究会に参加した研究者が CEATEC JAPAN 2012 展示会に参加するといった相互交流が期待でき、電子情報通信分野の活性化につながる活動であると考えています。

今回は特別シンポジウムとして、「震災を乗り越えるために一日本の新たな ICT の進路—」及び東京支部主催シンポジウム「M2M ネットワークとビッグデータの活用」、並びに下記 4 件の研究会を計画しています。会員の皆様には、是非御参加下さいませよう、御案内致します。

なお、今年の CEATEC のテーマは「Smart Innovation—豊かな暮らしと社会の創造—」です。

<http://www.ceatec.com/2012/ja/application/about/about02.html>

【開催日】 10月4日(木)～5日(金)

【会場】 幕張メッセ(千葉市)

会場までのアクセスは URL (<http://www.m-messe.co.jp/access/index.html>) を御参照下さい。

【参加費】 無料

【申込方法】 当日会場に直接お越し下さい。なお、CEATEC JAPAN 2012 展示会に参加される方は、下記 URL から展示会参加のための事前登録をお願い致します。<http://www.ceatec.com/>(8月初旬掲載予定)

本会が主催する内容は次のとおりです。

### I 一般社団法人電子情報通信学会 特別シンポジウム

【開催日】 10月4日(木) 14:00～17:30(予定)

【会場】 国際会議場 2F コンベンションホール A

【テーマ】 日本の新たな ICT の進路

—震災後の ICT のあり方とその利活用を探る—

### ②電子ディスプレイ研究専門委員会(EID)

【開催日】 10月4日(木) 13:00～17:00(予定)

【会場】 国際会議場 3F 303号室

【テーマ】 フレキシブルディスプレイシンポジウム

### II 一般社団法人電子情報通信学会 東京支部主催シンポジウム

【開催日】 10月5日(金) 13:00～17:00(予定)

【会場】 国際会議場 3F 304号室

【テーマ】 M2M ネットワークとビッグデータの活用

### ③マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究専門委員会(EMM)

【開催日】 10月4日(木) 13:00～17:00(予定)

【会場】 国際会議場 3F 304号室

【テーマ】 マルチメディアのプライバシー保護最前線

### III 一般社団法人電子情報通信学会 研究会

#### ①パターン認識・メディア理解研究専門委員会(PRMU)

【開催日】 10月4日(木) 9:00～17:20(予定)

10月5日(金) 9:00～17:20(予定)

【会場】 国際会議場 3F 302号室

【テーマ】 パターン認識によるインタフェースの未来

#### ④アドホックネットワーク研究専門委員会(AN), ユビキタス・センサネットワーク研究専門委員会(USN), ICT スマートグリッド技術時限研究専門委員会

【開催日】 10月5日(金) 10:00～15:30(予定)

【会場】 国際会議場 3F 303号室

【テーマ】 未来のスマート社会を支えるサイバーフィジカルシステム—実社会とサイバー世界を有機的につなぐアンビエントネットワークとは—

※ CEATEC JAPAN (Combined Exhibition of Advanced Technologies) とは

CEATEC JAPAN は、世界最先端の技術・製品・サービス等が発表され、国内外の業界関係者を始めとする、幅広いユーザから大きな関心をもたれているアジア最大級の IT・エレクトロニクス産業に関連する業界の総合展示会です。

展示会場では、電子部品・デバイスから完成品まで多岐にわたる展示品目を、カテゴリーごとにゾーン分けを行い展開することで、顧客的確な誘致と効率の良い情報収集を可能にします。展示会場で開催するコンファレンスセッションでは、産業界のトップエグゼクティブや、業界をリードするキーパーソンがビジネスの革新、躍進に役立つメッセージを発信します。

CEATEC JAPAN 2012 は 10月2日(火)～6日(土)の5日間、幕張メッセにて開催されます。

詳細 URL はこちら <http://www.ceatec.com/2012/ja/application/index.html>

—CEATEC JAPAN 2012 電子情報通信学会 特別シンポジウム—

電子情報通信学会では CEATEC JAPAN 2012 のコンファレンスの部において、産官学各界を代表する皆様による特別シンポジウムを開催致します。

東日本大震災から1年半がたち復興に向けた動きが活発化しています。この大震災により、ICT（電子情報通信技術）にも多くの貴重な教訓が得られました。そこで、これらの教訓を踏まえた上で、一層の安心・安全でスマートな活気のある社会の実現を目指して、これからのICTのあり方や、その利活用の将来展望を中心に、産官学それぞれの立場から日本のICTの進路について思いを語って頂きます。

日 時：2012年10月4日（木） 14：00～17：30

会 場：幕張メッセ国際会議場 2階 コンベンションホール A

テーマ：「日本の新たなICTの進路——震災後のICTのあり方とその利活用を探る——」

主 催：一般社団法人電子情報通信学会

プログラム案

14：00 開会及び趣旨の説明 電子情報通信学会会長（京都大学） 吉田 進氏

14：05～14：25 基調講演「安心・安全のための情報通信技術への期待と政策」  
総務省官房総括審議官 久保田誠之氏

14：25～14：55 基調講演「未来社会の人材育成へのICTの応用」  
日本学術振興会理事長（慶應義塾学事顧問） 安西祐一郎氏

14：55～15：05 休憩

15：05～16：20 パネリスト発言（各15分）

(1) 東日本電信電話株式会社社長 山村雅之氏  
「NTT 東日本事業動向～東日本大震災を乗り越えて～」

(2) 日本放送協会理事技師長 久保田啓一氏  
「NHKの災害報道と機能強化への取り組み」

(3) 日本電気株式会社代表取締役執行役員社長 遠藤信博氏  
「安全・安心な社会インフラを築くICT技術」（仮題）

(4) NICT 耐災害ICT研究センターセンター長（東北大学名誉教授） 根元義章氏  
題目未定

(5) 株式会社国際電気通信基礎技術研究所社長 平田康夫氏  
「安心・安全社会の実現を目指した先端ICT技術」

16：20～17：25 討論

山村雅之氏、久保田啓一氏、遠藤信博氏、根元義章氏、平田泰夫氏

17：25 閉会挨拶 電子情報通信学会次期会長 井上友二氏

以上

様々なセンサデバイスや通信機器がグローバルにインターネットサービスを介して連携する「M2M ネットワーク」や、このセンサ・ソーシャルメディアなどから得られる大量情報によって構成される「ビッグデータの活用」が、将来の知識情報社会におけるインフラ基盤の一つとして注目が集まっています。そして、この ICT・ネットワーク技術によってエネルギー管理、環境モニタリング、医療、交通、物流、ヘルスケア、農業、防犯/セキュリティといった広範なアプリケーション/サービスが実現し、私たちの社会生活が大きく変わると期待されています。

一方、実際に導入したときに具体的に享受できるメリットや市場規模など、実用化に向けて研究開発以外の課題が顕在化しています。

また、「社会基盤としての ICT」として活用する場合、個別の事業者が全ての構成要素を構築する垂直型ビジネスモデルでの実用化にも限界があり、どこかのタイミングで各要素に特化した企業が提供するという水平型に移行するといった新たなプラットフォーム議論も活発に行われているところです。

本シンポジウムでは、「M2M ネットワーク」や「ビッグデータの活用」を「社会基盤/エクスペリエンスとしての ICT」といった視点から俯瞰し、国際競争力強化も見据えた実用化やプラットフォーム構築の課題や対応策についての議論を行います。

第1部では、まず、「ICTのトレンドとビッグデータの位置づけ」を解説頂き、「ビッグデータの活用」及びこれを支える「M2M ネットワーク」を構成する技術要素の現状の取組み及び実用化に向けた課題について、各分野の第一線で御活躍されている方々をお招きし、御講演頂きます。

第2部では、知識情報社会を実現するために、水平型で展開するような M2M 構築とビッグデータの活用に向けて、私たちは「今何をすべきか」について、パネルディスカッションを行います。

日 時：2012年10月5日（金） 13:00～17:00

会 場：国際会議場3階 304会議室

テーマ：M2M ネットワークとビッグデータの活用

#### 第1部 講演の部（13:00～15:15）

13:00～13:05 開会挨拶

鈴木 博氏 電子情報通信学会東京支部支部長、東京工業大学大学院理工学研究科教授

13:05～13:35 ICTのトレンドとビッグデータの位置づけ（講演25分、質疑5分）

鈴木良介氏（株）野村総合研究所 ICT・メディア産業コンサルティング部主任コンサルタント

13:35～14:05 リアルタイム解析によるビッグデータの活用（講演25分、質疑5分）

岡野原大輔氏（株）Preferred Infrastructure 取締役副社長

14:05～14:15 休憩

14:15～14:45 M2M クラウドへの取組みと課題（講演25分、質疑5分）

奥屋 滋氏 日本電気株式会社キャリアサービス事業本部副事業本部長

14:45～15:15 M2Mにおける無線通信デバイス分野の取組みと課題（講演25分、質疑5分）

高橋和晃氏 パナソニック株式会社東京 R & D センター通信コアデバイス開発センターエキスパート

15:15～15:30 休憩

#### 第2部 パネルディスカッション（15:30～17:00）

15:30～15:45 M2M と General Purpose Technology

森川博之氏 東京大学先端科学技術研究センター教授

15:45～16:00 ICT分野の国際競争力強化に向けた M2M・ビッグデータの活用（仮題）

布施田英生氏 総務省情報通信国際戦略局通信規格課長

16:00～17:00 パネルディスカッション

知識情報社会の実現に向け、今「M2M 水平型プラットフォーム」と「ビッグデータの活用」に必要な活動は何か

#### ・座長

森川博之氏（東京大学先端科学技術研究センター教授）

#### ・パネリスト

布施田英生氏（総務省情報通信国際戦略局通信規格課長）

鈴木良介氏（株）野村総合研究所 ICT・メディア産業コンサルティング部主任コンサルタント）

岡野原大輔氏（株）Preferred Infrastructure 取締役副社長）

奥屋 滋氏（日本電気株式会社キャリアサービス事業本部副事業本部長）

高橋和晃氏（パナソニック株式会社東京 R & D センター通信コアデバイス開発センターエキスパート）

## 電子情報通信学会各研究会開催通知

第一種研究会

平成 24 年 9 月 2 日～10 月 5 日

### ◎基礎・境界ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告 頁
安 全 性	20 日(木)	13 : 00～17 : 10	機械振興会館	10
情 報 セ キ ュ リ テ ィ	21 日(金)	9 : 20～17 : 30	機械振興会館	10
情 報 理 論	27 日(木)	15 : 00～16 : 40	草津セミナーハウス	13
	28 日(金)	8 : 45～14 : 50		
超 音 波	24 日(月)	13 : 10～15 : 35	秋田大学・手形キャンパス	18
I T S	10 日(月)	10 : 20～17 : 40	奈良先端科学技術大学院大学	19
スマートインフォメディアシステム	20 日(木)	10 : 00～17 : 00	鳥取県関西本部 (大阪)	20
	21 日(金)	10 : 40～12 : 00		
回 路 と シ ス テ ム 非 線 形 問 題	20 日(木)	12 : 40～17 : 25	高知県立大学・永国寺キャンパス	21
	21 日(金)	9 : 30～16 : 30		

9 月休会の研究会；信頼性，応用音響，VLSI 設計技術，信号処理，ワイドバンドシステム，システム数理と応用，思考と言語，技術と社会・倫理，イメージ・メディア・クオリティ

### ◎通信ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告 頁
インターネットアーキテクチャ	21 日(金)	9 : 40～17 : 30	IIJ・神保町三井ビル	11
ア ン テ ナ ・ 伝 播 マ イ ク ロ 波	27 日(木)	9 : 10～17 : 15	KDDI 研究所	12
	28 日(金)	9 : 10～17 : 05		
環 境 電 磁 工 学	7 日(金)	10 : 00～17 : 00	北海道大学・学術交流会館	14
ネ ッ ト ワ ー ク シ ス テ ム 情 報 ネ ッ ト ワ ー ク 通 信 方 式	20 日(木)	9 : 10～18 : 30	東北大学・電気通信研究所	16
	21 日(金)	9 : 10～17 : 45		
コミュニケーションクオリティ モバイルマルチメディア通信	27 日(木)	9 : 00～18 : 00	丸亀町レッツホール	22
	28 日(金)	9 : 00～16 : 40		

9 月休会の研究会；宇宙・航行エレクトロニクス，衛星通信，電子通信エネルギー技術，光通信システム，無線通信システム，フォトニックネットワーク，光ファイバ応用技術，情報通信マネジメント，ソフトウェア無線，アドホックネットワーク，ユビキタス・センサネットワーク

### ◎エレクトロニクスソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告 頁
電 子 部 品 ・ 材 料	25 日(火)	13 : 00～16 : 45	機械振興会館	11
マ イ ク ロ 波 ア ン テ ナ ・ 伝 播	27 日(木)	9 : 10～17 : 15	KDDI 研究所	12
	28 日(金)	9 : 10～17 : 05		

今後の予定；電子ディスプレイ (24 ページ)

9 月休会の研究会；機構デバイス，磁気記録・情報ストレージ，超伝導エレクトロニクス，電子ディスプレイ，電子デバイス，電磁界理論，シリコン材料・デバイス，集積回路，有機エレクトロニクス，光エレクトロニクス，レーザ・量子エレクトロニクス，エレクトロニクスシミュレーション，マイクロ波・ミリ波フォトニクス

### ◎情報・システムソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告 頁
パターン認識・メディア理解 情報論的学習理論と機械学習	2 日(日)	10 : 00～18 : 00	東京農工大学・小金井キャンパス	前号
	3 日(月)	9 : 30～17 : 00		
コ ン ピ ュ ー シ ョ ン	3 日(月)	9 : 30～17 : 20	法政大学・小金井キャンパス	9
医 用 画 像	4 日(火)	9 : 45～16 : 45	東京大学・本郷キャンパス	9
音 声 福 祉 情 報 工 学	28 日(金)	13 : 30～17 : 15	芝浦工業大学・豊洲キャンパス	13
	29 日(土)	10 : 30～17 : 15		
マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント	10 月 4 日(木)	13 : 00～17 : 00	幕張メッセ・国際会議場	7
パターン認識・メディア理解	10 月 4 日(木)	9 : 00～17 : 20	幕張メッセ・国際会議場	7
	5 日(金)	9 : 00～17 : 20		

MEとバイオサイバネティクス	27日(木)	13:30~16:10	信州大学・長野(工学)キャンパス	18
リコンフィギャラブルシステム	18日(火) 19日(水)	9:30~17:20 9:00~15:30	立命館大学・びわこくさつキャンパス	19
教 育 工 学	29日(土)	10:30~16:00	岡山理科大学	21
今後の予定;ニューロコンピューティング(24ページ)				
9月休会の研究会;ライフインテリジェンスとオフィス情報システム, 画像工学, 言語理解とコミュニケーション, コンピュータシステム, 人工知能と知識処理, ソフトウェアサイエンス, データ工学, デイペンダブルコンピューティング, ニューロコンピューティング, 知能ソフトウェア工学, ソフトウェアインタプライズモデリング, 情報通信システムセキュリティ, マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント, クラウドネットワークロボット, サービスコンピューティング				

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

研究会名	日 時		会 場	告 頁
福 祉 情 報 工 学 音 声	28日(金) 29日(土)	13:30~17:15 10:30~17:15	芝浦工業大学・豊洲キャンパス	13
マルチメディア・仮想環境基礎	27日(木) 28日(金)	9:30~17:50 9:30~14:45	根室市総合文化会館 根室グランドホテル	15
9月休会の研究会;ヒューマンコミュニケーション基礎, ヒューマン情報処理				

◇第二種研究会開催案内

フレキシブルディスプレイシンポジウム	10月4日(木)	幕張メッセ・国際会議場	8
ICTスマートグリッド技術研究会	10月5日(金)	幕張メッセ・国際会議場	8
第25回情報伝送と信号処理ワークショップ	11月20日(火)~22日(木)	湯元名水亭(北海道・北湯沢温泉)	24

◇第二種研究会発表募集

複雑コミュニケーションサイエンス研究会 (CCS)日韓合同ワークショップ	11月22日(木), 23日(金)	漢陽大学・ソウルキャンパス	25
第5回集積光デバイスと応用技術研究会	12月6日(木)	JR博多シティ	25
第5回超高速光エレクトロニクス研究会	12月7日(金), 8日(土)	ラフォーレ強羅	26
第4回情報ネットワーク科学(NetSci)研究会	12月14日(金)	関西学院大学・大阪梅田キャンパス	26

## —CEATEC JAPAN 2012 との連携企画開催—

産業界における学会価値の向上を目的に、企業に所属する技術者が多数参加する CEATEC JAPAN 2012 と、昨年に引き続き連携することになりました。CEATEC JAPAN 2012 は、電子情報通信系最大規模の展示会です。CEATEC JAPAN 2012 と連携することで、電子情報通信分野で活躍する企業技術者に本会活動を広く知って頂くことができます。更に、CEATEC JAPAN 2012 展示会に参加した技術者が研究会に参加する、あるいは、研究会に参加した研究者が CEATEC JAPAN 2012 展示会に参加するといった相互交流が期待でき、電子情報通信分野の活性化につながる活動であると考えています。

今回は特別シンポジウムとして、「震災を乗り越えるために—日本の新たな ICT の進路—」及び東京支部主催シンポジウム「M2M ネットワークとビッグデータの活用」、並びに下記 4 件の研究会を計画しています。会員の皆様には、是非御参加下さいませよう、御案内致します。

### ★マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究会(EMM)

専門委員長 馬場口 登 副委員長 西村 明・新見道治  
幹事 青木直史・日置尋久 幹事補佐 鶴木祐史・川村正樹

日時 10月4日(木) 13:00~17:00

会場 幕張メッセ国際会議場 3階 304 会議室 (千葉市美浜区中瀬 2-1. JR 海浜幕張駅より徒歩 6分. <http://www.m-messe.co.jp/> TEL [043] 296-0001 西村 明 (東京情報大))

議題 マルチメディアのプライバシー保護最前線

1. ユーザのニーズを満たすホテルパッケージ提示方法の考察  
○一藤 裕・曾根原 登 (NII)
2. SNS への写真投稿に起因するプライバシー侵害の類型化とその保護策  
○高田さとみ・町田史門・宋 洋・小山貴之・嶋田 茂 (産技大)・越前 功 (NII)
3. クラウドに適した秘密分散法  
○高橋 慧・岩村恵市 (東京理科大)
4. [特別講演] スマートライフインベーションを実現するビッグデータの活用とその課題  
渡辺克也 (総務省)
5. [特別講演] 法制度から見たビッグデータの活用とプライバシー保護—国際的な動向を中心に—  
石江夏生利 (筑波大)
6. [特別講演] クライシスに強い社会・生活基盤の創生—ライフログデータ駆動の情報循環とプライバシー保護—  
曾根原 登 (NII)
7. [特別講演] マルチメディア処理とプライバシー保護技術—実フィールドにおける個人情報開示と新たなサービスへの期待—  
馬場口 登 (阪大)
8. [特別講演] スマートフォンサービスの最前線とプライバシー保護  
高橋正人 (ソフバンク)
9. パネルディスカッション  
パネリスト: 渡辺克也・石江夏生利・曾根原 登・馬場口 登・高橋正人  
モデレーター: 越前 功 (NII)

◎研究会終了後、懇親会を会場に近い幕張ワールドビジネスガーデンにて行う予定です。参加費は一般 4,000 円、学生 3,000 円を予定しております。参加希望者は、一般/学生の別とお名前を現地担当幹事(西村 明 akira@rsch.tuis.ac.jp)へ 9月28日までに御連絡下さい。

CEATEC JAPAN 2012 との連携企画開催 (第一種, 第二種)

☆EMM 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

11月16日(金), 17日(土) 大分大 [未定] テーマ: 一般  
1月29日(火), 30日(水) 東北大 [11月9日(金)] テーマ: 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

### ★パターン認識・メディア理解研究会 (PRMU)

専門委員長 山田敬嗣 副委員長 大町真一郎・柏野邦夫  
幹事 飯山将晃・関 真規人 幹事補佐 田中 宏・堀田政二

日時 10月4日(木) 9:00~17:20

5日(金) 9:00~17:20

会場 幕張メッセ国際会議場 3F 302 号室 (駅から会場までのルートは, [http://www.m-messe.co.jp/docs/access/access\\_walk.pdf](http://www.m-messe.co.jp/docs/access/access_walk.pdf) [http://www.m-messe.co.jp/organizers/guide/conferencehall/guide\\_conference.html](http://www.m-messe.co.jp/organizers/guide/conferencehall/guide_conference.html))

議題 パターン認識によるインタフェースの未来

4日午前 一般セッション 1

1. 画像認識における効率的なラベリング手法 ○白須 遼・加藤ジェーン・間瀬健二 (名大)
2. Local Similarity Estimation for Multiple-shot People Re-Identification ○Guanwen Zhang・Yu Wang・Jien Kato・Kenji Mase (Nagoya Univ.)

特別講演 1

3. [特別講演] 未来のお買い物支援するインタフェース開発と取り組み 益子 宗 (楽天技研)
4. [特別講演] 実世界パフォーマンスのための動作認識基盤とその運用事例 寺田 努 (神戸大)

4日午後 特別講演 2

5. [特別講演] 高速脳波コミュニケーション時代の到来 長谷川良平 (産総研)

テーマセッション 1

6. Wiimote 及び Kinect を用いたユーザコントロールを導入した音楽に合った舞踊動作の自動生成 ○安永卓哉 (阪大)・中澤篤志 (JST)・竹村治雄 (阪大)
7. 距離画像を用いた顔部と表情の動態解析 ○伊勢崎隆司 (筑波大)・鈴木健嗣 (筑波大/JST)
8. 動作を構成する共通サブユニットを利用したハンドジェスチャ認識 ○王 妍蓉・島田敬士 (九大)・山下隆義 (和研)・谷口倫一郎 (九大)

テーマセッション 2

9. Android タブレットによるガイドシステムの構築 ○宮内泰明・中川祐治 (愛媛大)
10. 提示コンテンツのデザイン構造を用いた視線運動の意味理解 ○石川恵理奈・米谷 竜・川嶋宏彰 (京大)・平山高嗣 (名大)・松山隆司 (京大)
11. 衣服の形状・色・柄による類似性判定と検索への応用 ○数藤恭子・島村 潤・谷口行信 (NTT)

5日午前 一般セッション 2

1. 非線形超解像技術の提案と画質評価 ○合志清一 (工学院大)・関口裕之・清水嘉泰・池永 剛 (早大)
2. 角膜表面反射からの超解像シーンの推定 ○クリスティアン ニチュケ・中澤篤志 (阪大)

### 特別講演 3

3. [特別講演] デザインのためのインタフェース  
五十嵐健夫 (東大)
4. [特別講演] キャラクターアニメーションの制作及びインタラクションのためのインタフェース  
白鳥貴亮 (MSRA)
- 5 日午後 特別講演 4
5. [特別講演] 料理と食を取り巻く情報メディア技術  
山肩洋子 (京大)
6. [特別講演] インタフェース技術はどう食を変えるか  
稲見昌彦 (慶大)

### テーマセッション 3

7. 食材を認識して調理方法を重畳表示する調理支援システムの試作  
鈴木 優・森岡俊介・○上田博唯 (京都産大)

### 特別講演 5

8. [特別講演] 五感インタフェースによる食体験の拡張  
鳴海拓志 (東大)

#### ◆食メディア (CEA) 研究会協賛

☆PRMU 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

- ・12月13日(木), 14日(金) 山形大 [10月8日(月)] テーマ: 持続可能な社会に貢献するパターン認識 (HIP 研究会共催)

PRMU 研究会と HIP 研究会は、「持続可能な社会に貢献するパターン認識」をテーマとした研究会を12月に共催致します。

我が国の将来において、エネルギー供給や人口の高齢化への対応は、社会が持続的な発展を遂げていく上で避けて通れない最重要課題であり、そのために省エネルギーや再生可能エネルギー等の環境関連技術を核とするグリーン・イノベーションや、少子高齢化社会のための医療・介護技術等を核とするライフ・イノベーションが科学技術戦略の柱として位置付けられるようになっていきます。

上のような社会情勢を背景に、本研究会においても、持続可能な社会に貢献可能な研究テーマについて議論することは、新たな研究の方向性や他分野との連携可能性、社会へのアピールの機会等を生み出す上で極めて重要と考えられます。

そこで、このような研究テーマについて幅広く議論できる場を

提供することを狙いとして、本テーマセッションを企画致しました。対象とする研究テーマは、必ずしも先述のエネルギー供給や高齢化への対処のみに限らず、持続可能な社会に直接的・間接的に貢献可能と思われる様々な研究内容を広く含めるものとし、未来を見据えた萌芽的な研究から応用研究まで幅広く募集致します。是非、関連する多方面の研究者の方々からの活発な御投稿を宜しくお願い申し上げます。

なお、上のようなテーマセッションに加え、一般セッションも開催致しますので、こちらへの御投稿も併せてよろしくお願い致します。多数の御投稿をお待ち申し上げます。

- ・1月23日(水), 24日(木) 京大 [11月2日(金)] テーマ: 実時間処理, 実空間センシングと環境理解

**【発表申込先】** 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

#### 【問合せ先】

PRMU 研究会幹事  
E-mail: prmu-kanji@mail.ieice.org

### ●フレキシブルディスプレイシンポジウム

日時 10月4日(木) 13:00~17:00  
会場 幕張メッセ国際会議場 3F 303号室  
議題 フレキシブルディスプレイシンポジウム  
主催 電子ディスプレイ研究専門委員会

### ●ICT スマートグリッド技術研究会

日時 10月5日(金) 10:00~15:30  
会場 幕張メッセ国際会議場 3F 303号室  
議題 未来のスマート社会を支えるサイバーフィジカルシステム—実社会とサイバー世界を有機的につなぐアンビエントネットワークとは—  
主催 アドホックネットワーク研究専門委員会, ユビキタス・センサネットワーク研究専門委員会, ICT スマートグリッド時限研究専門委員会



## ★コンピューテーション研究会 (COMP)

専門委員長 今井桂子 副委員長 伊藤大雄  
幹事 全 眞嬉・河村彰星

日時 9月3日(月) 9:30~17:20

会場 法政大学小金井キャンパス梶野町校舎西館 W203 (小金井市梶野町3-7-2. JR中央線:新宿駅から快速で21分, 東小金井駅下車, 徒歩約15分. 東小金井駅からバス「武蔵小金井駅行」に乗り, 「法政大学」下車. <http://www.hosei.ac.jp/campus/koganei/koganei.html> 千葉英史)

### 議題

1. マルチトラック文字列の順列パターン照合と索引構造  
○桂 敬史・成澤和志・篠原 歩 (東北大)・坂内英夫・稲永俊介 (九大)
  2. Bit-parallel Algorithms for Finding All Substrings Matching a Regular Expression ○Hiroaki Yamamoto (Shinshu Univ.)・Takashi Miyazaki (Nagano National College of Tech.)
  3. 最大クリーク問題の多項式時間的解可能性の拡張の改良  
○中西裕陽・富田悦次・若月光夫・西野哲朗 (電通大)
  4. de Bruijn グラフの圧縮 Alexander Bowe (NII)・小野寺 拓 (東大)・○定兼邦彦 (NII)・渋谷哲朗 (東大)
- 午後 (13:30~)
5. [招待講演] 新学術領域「計算限界解明」発足にあたって  
渡辺 治 (東工大)

### 特別企画: FOCS2012 論文紹介

6. Partially Symmetric Functions are Efficiently Isomorphism-Testable Eric Blais (CMU)・Amit Weinstein (TAU)・○Yuichi Yoshida (NII/PFI)
7. Faster Algorithms for Rectangular Matrix Multiplication Francois Le Gall (Univ. of Tokyo)
8. A New Direction for Counting Perfect Matchings ○Taisuke Izumi・Tadashi Wadayama (Nagoya Inst. of Tech.)
9. Combinatorial coloring of 3-colorable graphs Ken-ichi Kawarabayashi (NII)

☆COMP 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

10月31日(水) 東北大 [締切済]

12月10日(月) 九大 [未定]

**[発表申込先]** 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

### **[問合せ先]**

全 眞嬉 (東北大学院情報科学研究科)

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3-09

E-mail: jinhee@dais.is.tohoku.ac.jp

## ★医用画像研究会 (MI)

専門委員長 佐藤嘉伸 副委員長 清水昭伸・森 健策  
幹事 河田佳樹・菅 幹生 幹事補佐 原口 亮・北坂孝幸

日時 9月4日(火) 9:45~16:45

会場 東京大学本郷キャンパス工学部2号館221号講義室 (文京区本郷7-3-1. 東京メトロ丸ノ内線:本郷三丁目駅より徒歩15分. [http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01\\_04\\_03\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_03_j.html) TEL [03] 3815-5411 内 37418 増谷佳孝・正宗 賢)

第一種研究会開催案内

## 議題 医用画像一般, 及び治療支援/治療中のイメージング

### 医用画像一般

1. アンサンブル学習とグラフカットを用いた黄斑部 OCT 画像からの網膜層セグメンテーション ○稲垣和樹・清水昭伸 (東京農工大)・安野嘉晃 (筑波大)・生野恭司 (阪大)・小畑秀文 (高専機構)
  2. 腹部造影 CT における軟部組織上の解剖学的ランドマーク群自動検出の試み ○花岡昇平・増谷佳孝・根本充貴・野村行弘・三木聡一郎・吉川健啓・林 直人・大友 邦 (東大)
  3. 2時相3次元胸部 CT 像からのリンパ節領域の自動検出 ○北坂孝幸 (愛知工大)・岸本充博・小田昌宏・岩野信吾・森 健策 (名大)
  4. マルチスライス CT 画像を用いた COPD の定量的評価 ○櫻井宏介・鈴木秀宣・河田佳樹・仁木 登 (徳島大)・中野恭幸 (滋賀医科大)・大松広伸・楠本昌彦 (国立がん研究センター)・江口研二 (帝京大)・金子昌弘 (東京都予防医学協会)・森山紀之 (国立がん研究センター)
- 午後
5. [特別講演] 多人数調和型情報提示技術の構築と実践  
苗村 健 (東大)

### 治療支援/治療中のイメージング

6. 繰り返し再構成方法 (ML-EM 法) による Cone beam CT の画質改善と被ばく低減の試み ○木田智士 (東大)・芳賀昭弘・増谷佳孝 (東大病院)・早乙女直也・中野正寛 (東大)・作美 明・山下英臣・中川恵一 (東大病院)
7. 2D/3D レジストレーションに基づく人工膝関節の動態解析自動化を目的とした動作モデルの利用  
○亀井亮吾 (立命館大)・山崎隆治 (阪大)・福田紀生 (立命館大)・岡田俊之・菅本一臣・吉川秀樹 (阪大)・陳 延偉 (立命館大)・富山憲幸・佐藤嘉伸 (阪大)
8. iPad 及び三点マーカを使用した医用画像重畳システム  
○上内洋輝・正宗 賢 (東大)
9. [特別講演] 手術工程解析のための多種情報記録・解析装置—システム開発と臨床応用— ○鈴木孝司・吉光喜太郎・村垣善浩・伊関 洋 (東京女子医科大)

☆MI 研究会今後の予定

10月29日(月) 山口大常盤台キャンパス

テーマ: 生体医工学と医用画像処理

生体医工学 (biomedical engineering) は医学と工学を融合した領域であり, 検査機器や人工臓器から手術ロボットまで広範な分野をカバーする学問です. 本研究会の中心テーマである医用画像処理も生体医工学の大きな柱のひとつであるといえます. 現在, 手術ロボット開発などにおいては, 機械工学, 電子工学, 制御工学, 情報工学などの幅広い学問分野の融合が進んでいます. 本研究会においても他分野との交流が重要になっていくと考えられます.

こうした状況を踏まえ, MI 研究会では, 最新の情報を交換し議論するために, 「生体医工学と医用画像処理」をテーマとして生体医工学学会中国・四国地方会との共催の研究会を開催致します. 本研究会では, 上記のテーマに関する意欲的な研究発表を募集致します. また, 本テーマに限らず, 広く一般セッションの発表も受け付けますのでよろしくお願ひします.

皆様の積極的な御応募をお待ちしております.

[特別講演] X線 CT 最新技術と臨床応用 (仮)

猪川弘泰 (東芝メディカルシステムズ)

〔特別講演〕 医用画像に基づく骨関節 3 次元動態計測技術と臨床展開 (仮) 山崎隆治 (阪大)  
担当: 木戸尚治 (山口大)

【問合先】

医用画像研究会世話人  
E-mail: mi-submit@mail.ieice.org  
上記で連絡がつかないとき  
北坂孝幸 (愛知工大情報科学部)  
TEL [0565] 48-8121 内線 2423, FAX [0565] 48-0509  
E-mail: kitasaka@aitech.ac.jp

★安全性研究会 (SSS)

専門委員長 向殿政男 副委員長 平尾裕司  
幹事 木村昌臣・鈴木喜久 幹事補佐 佐藤吉信・高橋 聖

日時 9月20日 (木) 13:00~17:10  
会場 機械振興会館地下3階2号室 (港区芝公園3-5-8, 東京メトロ日比谷線: 神谷町駅下車徒歩10分, JR: 浜松町駅下車徒歩20分, 都営地下鉄三田線: 御成門駅・大江戸線: 赤羽橋駅下車徒歩10分. [http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map\\_kaikan.htm](http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map_kaikan.htm) TEL [03] 3434-8211)

議題 安心・安全の心理を主として

1. 市民による, 想定外事故原因究明への取り組み—確証バイアスの影響を避けた分析作業— 草間 昇
2. ヒューマンエラーや事故調査に対する思考と性格特性について 宮地由芽子 (鉄道総研)
3. 自動車ドライバーによる踏切通過時のヒヤリ・ハットに関する考察 畠山 直 (鉄道総研)
4. 遊戯施設における安全確認の構造と人間の役割 ○岩崎宗太・杉本 旭 (明大)
5. 医薬品添付文書の雛形作成を想定した組成に関する記述の解析 ○奥屋 遼・鍋田啓太・木村昌臣・大倉典子 (芝浦工大)・土屋文人 (国際医療福祉大)
6. 自動車運転中の緊急回避行動の分析 ○伊藤 誠 (筑波大)・Marie-Pierre Pacaux-Lemoine・Frederic Robache・Herve Morvan (Univ. of Valenciennes)

☆SSS 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日  
11月22日 (木) 芝浦工大 [9月15日 (土)] テーマ: 情報システムの安全性を主として  
12月20日 (木) 京都産業会館 [10月15日 (月)] テーマ: 製品・機械の安全を主として

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい.  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

木村昌臣 (芝浦工大工学部情報工学科)  
TEL & FAX [03] 5859-8507  
E-mail: masaomi@shibaura-it.ac.jp

★情報セキュリティ研究会 (ISEC)

専門委員長 松本 勉 副委員長 田中俊昭・櫻井幸一  
幹事 四方順司・伊豆哲也 幹事補佐 岩田 哲

日時 9月21日 (金) 9:20~17:30  
会場 機械振興会館地下3階研修1号室

議題

1. GF (3^n) 上の ηT Pairing 暗号の安全性評価 林 卓也 (九大)・○下山武司 (富士通研)・篠原直行 (NICT)・高木 剛 (九大)
  2. 小標数の有限体上の elliptic net を用いたベアリングと楕円スカラー倍の計算 金山直樹・○劉 陽・岡本栄司・齋藤和孝・照屋唯紀 (筑波大)・内山成憲 (首都大東京)
  3. BKZ2.0 アルゴリズムの実装と改良 ○青野良範 (NICT)・長沼 健 (日立)
  4. CIPHERUNICORN-A の差分解読法に対する安全性評価 ○洲崎智保 (NEC)・川幡剛嗣・久保博靖・齊藤照夫・茂 真紀 (NEC ソフトウェア北陸)・角尾幸保 (NEC)
  5. EUROCRYPT2012 参加報告 岩本 貢 (電通大)
  6. [招待講演] Cryptanalyses on a Merkle-Damgard Based MAC—Almost Universal Forgery and Distinguishing—H Attacks Yu Sasaki (NTT)
- 午後 (13:20~)
7. [招待講演] Group to Group Commitments Do Not Shrink Miyako Ohkubo (NICT)
  8. [招待講演] Public Key Compression and Modulus Switching for Fully Homomorphic Encryption over the Integers Jean-Sebastien Coron (UL)・David Naccache (ENS)・○Mehdi Tibouchi (NTT)
  9. [招待講演] Tightly-Secure Signatures From Lossy Identification Schemes Michel Abdalla・Pierre-Alain Fouque・Vadim Lyubashevsky (ENS)・○Mehdi Tibouchi (NTT)
  10. [招待講演] 適応的属性秘匿安全な (階層的) 内積述語暗号 岡本龍明 (NTT)・○高島克幸 (三菱電機)
  11. 巡回符号に基づく符号化率 1.0 を実現し, 超高次の秘匿方程式を有する公開鍵暗号 K(X)SE(1)PKC と K(XIV)SE(2)PKC 笠原正雄 (21世紀情報文化研究センター)
  12. パイロットランプはサイドチャンネルとして使える ○齋藤翔平・松本 勉 (横浜国大)
  13. 複数エラーの鍵値推定に基づくフォールト解析 ○小野みどり・吉川雅弥 (名城大)
  14. サイドチャンネルセキュリティを厳しく評価する効率のよい方法 ○岸川 剛・齋藤翔平・土屋 遊・遠山 毅・松本 勉 (横浜国大)

☆ISEC 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日  
11月21日 (水), 22日 (木) 静岡市産学交流センター [9月14日 (金)] テーマ: 情報セキュリティ, ライフログ活用技術, ライフインテリジェンス, オフィス情報システム, 一般  
12月12日 (水) 機械振興会館 [10月15日 (月)] テーマ: 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい.  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

岩田 哲 (名大)  
TEL [052] 789-5722, FAX [052] 789-5723  
E-mail: isec-sec@mail.ieice.org (幹事, 幹事補佐宛)

## ★インターネットアーキテクチャ研究会 (IA)

専門委員長 中村素典

副委員長 秋山豊和・石橋圭介・中村 豊

幹事 衛藤将史・北辻佳憲

幹事補佐 垣内正年・塚本和也・義久智樹・山本 寛

日時 9月21日(金) 9:40~17:30

会場 IJ 神保町三井ビル(千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング。地下鉄:神保町駅, A9出口より徒歩約2分または地下鉄:竹橋駅3b出口より徒歩約6分。http://www.ij.ad.jp/info/map/head-office.html)

議題 インターネット運用・管理, 一般

新プロトコル, その他一般

1. LISPを用いたインスタントVPNサービスの実装と性能評価  
○佐々木 力 (KDDI 研)・姜 鵬 (KDDI)・田上敦士・長谷川輝之・阿野茂浩 (KDDI 研)
  2. 階層的なロケータ番号割振プロトコル HANA 利用環境におけるロケータ選択手法 藤川賢治 (NICT)
  3. ルータ・スイッチにおける電力情報管理技術の開発  
○大柿宏人・小高英男・琴寄貴志・新 善文 (アラカサネットワークス)
  4. インターネット設計原理の見直し—多様性, 集合知, そしてレイヤリング—  
○河野美也 (Cisco Systems)・浅羽登志也 (IJ-II)・田島弘隆 (imatrix)
  5. Internet Society の活動と日本支部の現状 藤崎智宏 (NTT)  
午後 SDN/クラウドインフラ
  6. [特別講演] SDN の可能性と次世代クラウドの展望  
浅羽登志也 (ストラトスアイ)
  7. OpenFlow スイッチの負荷と制御ネットワークの通信を削減するための Packet-In メッセージの制御手法  
○小谷大祐・岡部寿男 (京大)
  8. IaaS/HaaS への Service Defined Infrastructure (SvDI) 適用の検討  
○新 麗 (IJ-II)・金田克己・加藤雅彦・須賀祐治 (IJ)・岡部寿男 (京大)
- メジャーメント
9. [特別講演] コンテンツ配信を中心とした国内インターネットの構造分析  
○亀井 聡 (NTT コム)・小林正裕 (NTT 西日本)・斎藤 洋 (NTT)
  10. ネットワーク座標システムの課題—時間変動の影響とその評価—  
○山本 寛・山崎克之 (長岡技科大)
  11. スマートフォンにおけるアクセス回線の品質情報共有  
○北口善明 (金沢大)・永見健一 (インテック)・菊池 豊 (高知工科大)
  12. ISP 運用のためのネットワーク品質測定  
○曾我部 崇・前橋孝広 (IJ)

招待講演

13. [招待講演] 50 GFLOPs/W, PUE<1, 100 kW/ラックに挑戦する Tsubame3.0 及びエクサへのグリーンスパコン取り組み  
松岡 聡 (東工大)

◆JANOG 共催

◎17:40~19:30 に懇親会 & Beer Talk を開催します。

☆IA 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

10月12日(金) 東大武田先端知ビル [締切済] テーマ: ネットワーク研究開発テストベッド運用・利用, 一般 (ADVNET 共催)

10月18日(木), 19日(金) ブレーケット [締切済] テーマ: Future Internet, Internet Applications, Internet for Disas-

第一種研究会開催案内

ters, etc.

11月20日(火) 福島 [未定] テーマ: 学生セッション, 一般 (日本学術振興会 ITRC 協賛)

12月13日(木), 14日(金) 広島市大 [10月15日(月)] テーマ: インターネットやイントラネットの信頼性, 品質, 計測, 監視, セキュリティ, トラフィック理論及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合せ先】

IA 研究会事務局 (京大学術情報メディアセンター岡部研究室内)

TEL [075] 753-7417, FAX [075] 753-7440

E-mail: ia-submission@mail.ieice.org

◎IA 研究会ホームページ

http://www.ieice.org/cs/ia/jpn/index.htm

## ★電子部品・材料研究会 (CPM)

専門委員長 竹村泰司 副委員長 高野 泰

幹事 圓佛晃次・阿部克也 幹事補佐 小館淳一・佐藤知正

日時 9月25日(火) 13:00~16:45

会場 機械振興会館地下3階2号室

議題 光記録技術・電子材料, 一般

1. テラビットメモリを目指したホログラム記録再生方式  
○倉田博之・小澤尚平・大久保海斗・山本 学 (東京理科大)
2. 規則合金膜へのイオン照射による磁気特性制御とビットパターン構造の作製  
○大島大輝・谷本昌大・加藤剛志・岩田 聡 (名大)・綱島 滋 (名古屋産業科学研)
3. 光アドレス方式を用いた磁気光学3次元ディスプレイの基礎特性  
○中村和樹・江藤 優・高木宏幸・林 攀梅 (豊橋技科大)・高木康博 (東京農工大)・井上光輝 (豊橋技科大)
4. 磁性ガーネット膜を用いた体積磁気ホログラムの回折効率の改善  
○相良尚人・正木幸宏・林 攀梅・高木宏幸・中村雄一・井上光輝 (豊橋技科大)
5. 磁気光学イメージングを用いた非破壊検査装置の開発  
○岩崎勝博・梅澤浩光 (FDK)・小林剛一・榛葉清志 (FDK エンジニアリング)
6. 角度多重型ホログラフィックメモリによる1 Tbits/inch<sup>2</sup> 記録  
○石井利樹・保坂 誠・星沢 拓 (日立)・田中麻人 (三菱化学科学技術研究センター)
7. 偏光ホログラフィーの理論とその実験的検証  
松橋佑介・○志村 努 (東大)・黒田和男 (宇都宮大)
8. フィードバック制御位相計測システムによるがん細胞識別  
○阿部耶依・渡邊恵理子 (電通大)

☆CPM 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

10月26日(金), 27日(土) 長岡技科大 [締切済] テーマ: 薄膜プロセス・材料, 一般

11月26日(月)~28日(水) 九大百年講堂 [未定] テーマ: デザインガイア2012—VLSI 設計の新しい大地—

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

## ★アンテナ・伝播研究会 (A・P)

専門委員長 宇野 亨 副委員長 菊間信良  
幹事 石井 望・高橋 徹 幹事補佐 道下尚文

## ★マイクロ波研究会 (MW)

専門委員長 大平 孝  
副委員長 黒木太司・中津川征士・川上憲司  
幹事 加屋野博幸・河合 正 幹事補佐 鴨田浩和・清水隆志

◎本研究会は A・P 研究会と MW 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 9月27日(木) 9:10~17:15  
28日(金) 9:10~17:05

会場 KDDI 研究所 (ふじみ野市大原 2-1-15。東武東上線: 上福岡駅下車, 東口出口より徒歩 15 分。http://www.kddilabs.jp/labo/access.html TEL [049] 278-7562 中野雅之)

議題 マイクロ波ミリ波, 一般

27 日午前

MW-1. 金属ロッド共振器を用いた 60 GHz 帯反射型自己注入同期 NRD ガイド管共振器の発振特性の計算

○一瀬健人・田中智大・黒木太司 (呉高専)

MW-2. 60 GHz 帯帯域阻止型自己注入同期 NRD ガイド管共振器における発振モード条件

○田中智大・黒木太司 (呉高専)

MW-3. 拡張された負性抵抗領域を持つメソスコピック超伝導 SNS 接合アレー素子のセンサ応用

○松井敏明・川上 彰・笠松章史 (NICT)

A・P-4. ピラミッド型アレーアンテナを用いた 2 次元 DOA 推定に関する検討

○堀 裕介・土居勇輝・守屋裕樹・市毛弘一・新井宏之 (横浜国大)・松野宏己・林 高弘・中野雅之 (KDDI 研)

A・P-5. 部分重複サブアレーから成る拡大アレーによる到来方向推定のための空間平均法

○関根淑敏・菊間信良・平山 裕・榊原久二男 (名工大)

A・P-6. マルチキャリア信号を利用した送信アレーアンテナ校正法

○紀平一成・高橋 徹・小西善彦 (三菱電機)

27 日午後

A・P-7. アンテナ逆相関配置スペースダイバーシチの 5 GHz 海上伝搬特性

○佐々木金見・村上博行・小林真也・戸丸賢也 (日立国際電気)

A・P-8. GPU による共役勾配法の高速化に関する一検討

○勝田 肇・今野佳祐・陳 強・澤谷邦男 (東北大)・横川 佳・袁 巧微 (仙台高専)・瀬在俊浩 (JAXA)

MW-9. 直列容量/先端短絡スタブ装荷 LTCC ブランチラインハイブリッド

○安部素実・大島 毅・畠山英樹・板場章弘・大和田 哲 (三菱電機)

MW-10. 1 段チョーク回路から成る 30 GHz 帯魚骨形トリプレート線路フィルタの設計

○沖田靖能・黒木太司 (呉高専)・川原祐紀 (川島製作所)

MW-11. 液晶装荷マイクロ波デバイス用コプレーナ-マイクロストリップ広帯域変換器

○グエン タイン・梅野修平・亀井利久・森武 洋 (防衛大)

A・P-12. [チュートリアル講演] 77 GHz Passive Millimeter-wave Imaging Device for Security Applications

○Hiroyasu Sato・Kunio Sawaya・

Koji Mizuno (Tohoku Univ.)・

Masamune Takeda (Maspro Denkoh)・

Keiichi Morichika (Chuo Electronics)

A・P-13. [IEEE AP-S Japan Chapter 特別講演] (口頭発表) セラシシステムの自律運用に向けた SON に関する研究

小西 聡 (KDDI)

28 日午前

MW-1. 厚いアイリスによる周期構造導波管の FDTD 解析法

○柴崎年彦・吉士真輝・梶沢栄基・

黒木啓之 (都立産技高専)・木下照弘 (東京工芸大)

MW-2. 単層型セラミックス電磁波吸収体の広帯域化と誘電体・磁性体複合材料の電磁気特性評価

北原直人・○新妻 了・金澤 剛 (東京工芸大)

MW-3. 一体焼結 3 層型セラミックス電磁波吸収体の開発

北原直人・○金澤 剛・新妻 了 (東京工芸大)

A・P-4. ループ素子を用いた 3 周波偏波共用アンテナ

○高野豊久・中上晋志・山岸 傑 (住友電工)・中野雅之・松野宏己 (KDDI 研)

A・P-5. Halo アンテナを用いた細径無指向性偏波共用基地局アンテナ

○松野宏己・中野雅之 (KDDI 研)・新井宏之 (横浜国大)

A・P-6. グランド板形状改良による高アイソレーションアンテナの検討

○大越祐輔・村上直樹・小笠原恒平・前山利幸 (拓殖大)

28 日午後

MW-7. コプレーナ線路端部スロットで励振するマイクロストリップパッチアンテナの検討

○亀井利久・大島優太郎 (防衛大)・石原敏弘 (玉川大)

MW-8. 2 次元パラボラ反射鏡で給電した 60 GHz 帯レンズ付きホーンアンテナにおけるビーム走査特性

○森田智紀・黒木太司 (呉高専)

MW-9. ミリ波帯アンテナ一体型小型 RF モジュール

○塩崎亮佑・中村真木・藤田 卓 (パソニック)

A・P-10. 可変リアクタンス素子を用いた多リング形マイクロストリップアンテナの周波数制御に関する一検討

○佐藤脩平・斉藤作義・木村雄一 (埼玉大)

A・P-11. HF 帯 RFID マルチリーダシステムの試作検討 (送信系) (1)

○荒井雅行・鶴岡 勉 (東京計器)

MW-12. 変調動作時のダイオードミキサの入出力特性の解析

○橋本 潤・伊東健治 (金沢工大)・下沢充弘 (三菱電機)・水野皓司 (東北大)

MW-13. 光位相変調器を用いた光ビート生成マイクロ波信号の位相制御

○谷垣俊秀・青木 誠・辻 健一郎・小野寺紀明 (防衛大)

MW-14. マルチバンドの同時送信時の OFDM 信号に対する Predistorter 性能評価

○安藤生真・タン ザ カン・荒木純道 (東工大)・山田貴之・加保貴奈・山口 陽 (NTT)

MW-15. A design of self noise matching circuit for compact MIMO system

○Jaeho Jeong・Khanh Tran Gia・Kiyomichi Araki (Tokyo Inst. of Tech.)

◆IEEE AP-S Japan Chapter 共催, IEEE MTT-S Japan Chapter, IEEE MTT-S Kansai Chapter, IEEE MTT-S Nagoya Chapter 協賛

◎27 日研究会終了後, 懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆A・P 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

11月15日(木), 16日(金) 東京電機大東京千住キャンパス  
〔9月10日(月)〕テーマ:アダプティブアンテナ, 等化,  
干渉キャンセラ, MIMO, 無線通信, 一般

12月13日(木) 機械振興会館〔10月10日(水)〕テーマ:  
一般

12月21日(金) KDDI 那覇ビル〔10月10日(水)〕テー  
マ:無線設備・アンテナ測定技術(第二種研究会)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

#### 【問合先】

高橋 徹(三菱電機)

E-mail: ap\_ac-secretary@mail.ieice.org

☆MW 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

10月18日(木), 19日(金) 宇都宮大〔締切済〕テーマ:学  
生研究会/マイクロ波一般

11月21日(水), 22日(木) 石垣島〔9月14日(金)〕テー  
マ:マイクロ波一般

12月13日(木), 14日(金) 山梨大〔10月15日(月)〕  
テーマ:マイクロ波一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

#### 【問合先】

嶋田浩和(NHK)

TEL [03] 5494-3460, FAX [03] 5494-3208

E-mail: kamoda.h-ci@nhk.or.jp

加屋野博幸(東芝)

TEL [044] 549-2110, FAX [044] 520-1801

E-mail: hiroyuki.kayano@toshiba.co.jp

### ★情報理論研究会(IT)

専門委員長 鎌部 浩 副委員長 大橋正良

幹事 井坂元彦・野村 亮 幹事補佐 古賀弘樹

日時 9月27日(木) 15:00~16:40

28日(金) 8:45~14:50

会場 草津セミナーハウス(吾妻郡草津町大字草津字白根737)

JR長野原草津口駅よりバス25分, JR軽井沢駅よりバス78

分。 <http://www.gunma-u.ac.jp/campus/life/kusatu3.htm>

TEL [029] 861-5284 萩原 学(産総研)

議題 誤り訂正符号, 一般

27日

1. 擬巡回符号から構成されるLDPC畳込み符号の重み分布計算  
について ○廣友雅徳(佐賀大)・森井昌克(神戸大)

2. 空間結合符号に対する効率の良い終端法 ○田添宏治・  
笠井健太・坂庭好一(東工大)

3. 空間結合Hsu-Anastasopoulos符号による噴水符号  
○坂田幸佑・笠井健太・坂庭好一(東工大)

4. 空間結合MacKay-Neal符号の閾値飽和現象の解析  
○小幡成臣・笠井健太・坂庭好一(東工大)

28日午前

1. ハミング符号におけるXOR演算回数最適化  
○大島裕也・岩田賢一(福井大)

2. 組み込みシステムにおけるBCH符号の汎用エンコーダの開  
発 ○水島永雅・高谷幸宏・小川純司・石川 篤(日立)

3. マルチステージBCH-BCH符号のNANDフラッシュメモリ

第一種研究会開催案内

向け拡張— 鳥井 修(東芝)

4. Sparse Superposition Codes with Discrete Dictionary

○Yoshinari Takeishi・Masanori Kawakita・

Jun'ichi Takeuchi (Kyushu Univ.)

5. Signature code for multiple-access adder channel

○Shan Lu・Jun Cheng・

Yoichiro Watanabe (Doshisha Univ.)

6. Linear Programming Decoding for Multiple Access Channel  
based on Decomposition Methods ○Shunsuke Horii・

Toshiyasu Matsushima (Waseda Univ.)

7. MIMO通信における相互情報量基準に基づく量子化器の設計  
法 ○小林 学(湘南工科大)・八木秀樹(電通大)・

二宮 洋(湘南工科大)・平澤茂一(早大)

28日午後

8. [招待講演] 最尤推定復号の有理写像表現に現れる代数構造  
とその応用 平岡裕章(九大)

9. LLR Calculation for Iterative Decoding over Fading Channels  
using Pad $\checkmark$ e Approximation ○Gou Hosoya・

Mikio Hasegawa・

Hiroyuki Yashima (Tokyo Univ. of Science)

10. Message Passing Algorithm with MAP Decoding on Zigzag  
Cycles for Non-binary LDPC Codes

○Takayuki Nozaki・Kenta Kasai・

Kohichi Sakaniwa (Tokyo Inst. of Tech.)

◆IEEE IT Society Japan Chapter 共催. 誤り訂正符号のワーク  
ショップ併催

☆IT 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

12月11日(火) 別府湾ロイヤルホテル〔未定〕テーマ:招  
待講演のみ

1月21日(月) 電通大〔11月9日(金)〕テーマ:一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

#### 【問合先】

IT 研究会幹事, 幹事補佐

E-mail: it-sec@mail.ieice.org

### ★音声研究会(SP)

専門委員長 速水 悟 副委員長 河井 恒

幹事 森 大毅・鈴木基之 幹事補佐 藤本雅清・大谷大和

### ★福祉情報工学会(WIT)

専門委員長 大倉典子 副委員長 井野秀一

幹事 縄手雅彦・渡辺寛望・若月大輔

幹事補佐 酒向慎司・和田親宗・前田義信

日時 9月28日(金) 13:30~17:15

29日(土) 10:30~17:15

会場 芝浦工業大学豊洲キャンパス(江東区豊洲3-7-5, 東京メ  
トロ有楽町線:豊洲駅から徒歩7分。またはゆりかもめ:豊洲  
駅から徒歩9分。 <http://www.shibaura-it.ac.jp/access/index.html>)

議題 福祉と音声処理, 一般

28日 オーガナイズドセッション「高齢者・障害者の生活支援  
へ向けた情報処理技術」1

1. 触覚提示の拡大表示における空間認知と要因の評価

- 坂井忠裕・半田拓也・清水俊宏 (NHK)
2. Kinect 白杖による上り階段シーンの認識と性能評価  
○山口翔太郎・滝沢穂高 (筑波大)・江崎修央 (鳥羽商船高専)・水野慎士 (愛知工大)
3. 文書構造提示・ナビゲーションに点字ディスプレイを用いる DAISY プレーヤーの開発 南谷和範 (大学入試センター) 一般セッション 1
4. 施設スタッフの改善事例調査—支援技術導入に向けて—  
○梶谷 勇・谷川民生・柴田崇徳・神徳徹雄 (産総研)
5. ヒューマンエラーを防止するための薬剤の表示方法の検討 (第 20 報) ○渡辺邦浩・木村昌臣・大倉典子・土屋文人 (芝浦工大)
6. 算数における言語的スキルと注意スキルに困難を持つ児童に対する IT を活用した算数学習法 ○高丸公斗・井上博幸・山田康平・縄手雅彦 (鳥根大)
7. 上肢リハビリを支援するインタラクティブシステムの改良  
○三木智彦・杉本龍一・村井秀聡 (芝浦工大)・笠井史人 (昭和大藤が丘リハビリテーション病院)・大倉典子 (芝浦工大)
- 29 日午前 オーガナイズドセッション「高齢者・障害者の生活支援へ向けた情報処理技術」2
1. 脳血流量変化の統計モデルを利用した文章入力法の検討  
○田澤祥亨・森 大毅 (宇都宮大)
2. 汎用コミュニケーションエイド VCAN/1A のログデータ可視化システム ○上野智寛・林 豊彦・入山満恵子 (新潟大)・青木さつき (明倫短大)
3. 在宅重度障害者用意思伝達装置の利用環境改善についての調査と提案 ○伊藤史人 (一橋大)・今井啓二・仁科恵美子 (ICT 救助隊)・川口有美子 (さくら会)
- 29 日午後 オーガナイズドセッション「高齢者・障害者の生活支援へ向けた情報処理技術」3 (13:30~)
4. [招待講演] 支援機器等の研究開発×近未来音声研究 = ?  
小野栄一 (国立障害者リハビリテーションセンター)
5. [招待講演] 高齢者や障がいがある人を対象とした支援技術開発と利用者ニーズ 畠山卓朗 (早大) 一般セッション 2
6. 視覚障がい者の情報取得を支援する、聴きとりやすい高速音声再生技術 ○田澤直幸 (NHK エンジニアリングサービス)・今井 篤 (NHK)・岩鼻幸男・都木 徹 (NHK エンジニアリングサービス)・鳥原信一 (慶大)
7. モバイル機器向け音声帯域拡張の開発と評価—信号適応型低域拡張法と客観評価法の提案—  
○須藤 隆 (東芝/横浜国大)・長田将高・菊川裕作・田中宏和・南 重信 (東芝)・河野隆二 (横浜国大)
8. 筋活動量を考慮したウェーブレット係数の重心推移法に基づく連続音声発話の変化点検出 ○宮武一志・永井秀利・中村貞吾 (九工大)

◆日本音響学会；音声研究会共催，IEEE Signal Processing Society Japan Chapter 協賛

☆SP 研究会

**【問合先】**

森 大毅 (宇都宮大)

TEL [028] 689-6120, FAX [028] 689-6119

E-mail : hiroki@speech-lab.org

☆WIT 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

12月 産総研 [未定]

**【発表申込先】** 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

**【問合先】**

縄手雅彦 (鳥根大総合理工学部)

E-mail : nawate@ecs.shimane-u.ac.jp

—北海道支部における開催—

### ★環境電磁工学研究会 (EMCJ)

専門委員長 桑原伸夫 副委員長 多氣昌生

幹事 王 建青・内海邦昭 幹事補佐 平井義人・青柳貴洋

日時 9月7日 (金) 10:00~17:00

会場 北海道大学学術交流会館 (札幌市北区北 8 条西 5 丁目)。  
JR: 札幌駅下車, 徒歩 10 分。市営交通地下鉄南北線・東豊線: 札幌駅下車, 徒歩 15 分。市営交通地下鉄南北線: 北 12 条駅下車, 徒歩 10 分。 <http://www.hokudai.ac.jp/introduction/campus/hall/> TEL [011] 706-2042 (会場) 日景 隆

議題 生体, EMC, 一般

1. 回胴式遊技機からの放射交流磁界が遊技者の心臓ペースメーカに与える影響に関する検討 ○茅野 功・望月精一 (川崎医療福祉大)・薮本道人 (山佐)
2. 妊娠中後期の MRI ベース高精細胎児モデルの開発  
○長岡智明 (NICT)・丹羽 徹 (東海大)・Sonia Dahdou (Telecom ParisTech)・Joe Wiart (Orange Labs)・渡辺聡一 (NICT)
3. UHF 帯電磁界ばく露による医療用金属プレート埋め込み人体の局所 SAR 評価 ○河村由文・日景 隆・野島俊雄 (北大)・長岡智明・渡辺聡一 (NICT)
4. [特別講演] 閉空間生活環境における RF-EMC の総括  
野島俊雄 (北大)

午後 (13:20~)

5. 導波管貫通法を用いたミリ波帯における重水の複素誘電率測定  
○菅野喜伊・キック アルフレード・鈴木敬久 (首都大東京)
6. 電磁誘導を用いた筐体開口部からの漏洩電波の抑制に関する検討 ○内藤悠基・須賀良介・洲崎恭平・橋本 修 (青学大)
7. パワエレ用ノイズフィルタにおけるコモンモードノーマルモード変換の検討 ○神蔵 護・村田雄一郎・白木康博・西沢昭則 (三菱電機)
8. コモンモードノイズ測定における通信信号と外来ノイズの分離方法の実験的検討 ○小倉康則・富永 慶・村川一雄 (NTT 東日本)
9. IPD 制御モデルを用いた LED 照明の伝導ノイズ解析  
○加藤 彰・嶺岸 瞳・崎山一幸・平伴喜光・木田智之 (パソニック)
10. BCI (Bulk Current Injection) 試験系のシミュレーションモデル  
○田中宏哉・高橋篤弘・服部佳晋 (豊田中研)・泉地正人 (デンソー)
11. 携帯無線機内のデバイスから放射される電磁波による受信感度劣化量の推定方法  
○横山幸男 (NEC 埼玉)・伊藤 亮 (NEC カシオモバイルコミュニケーションズ)・半杭英二 (NEC)
12. マイクロ波ピラミッド形電波吸収体の電磁波照射による発熱に関する検討 ○鳥井政志・斎藤寿文・柳川太成・滝沢幸治・栗原 弘 (TDK)

◆IEEE EMC Society Japan Chapter, URSI-E 分科会共催, IEEE

EMC Society Sendai Chapter 協賛  
☆EMCJ 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日  
10月25日(木), 26日(金) 東北学院大多賀城キャンパス  
〔締切済〕 テーマ: シミュレーション技術, EMC, 一般  
12月14日(金) 岐阜大〔10月15日(月)〕 テーマ: 電力,  
生体, EMC, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

#### 【問合せ先】

青柳貴洋 (東工大大学院社会理工学研究科人間行動システム専攻)  
〒152-8552 目黒区大岡山 2-12-1-W9-110  
TEL & FAX [03] 5734-2992  
E-mail : emcj@mail.ieice.org

### ★マルチメディア・仮想環境基礎研究会 (MVE)

専門委員長 柳田康幸 副委員長 小林 稔  
幹事 井手一郎・蔵田武志・米澤朋子  
幹事補佐 三上 弾・杉本麻樹・酒田信親

日時 9月27日(木) 9:30~17:50  
28日(金) 9:30~14:45

会場 27日: 根室市総合文化会館, 28日: 根室グランドホテル  
(27日: 根室市曙町1-40. <http://www.city.nemuro.hokkaido.jp/dcitynd.nsf/doc/bunka/top?OpenDocument> 28日: 根室市大正町2-2. <http://www.nemuro.co.jp/> TEL [0153] 24-6611 清川 清)

議題 複合現実感, 仮想都市, 及び一般

27日午前 アンビエント・ソーシャル・インタラクション

MVE-1. コースター型デバイスによる快適な飲酒検知の評価手法の検討 ○植田将基・久原政彦・伊藤 誠・遠藤 守・山田雅之・宮崎慎也 (中京大)

2. Ambient Party Room: パーティ場面における部屋型会話支援システムの構築 ○藤田和之・伊藤雄一 (阪大)・高嶋和毅 (東北大)・中島康祐・林 勇介 (阪大)・岸野文郎 (関西学院大)

3. 着座時の座面重心と重量を用いた個人識別に関する検討 ○池田和章・伊藤雄一・中島康祐・尾上孝雄 (阪大)

マルチモーダルインタフェース

MVE-4. テーブルトップ型拡張現実感における情報の様態に着目した被操作物体環境 明神聖子 (立命館大)

MVE-5. 空気をよむテレビーマルチモーダル情報分析による非専念視聴抽出 ○渡邊大喜・中茂陸裕 (NTT)

MVE-6. 光学式ドーム型入力装置 KHAKI における外乱耐性の向上 ○岩間芳宏・芹澤隆史・柳田康幸 (名城大)

27日午後 招待講演 (13:35~)

7. 根室フットパスを歩いて感じる農業と生命—牧草を食べた母牛が乳を出す— 伊藤泰通 (伊藤牧場)

ビジュアルトラッキング・コンピュータビジョン

MVE-8. カメラズームによる内部パラメータの変化を考慮した拡張現実感のためのカメラ位置・姿勢推定 ○岡田和也・武富貴史・山本豪志朗・浦西友樹・宮崎 純・加藤博一 (奈良先端大)

MVE-9. シーン中の3次元点群の投影誤差によるAR/MR向けカメラキャリブレーションの精度評価 ○林 将之・北原 格・亀田能成・大田友一 (筑波大)

MVE-10. TrakMark のための仮想化現実モデルを用いたベンチマークスイートの開発とカメラトラッキング手法評価への適用

○牧田孝嗣・大隈隆史・石川智也 (産総研)・Laurence Nigay (UJF)・蔵田武志 (産総研)

MVE-11. 画像双極子に基づく画像の階層的記述法

○本多健二 (東京海洋大)・佐藤 誠 (東工大)

バーチャルリアリティ

MVE-12. Virtual Dance Hall—身体動作を用いたダンスインタラクション—

○安永卓哉 (阪大)・中澤篤志 (JST)・竹村治雄 (阪大)

MVE-13. 物語から生み出されるリアリティ 青木直史 (北大)

MVE-14. 透明ディスプレイを用いた遠隔臨場感コミュニケーションシステム tBHS 川本裕貴・ナワダ マモーン・

○井上智雄 (筑波大)

28日午前 複合現実・拡張現実

MVE-1. 複合現実環境における光学シースルー型ヘッドマウントディスプレイを用いた立体映像の絶対距離知覚

山内 真 (産総研)

MVE-2. 映像投影によるバーチャル着せ替えシステム

○中村卓磨・橋本直己 (電通大)

テレプレゼンス

MVE-3. 空撮全天球 HDR 画像の提示手法と評価

○大倉史生・神原誠之・横矢直和 (奈良先端大)

MVE-4. 遠隔地間の物体共有表現に関する一検討

○三枝知史・小澤史朗・高田英明・小島 明 (NTT)

5. 遠隔協調作業支援のためのベルト装着型 ProCam システム

森島茂貴・間下以大・○清川 清・竹村治雄

28日午後 触覚・嗅覚 (12:50~)

MVE-6. 嗅覚測定用アプリケーションの構築 ○深澤 彩・岡田謙一 (慶大)

MVE-7. 拡張現実感における擬似触覚を用いた引力提示に関する一検討 ○大塚隆史・小川剛史 (東大)

MVE-8. 背面タッチパネルを利用した視触覚融合提示に関する基礎的検討 ○伴 祐樹・国分 新・鳴海拓志・谷川智洋・廣瀬通孝 (東大)

MVE-9. 振動触覚ディスプレイによる接近物の方向知覚に関する検証 ○大地 徹・柳田康幸 (名城大)

MVE-10. 頭部に対する均一な風提示を目的とした風源の構成と風速分布の測定 ○中野拓哉・吉岡有哉・佐藤佑二・柳田康幸 (名城大)

◆日本 VR 学会; 複合現実感研究会/サイバースペースと仮想都市研究会共催, ヒューマンインタフェース学会; バーチャル・リアリティー・インタラクション専門研究委員会連催

【問合せ先】

井手一郎 (名大)・蔵田武志 (産総研)・米澤朋子 (関西大)

E-mail : mve-apply2012@mail.ieice.org

## ★ネットワークシステム研究会 (NS)

専門委員長 漆谷重雄 副委員長 平松 淳  
幹事 木下和彦・栗本 崇 幹事補佐 武田知典

## ★情報ネットワーク研究会 (IN)

専門委員長 浅見 徹 副委員長 小林秀承  
幹事 堀 賢治・五十嵐弓将 幹事補佐 田坂和之・野村啓仁

## ★通信方式研究会 (CS)

専門委員長 葉玉寿弥 副委員長 坪井利憲  
幹事 小崎成治・梅原大祐

◎本研究会はNS研究会とIN研究会, CS研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 9月20日(木) 9:10~18:30

21日(金) 9:10~17:45

会場 東北大学電気通信研究所2号館(仙台市青葉区片平2-1-1)

議題 ポストIPネットワークング, 新世代ネットワーク, ネットワークモデル, インターネットトラヒック, TCP/IP, マルチメディア通信, ネットワーク管理, リソース管理, プライベートネットワーク, NW安全性及び一般

20日午前 IN1 (A会場) (9:10~10:30)

IN-1. パッシブ測定と機械学習に基づく仮想マシンの性能劣化判定 ○林 俊明・太田 聡(富山県立大)

IN-2. ロバスト性と資源の有効利用を考慮した仮想ネットワーク分割・移行技術の提案 ○浦山康洋・橘 拓至(福井大)

IN-3. 上位ルータで観測されたフローの特徴に基づくDoS攻撃の被害推定手法の提案 ○伊豆博聡(東北大)・佐藤彰洋(九工大)・笹井一人・高橋秀幸・北形 元・木下哲男(東北大)

IN-4. 作業形態の変化に応じた協働作業空間構成手法 ○飯沼秀行・高橋秀幸・笹井一人・北形 元・木下哲男(東北大)

IN-5. 認知症早期発見に向けたアセスメントツール開発を目的とする高齢者向け情報システムの利用記録の解析 ○柏葉俊輔・坂本泰伸・松澤 茂・武田敦志・松本章代・櫻井 優(東北学院大)

NS1 (B会場) (9:10~10:30)

NS-5. 認知症早期発見に向けたアセスメントツール開発を目的とする高齢者向け情報システムの利用記録の解析 ○柏葉俊輔・坂本泰伸・松澤 茂・武田敦志・松本章代・櫻井 優(東北学院大)

NS-6. Green-PEPPERS: グリーン指向P2P災害安否確認システムの提案 ○佐藤健太・遠藤崇江・菅原飛夢・内海哲史・三村泰成・加藤 靖(鶴岡高専)・Salahuddin Muhammad Salim Zabir(フラステレコム)・菅沼拓夫(東北大)・柴田義孝(岩手県立大)・白鳥則郎(東北大)

NS-7. クラスタ間におけるキャッシュデータの排他制御に関する一検討 ○近藤 悟・福元 健(NTT)

NS-8. 通信ノードへのJava(TM)適用におけるガベージコレクションの停止時間チューニング手法についての検討 ○澤崎文彦・上田清志・中村宏之(NTT)

IN2 (A会場) (10:40~12:00)

IN-9. ユーザ指向消費電力可視化システムの提案 ○中村直毅・和泉 論(東北大)・稲葉 勉(NTT東日本)・菅沼拓夫・白鳥則郎(東北大)

IN-10. EDAに基づく電力ピークシフトのためのPHEV充電アルゴリズム ○田添崇士・山本草詩・恩田悠永・竹下秀俊・岡本 聡・山中直明(慶大)

IN-11. 時刻同期のための通信遅延変動を軽減するメカニズムの明確化と検証 ○伊藤将志・小堺康之(東芝)

IN-12. 単位根検定を用いたTCPスループットの定常性解析 ○吉田裕志・里田浩三(NEC)

NS2 (B会場) (10:40~12:00)

NS-13. 画面転送システムのための通信路適応ストリーミングライブラリ ○川添博史・川村卓也(東芝)

NS-14. 削除待ち時間を考慮したキャッシュ置換方式 ○大須賀 徹・谷口邦弘(NEC)

NS-15. DTNにおけるコンテンツ共有のための分散ダウンロード手法 ○山下雄規・植田一暁・新熊亮一(京大)・朝香卓也(首都大東京)・高橋達郎(京大)

NS-16. コンテンツセントリックネットワークにおける経路情報集約手法の提案 ○植田一暁・山下雄規(京大)・朝香卓也(首都大東京)・高橋達郎(京大)

20日午後 招待講演1 (A会場) (13:00~14:30)

共通-17. [招待講演] 高可用ネットワークの構築—ID/Locator分離機構HIMALISとロケータ自動割振プロトコルHANA— 藤川賢治(NICT)

共通-18. [チュートリアル講演] PCベースソフトウェア無線プラットフォームとそれを用いた研究動向 石原 進(静岡大)

招待講演2 (A会場) (14:40~16:10)

共通-19. [特別招待講演] 既設マルチモードファイバでの10Gbps伝送技術 山林由明(千歳科技大)

共通-20. [招待講演] 震災に強い情報通信システム 柴田義孝(岩田県立大)

招待講演3 (A会場) (16:20~18:30)

共通-21. [招待講演] 柔軟な移動通信ネットワーク実現への課題とアプローチ ○滝田 亘・岩科 滋・中村哲也・清水敬司(NTTドコモ)

共通-22. [招待講演] 大規模災害時においても「つながる」ための通信サービスとネットワークの仮想化技術 ○岩田 淳・菅原智義・水越康博・新井智也・木内道男(NEC)

共通-23. [招待講演] 災害に役立つ情報通信サービス ○庄司貞雄(日立東日本ソリューションズ)・青木孝文・伊藤彰則・大町真一郎・伊藤康一(東北大)

共通-24. [招待講演] 動的再構成可能な通信ネットワークとサービスの可視化技術に関する検討 ○窪田好宏・川口金司・大橋正彦・沼崎雅雄(富士通)

21日午前 IN3 (A会場) (9:10~10:30)

IN-1. ワイヤレスセンサネットワークを用いた国境警備システムにおけるハニカム型バリア被覆方式 ○小山下寛朗・鈴木拓也・和田友孝(関西大)・六浦光一(信州大)・岡田博美(関西大)

IN-2. サービス指向ホームネットワークにおけるタイミング制約を用いたセンサ連携サービスの実装 ○丸尾彰宏・まつ本真佑・中村匡秀(神戸大)

IN-3. 携帯端末利用中の歩行者の危険性を考慮した車両衝突回避支援システムの開発 ○吉田達哉・梅本峻弥・和田友孝・岡田博美(関西大)

IN-4. ユーザの通信履歴を利用したすれちがいの通信の高信頼化

技術の提案 ○山本拓郎・橋 拓至 (福井大)

NS3 (B会場) (9:10~10:30)

NS-5. TCPを用いた定速ファイル転送方式 MCFTP  
○山中顕次郎・漆谷重雄 (NII)・湯山圭一・岡本隆史 (NTT データ)

NS-6. An Improvement of Fixed Backoff-time Switching Method and Its Linux Implementation Design for Wireless Mesh Networks  
○Sritrusta Sukaridhoto・Nobuo Funabiki・Toru Nakanishi・Kan Watanabe (Okayama Univ.)・Shigeto Tajima (Osaka Univ.)

NS-7. ブロードキャスト型車車間通信に対する強化学習の適用  
○村田慎一郎・橋 拓至 (福井大)

NS-8. センサネットワークにおける距離測定に基づく省電力型 TDMA スロット割り当てアルゴリズム  
○佐藤康二・阪田史郎 (千葉大)

IN4 (A会場) (10:40~11:40)

IN-9. 非常時緊急救命避難支援システム (ERESS) におけるリアルタイム災害検知のための状態判定アルゴリズムの開発  
○中村隆文・早川洋平・森 和也・石田裕介・藤村 純・津高健太郎・和田友孝 (関西大)・大月一弘 (神戸大)・岡田博美 (関西大)

IN-10. 非常時緊急救命避難支援システム (ERESS) におけるリアルタイム協調型避難路探索方式の検討  
○鈴木達也・村上達也・山形蘭丸・藤本まなと・和田友孝・榎原博之・岡田博美 (関西大)

IN-11. 実世界データ流通フレームワークにおけるデータ共有方式の提案  
○川幡太一・高杉耕一・石塚美加 (NTT)

NS4 (B会場) (10:40~11:40)

NS-12. [奨励講演] E3-DCN におけるコンテンツ転送エネルギー最適化に向けた動的転送経路選択  
○洪田直彦・張 善明・岡本 聡 (慶大)・大木英司 (電通大)・山中直明 (慶大)

NS-13. サービスアウェアモバイルネットワーク仮想化の基本設計  
○中内清秀・鐘 雷・荘司洋三・西永 望 (NICT)

NS-14. Service-oriented Network Virtualization for Heterogeneous Mobile Networks  
○Lei Zhong・Kiyohide Nakauchi・Yozo Shoji・Nozomu Nishinaga (NICT)

21日午後 招待講演4 (A会場) (12:40~14:10)

共通-15. [招待講演] IEEE P1904.1 SIEPON and Conformance (PIF 講演) —Strategy in Standardization—  
Toshihiko Kusano (Oliver Solutions)

共通-16. [特別招待講演] モノのインターネットを実現する ID/Web ネットワーク  
三次 仁 (慶大)

招待講演5 (A会場) (14:20~15:05)

共通-17. [招待講演] 学内情報通信基盤の震災被害状況と耐震対策の効果  
曾根秀昭 (東北大)

NS5 (A会場) (15:15~16:35)

NS-18. [奨励講演] パッシブ光ネットワークにおける2値強度レベルを用いた動的帯域割当方式  
○松本翔一朗・鎌倉浩嗣 (千葉工大)

NS-19. 階層化を用いた光 TDM スケジューリング方式の評価  
○中川雅弘・服部恭太・君島直樹・片山 勝・三澤 明 (NTT)

NS-20. Wireless Friendly Congestion Control: Concept and Evaluation  
○Takafumi Ito (Tsuruoka NCT)・

Helene Jacquin (IUT)・Satoshi Utsumi (Tsuruoka NCT)・Salahuddin Muhammad Salim Zabir (France Telecom)・Norio Shiratori (Tohoku Univ.)

NS-21. Mark-Reverse Explicit Congestion Notification: Concept, Analysis and Evaluation  
○Masato Inoue (Tsuruoka NCT)・Pakapol Tangdumrongrat・Sumet Prabhavat (KMITL)・Satoshi Utsumi (Tsuruoka NCT)・Salahuddin Muhammad Salim Zabir (France Telecom)・Norio Shiratori (Tohoku Univ.)

CS1 (B会場) (15:15~16:35)

CS-22. A Design of Inter-AS Locator Space (Re) Allocation Planning Scheme in Hierarchical Automatic Locator Number Allocation (HANA)  
○Sugang Xu・Kenji Fujikawa・Hiroaki Harai (NICT)

CS-23. CCM から HCM への変換アルゴリズムに関する一考察  
○田倉 昭 (十文字学園女子大)・太田 理

CS-24. 通信特性に基づいたウェブアプリケーション識別に関する一考察  
○松尾翔希・和泉勇治・田中和之 (東北大)

CS-25. MAD-SS センサネットワークを利用した鳥のトラッキングシステムの構築—カラスのライフログ—  
○瀬川典久・澤本 潤 (岩手県立大)・東 淳樹・高橋広和 (岩手大)・時田健一・藤永清和・矢澤正人・玉置晴郎 (数理研)

CS2 (B会場) (16:45~17:45)

CS-26. レイヤ2リングNWにおけるN rate N+1 color marking による帯域公平化  
○中山 悠・太田憲行 (NTT)

CS-27. ONU パワーセーブにおける帯域制御に関する一検討  
○田野文彦・平野幸男・山下晃広・中川潤一 (三菱電機)

CS-28. 光パケット・光パス統合リングネットワークと波長スイッチング光パスネットワークの相互接続のための統一制御プレーンの構築  
○宮澤高也・古川英昭・原井洋明・和田尚也 (NICT)

☆NS 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

10月11日(木), 12日(金) 京大 [締切済] テーマ: ネットワークアーキテクチャ (オーバレイ, P2P, ユビキタス NW, スケールフリー NW, アクティブ NW, NGN・新世代 NW), 次世代パケットトランスポート (高速 Ethernet, IP over WDM, マルチサービスパケット技術, MPLS), グリッド, 一般

11月15日(木), 16日(金) 長浜バイオ大 [未定] テーマ: ネットワーク品質, ネットワーク管理, 計測, 一般

12月13日(木), 14日(金) 愛媛大 [10月11日(木)] テーマ: モバイル, アドホック, ユビキタス, 無線, セキュリティ, マルチアクセス, アクセスネットワーク・User-NetworkInterface, Home ネットワーク, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】  
NS 研究会幹事及び幹事補佐  
E-mail: ns-secretariat@mail.ieice.org  
武田知典 (NTT) TEL [0422] 59-7434  
栗本 崇 (NTT) TEL [0422] 59-3121

◎最新情報は, NS 研ホームページを御覧下さい。  
<http://www.ieice.org/cs/ns/jpn/>

◎プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

☆IN 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

10月11日(木), 12日(金) 東大山上会館〔締切済〕  
テーマ: Resilient Network, デイザスタ・リカバリ, BCP  
(Business Continuity Plan), 臨時ネットワーク構築, 省電力  
ネットワーク技術, TCP/IP, プロトコル, ルーティング,  
ネットワーク管理, 認証/ID 管理及び一般

11月 福岡工大〔9月14日(金)〕  
テーマ: ホームネットワーク,  
ユビキタスネットワーク, クラウドコンピューティン  
グ, コンテキストウェア, 位置情報サービス, e-コマース  
及び一般

12月13日(木), 14日(金) 広島市大〔10月15日(月)〕  
テーマ: インターネットやイントラネットの信頼性, 品質,  
計測, 監視, セキュリティ, トラヒック理論及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

IN 研究会幹事及び幹事補佐

E-mail: in\_ac-kanji-2007@mail.ieice.org

堀 賢治 (KDDI 研)

TEL [049] 278-7651, FAX [049] 278-7510

田坂和之 (KDDI 研)

TEL [049] 278-7574, FAX [049] 278-7510

◎IN 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/in/jpn/>

◎なお、原稿の締切日を過ぎますと技報への掲載ができなくなり、原稿なしでの御発表となります。プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

☆CS 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

10月 休会

11月20日(火), 21日(水) 北湯沢温泉湯元名水亭(北海道)〔未定〕  
テーマ: CS ワークショップ

11月21日(水), 22日(木) 北湯沢温泉湯元名水亭(北海道)〔9月14日(金)〕  
テーマ: ブロードバンドアクセス,  
ホームネットワーク, ネットワークサービス, 通信利用ア  
プリケーション, 一般

12月6日(木), 7日(金) 東海〔未定〕  
テーマ: 画像符号化, 通信・ストリーム技術, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

島田達也 (NTT アクセス・ビジネスシステム研究所)

TEL [046] 859-2275, FAX [046] 859-5513

小崎成治 (三菱電機)

E-mail: kanji2011@csken.org

◎最新情報は、CS 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/cs/jpn/>

## ★超音波研究会 (US)

専門委員長 橋本研也 副委員長 金井 浩・梅村晋一郎  
幹事 三浦 光・美谷周二朗 幹事補佐 山口 匡

日時 9月24日(月) 13:10~15:35

会場 秋田大学手形キャンパス (秋田市手形学園町 1-1. JR 秋  
田駅から徒歩 15 分. [http://www.akita-u.ac.jp/honbu/ac  
cess/index.html](http://www.akita-u.ac.jp/honbu/access/index.html) TEL [018] 889-2490 今野和彦)

議題

1. 音源面音圧のランダム分布が非線形場の形成に与える影響

○鎌倉友男・野村英之・グレゴリー T. クレメント (電通大)

2. Automated Detection of Intima-Media Complex Boundaries of  
Longitudinal Section of Carotid Artery by Fitting Echo Model  
Composed of Multiple Ultrasonic Pulses to Measured Signal

○Nabilah Ibrahim・Hideyuki Hasegawa・

Hiroshi Kanai (Tohoku Univ.)

3. 超音波エコースペクトルの重み付けと over-determined シス  
テムを用いた組織のイメージング及び変位計測—加熱治療や放  
射圧生成のための強力超音波を使用する場合を含む—

○炭 親良・石井陽介 (上智大)

4. RF マグネトロンスパッタ法における基板へのイオン照射を  
用いた極性反転 ZnO 薄膜の作製

○生駒 遼 (同志社大)・

柳谷隆彦 (名工大)・高柳真司 (同志社大)・

鈴木雅視 (名工大)・小田川裕之 (熊本高専)・

松川真美 (同志社大)

5. 超音波マイクロスペクトロスコーピー技術による石英ガラスの  
評価法—音響特性の仮想温度依存性における OH と Cl の影響

— ○荒川元孝・大橋雄二・丸山由子・檜引淳一 (東北大)・

堀越秀春・森山賢二 (東ソー・エスジー・エム)

◆日本音響学会; 超音波研究委員会, IEEE UFFC Society Japan  
Chapter 共催

◎研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆US 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

10月22日(月), 23日(火) 金沢工大〔締切済〕  
テーマ: 一般

11月29日(木) 静岡大〔9月14日(金)〕  
テーマ: 非線形音響, 一般 (非線形音響研究会共催)

12月18日(火) 東工大すずかけ台キャンパス〔10月18日  
(木)〕  
テーマ: 強力超音波, 一般 (日本塑性加工学会; 超音  
波応用加工分科会共催)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

美谷周二朗 (東大)

TEL [03] 5452-6122, FAX [03] 5452-6123

E-mail: mitani@iis.u-tokyo.ac.jp

三浦 光 (日大)

TEL [03] 3259-0776, FAX [03] 3293-8265

E-mail: miura@ele.cst.nihon-u.ac.jp

◎最新の情報はホームページで御確認下さい。

<http://www.ieice.org/~us>

——信越支部における開催——

## ★ME とバイオサイバネティクス研究会 (MBE)

専門委員長 小池康晴 副委員長 中尾光之

幹事 井澤 淳・渡邊高志 幹事補佐 吉村奈津江・中村和浩

日時 9月27日(木) 13:30~16:10

会場 信州大学工学部情報工学科 1 階第 1 講義室 (長野 (工学)  
キャンパス) (長野市若里 4-17-1. JR 長野駅東口から長電バ  
スで「信大工学部」(5 分) 下車, 徒歩 2 分. JR 長野駅善光寺  
口からアルピコバスで「信大工学部前」(8 分) 下車, 徒歩 3

分。JR 長野駅東口から徒歩 20 分。http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/maps/map03.html TEL [026] 269-5471 橋本昌巳)

#### 議題 ME, 一般

1. P300 型 BCI のための注視位置と事象関連電位に関する一考察  
○坂井優亮・青木洋康・田口拓弥・橋本昌巳・千島 亮・伊東一典・香山瑞恵・大谷 真 (信州大)・荒井善昭 (長野高専)
2. 高頻度明滅視覚刺激を用いた SSVEP-based BCI の研究  
○廣瀬秀顕・宮城大輔 (コスモ研)・小池康晴 (東工大)
3. fNIRS-GLM 解析を用いた回転変換運動タスクにおける学習の考察  
○今井貴弘・佐藤貴紀・南部功夫・和田安弘 (長岡技科大)
4. エコノミークラス症候群予防機器の開発—静脈血栓症予防機器の研究—  
○小島東作・小山 宏 (神奈川県立産技短大)
5. 筋力分配問題における神経構造パラメータの影響  
○北 佳保里・井澤 淳 (ATR)・花川 隆 (NCNP)・大須理英子 (ATR)
6. 重さの予測値が運動制御に与える影響についての考察  
○小川展夢・神原裕行・吉村奈津江・小池康晴 (東工大)

◆日本生体医工学学会; ME とバイオサイバネティクス研究会共催

☆MBE 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

10 月 11 日 (木) 阪電通大 [締切済] テーマ: ME, 一般

11 月 16 日 (金), 17 日 (土) 東北大 [9 月 12 日 (水)] テーマ: BCI/BMI とその周辺, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

#### 【問合先】

吉村奈津江 (東工大)

〒226-8503 横浜市緑区長津田町 4259-J3-10

TEL [045] 924-5054, FAX [045] 924-5085

E-mail: yoshimura@cns.pi.titech.ac.jp

### ——関西支部における開催——

#### ★ITS 研究会 (ITS)

専門委員長 羽瀨裕真 副委員長 児島史秀・山里敬也  
幹事 高取祐介・和田友孝 幹事補佐 大野光平・羽多野裕之

日時 9 月 10 日 (月) 10:20~17:40

会場 奈良先端科学技術大学院大学 (生駒市高山町 8916-5)

http://www.naist.jp/accessmap/index\_j.html)

議題 交通センシング, 通信, 情報処理, 一般

ITS-1. 各種の高度デマンド信号制御方式の性能比較

○麻生敏正 (東京海洋大)・長谷川孝明 (埼玉大)

ITS-2. 直接信号制御方式の性能について

○麻生敏正 (東京海洋大)・長谷川孝明 (埼玉大)

ITS-3. フローティングカーデータを用いた自動交通異常検出

○赤塚裕人 (東大)・高須淳宏・安達 淳 (NII)

ITS-4. 700 MHz 帯歩車間通信方式の検討及びフィールド試験結果

○永井真琴・樋口啓介・中岡 謙・土居義晴 (パソニック)

午後 (13:10~)

5. [招待講演] 空間光通信用イメージセンサの開発と車車間通

信システムへの応用 高井 勇・原田知育・安藤道則・  
宋 松・安富啓太・香川景一郎・川人祥二 (豊田中研)

安全運転支援: IPSJ-ITS

6. 視覚特性を考慮した自動車用ワイパの拭拭性能の評価法

○北山 隆・山本 新・中野倫明・山田宗男 (名城大)

7. 初心運転者の運転能力の測定・評価とその向上技術

○山田真以・山田宗男・山本 新・中野倫明 (名城大)

情報解析: IEEE-ITS

8. 車載カメラからの顔画像のフラクタル解析と表情の変化の検出

○村上公威・黒岩 孝・松原三人 (日大)

9. 背景差分を応用した車両抽出

魯 晁鋒・○堀江忠裕・泉 隆・藤 琳 (日大)

10. 自動運転技術を考慮した交通流のモデル化と解析

○星野貴弘 (日大)・坪井一洋 (茨城大)・浜松芳夫 (日大)

通信方式: IPSJ-ITS

11. 車載スマートフォンにおけるプローブデータ圧縮方式

○中瀬裕多・日江井太郎 (神奈川工科大)・齋藤正史 (三菱電機)・神戸英利 (モリテ)・清原良三 (神奈川工科大)

12. 車両内端末を移動アクセスポイントとして利用する屋外ユーザ向け Wi-Fi オフローディング手法

○藤井 賛・玉井森彦 (奈良先端大)・山本真也 (山口東京理科大)・安本慶一 (奈良先端大)

13. ユーザ参加型センシングに基づく動画渋滞情報の効率よい収集及び配信方式

○玉井森彦・安本慶一 (奈良先端大)・福倉寿信・岩井明史 (アソ)

◆電気学会; ITS 研究会, 情報処理学会; ITS 研究会連催

☆ITS 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

12 月 [未定] テーマ: 一般, ポスター講演

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

#### 【問合先】

高取祐介 (神奈川工科大学工学部電気電子情報工学科)

〒243-0292 厚木市下荻野 1030

TEL [046] 241-1211 (内線 3365)

E-mail: takatori@ele.kanagawa-it.ac.jp

#### ★リコンフィギャラブルシステム研究会 (RECONF)

専門委員長 安永守利 副委員長 京 昭倫・渡邊 実  
幹事 渡邊誠也・山田 裕 幹事補佐 山口佳樹

日時 9 月 18 日 (火) 9:30~17:20

19 日 (水) 9:00~15:30

会場 立命館大学びわこくさつキャンパスエポック立命 21 (草津市野路東 1-1-1. http://www.ritsumei.jp/accessmap/accessmap\_bkc\_j.html 泉 知論)

議題 リコンフィギャラブルシステム, 一般

18 日午前 画像処理 (1)

1. FPGA による動画ブレ補正処理の実装

○矢葺 徹・山口佳樹・児玉祐悦 (筑波大)

2. ベクタプロセッサ Venus を用いた道路標識検出システムの構築

○杉田善哉・富澤友樹・福井正博 (立命館大)

3. 動的再構成可能回路における JPEG エンコーダ設計とその評価

○澤野 肇・神戸尚志・荒木統行 (近畿大)

## リコンフィギャラブル応用(1)

4. FPGA を用いた柔軟な音色合成の検証 ○落合 優・山口佳樹・児玉祐悦 (筑波大)
5. PSoC を用いたリチウムイオン蓄電池の残量予測システムの実装と評価 ○藤本政士・井上達也・林 磊・福井正博 (立命館大)

## 18 日午後 招待講演 (13:20~)

6. [招待講演] 耐タンパディペンダブル VLSI システムの開発・評価 藤野 毅 (立命館大)

## FPGA アーキテクチャ

7. Balsa フレームワークを用いた同期式 FPGA 上での非同期回路の小面積設計 ○張山昌論・小松与志也・亀山充隆 (東北大)
8. ハンドシェークコンポーネント設計を指向した非同期 FPGA アーキテクチャ ○張山昌論・小松与志也・亀山充隆 (東北大)
9. 少構成メモリ論理セル COGRE を用いた小面積論理クラスタ構造の一提案 ○高橋知也・井上万輝・尼崎太樹・飯田全広・久我守弘・末吉敏則 (熊本大)

## リコンフィギャラブルアーキテクチャ

10. チップレベルのリコンフィギャラブル技術 CoC (Castle of Chips) 天野英晴 (慶大)
11. FPGA における細粒度動的再構成機構の検討 ○上田晋寛・河本尚輝・土肥慶亮・柴田裕一郎・小栗 清 (長崎大)
12. 再構成速度調整アナログビットを含む光再構成型ゲートアレイのコンテキスト重ね合わせによる構成高速化手法 ○余座真志・渡邊 実 (静岡大)

## 19 日午前 画像処理(2)

1. 動画形状検出処理における動的再構成による省電力効果の検討 ○河本尚輝・上田晋寛・土肥慶亮・柴田裕一郎・小栗 清 (長崎大)
2. FPGA を用いた液晶用ガラス欠損検出システムの高速化 ○松山圭輔・孟 林・天井康夫・山崎勝弘 (立命館大)
3. 高速動的再構成型ビジョンチップアーキテクチャによるアナログ画像検出 ○上窪勇貴・渡邊 実・川人祥二 (静岡大)
4. FPGA/GPU アクセラレータを有する高性能計算向けヘテロジニアスプラットフォームと 2-DFDTD への応用 ○張山昌論・ハシタ ムトゥマラ ウィンディスーリヤ・武井康浩・亀山充隆 (東北大)
5. 密結合 FPGA クラスターの試作と格子ボルツマン計算の実装 ○佐野健太郎・高野芳彰・鈴木隼人・千葉諒太郎・山本 悟 (東北大)
6. 異なる通信インターフェースを持つ複数の FPGA クラスタ用 OS ○児島 彰・弘中哲夫 (広島市大)

## 19 日午後 高位合成と開発環境 (13:15~)

7. A Design Framework for reconfigurable IPs with VLSI CADs ○Qian Zhao・Kazuki Inoue・Motoki Amagasaki・Masahiro Iida・Morihiro Kuga・Toshinori Sueyoshi (Kumamoto Univ.)
8. 粗粒度動的再構成回路における回路自動生成の手法と評価 ○荒木統行・神戸尚志 (近畿大)

## リコンフィギャラブル応用(2)とソフトウェア耐性技術

9. PSoC を用いたリチウムイオン蓄電池の劣化抑制型急速充電システムの実装と評価 ○青木智志・平田崇人・

福井正博 (立命館大)

10. MPU と ROW シフト法に基づくインデックス生成器を用いたウイルス検出エンジンについて ○中原啓貴 (鹿児島大)・笹尾 勤・松浦宗寛 (九工大)
11. FPGA システムのソフトウェア耐性評価におけるブートストラップ法による高速化 ○高野光平・一ノ宮佳裕・尼崎太樹・久我守弘・飯田全広・末吉敏則 (熊本大)

## ◆立命館大学総合科学技術研究機構 VLSI センター後援

◎18 日 18:00 以降に懇親会を計画しています。会費は一般 4,000 円、学生 3,000 円です。参加希望の方は次のフォームにてローカルアレンジメント(泉)宛にお申し込み下さい。

[RECONF 懇親会申込フォーム]

題目:2012 年 9 月 18 日 RECONF (研)

懇親会申込み宛先:t-izumi@se.ritsumeit.ac.jp

本文:・御名前:(一般・学生)一方を削除下さい

・御所属:・E-mail:

※御所属ごとにまとめて御登録頂けましたら助かります。

※御名前, 御所属, Email は全員分御登録願います。

※9 月 11 日(火) 17:00 までにお申し込み下さい。

## 【問合先】

渡邊 実(静岡大工学部)

TEL & FAX [053] 478-1096

E-mail:tmwatan@ipc.shizuoka.ac.jp

## ★スマートインフォメディアシステム研究会 (SIS)

専門委員長 尾上孝雄 副委員長 棟安実治・田中宏和

幹事 吉澤真吾・筒井 弘 幹事補佐 目黒光彦・田中 豪

日時 9 月 20 日(木) 10:00~17:00

21 日(金) 10:40~12:00

会場 鳥取県関西本部交流室(大阪市北区梅田 1-1-3-2200 大阪駅前第 3 ビル 22 階。JR 大阪駅から徒歩 8 分。http://www.pref.tottori.lg.jp/45735.htm TEL [06] 6341-3955 (会場)伊藤良生(鳥取大))

議題 知的マルチメディアシステム, 一般

20 日午前

SIS-1. 二色型色覚者のための LUT による弁別困難色コントラスト改善 ○田向 権・関根優年(東京農工大)・田中 豪(名古屋市大)・末竹規哲(山口大)

SIS-2. ヒストグラム均等化に基づくカラー画像強調法

○村平宏太・田口 亮(東京都市大)

SIS-3. A Hardware Architecture of the Transform Applied to H.265/HEVC Emerging Video Coding Standard

○Wenjun Zhao・Takao Onoye (Osaka Univ.)

SIS-4. H.264/AVC 4 モード並列 16×16 luma イントラ予測回路に関する一検討 ○渡邊賢治・伊勢正尚(シシス)・藤田 玄(阪電通大)

20 日午後 (12:50~)

SIS-5. 依存ディリクレ HMM を用いた混雑下における大規模流れの検出 ○岡本拓也・近藤克哉(鳥取大)

SIS-6. 双曲線モデルを用いた道路境界線の検出

○西田実可・棟安実治・國忠世紀(関西大)

SIS-7. 振幅スペクトルに埋め込んだマーカによる補正を用いた印刷画像へのデータ埋め込みと検出 ○玉置公寿・棟安実治(関西大)

- SIS-8. 高精細画像拡大のための情報埋込型画像縮小  
○田向 権 (東京農工大)・河野英昭 (九工大)・末竹規哲 (山口大)・関根優年 (東京農工大)・車 炳キ・麻生隆史 (九州情報大)
9. 画素値ヒストグラムの相関係数を用いた電子透かし画像検索法における基準画像設定 ○今村幸祐 (金沢大)・黒田英夫 (FPT大)・藤村 誠 (長崎大)
- SIS-10. [招待講演] コンピュータグラフィックスの歴史と未来 土橋宜典 (北大)
11. [特別講演] 未定 松川善彦 (パソナ)
- 21日

- SIS-1. 適応ラインエンハンサを用いた外乱に対しロバストな多重適応ノッチフィルタに関する一検討  
○塩貝一樹 (鳥取大)・大江高弘 (中部大)・笹岡直人 (鳥取大)・衣笠保智 (松江高専)・小林正樹 (中部大)・伊藤良生 (鳥取大)

- SIS-2. マルチフラクタル時間変換を用いた多変量マルチフラクタル時系列からのパラメータ推定 時永祥三 (九大)・○池田欽一 (北九州市大)

- SIS-3. 画像曲面のガウス曲率を用いたインパルス雑音検知手法  
○近木邦彦・三浦 翔・辻 裕之・木村誠聡 (神奈川工科大)

- SIS-4. DSを用いた来院者向けのコンテンツ配信とアンケートサービス ○申間宗夫・田之上光一・酒田拓也・荒木賢二・鈴木斎王・荒木早苗・仁鎌照絵・山崎友義 (宮崎大)

◆情報処理学会；オーディオビジュアル複合情報処理研究会連催  
☆SIS研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

12月 東京都〔未定〕テーマ：RFID 関連技術，システムオンシリコン，一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

吉澤真吾 (北見工大)  
E-mail: yosizawa@mail.kitami-it.ac.jp

——中国支部における開催——

★教育工学研究会 (ET)

専門委員長 中村直人 副委員長 小西達裕  
幹事 國宗永佳・渡辺健次 幹事補佐 西尾典洋・森本容介

日時 9月29日 (土) 10:30~16:00  
会場 岡山理科大学 (岡山市北区理大町 1-1. JR 岡山駅西口 (22番乗り場) から岡電バス「47 岡山理科大学」行で約20分, JR 岡山駅東口 (3番乗り場) から岡電バス「37 理大東門」行で約30分. <http://www.ous.ac.jp/access.php?jpml=accessmap> TEL [086] 256-9651 宮地 功)

議題 ブレンディッドラーニングにおけるメディアの役割/一般  
1. 「コンピュータの歴史」のブレンド型授業における力に関係した意識の変容に役立つ活動の分析

○宮地 功 (岡山理科大)・吉田幸二 (湘南工科大)

2. Relationism-First の理念に基づく Blended Learning の基幹的位置付け—電磁環境と倫理面を通した一視点—

○藤田幸史 (尾道市大)・太田光雄 (元広島大)

3. 英語 TTS ソフトのブレンド型授業活用とその効果

○藤代昇丈 (岡山東商高)・宮地 功 (岡山理科大)

第一種研究会開催案内

- 午後
4. Java プログラミング学習支援システムでのコード設計学習機能の実装 ○中村拓哉・船曳信生・中西 透・渡邊 寛・天野憲樹 (岡山山)
5. 協調的作問環境を活用したプログラミング教育の試み  
○新開純子・早勢欣和 (富山高専)・宮地 功 (岡山理科大)
6. Web 教材書き込み共有システムにおける教材更新時の書き込み位置推定手法の改良 ○小林慶太・國宗永佳・新村正明 (信州大)
7. カテーテル手技映像教材化システムのインターフェース改善と評価 ○横関秀樹 (公立はだて未来大)・戸田真志 (熊本大)・赤羽正章 (東大病院)
8. 簡易脳波計による学習状態の脳波の分析比較  
○吉田幸二・坂本佑太 (湘南工科大)・宮地 功 (岡山理科大)・山田罔弘 (東海大)
9. 企業との連携によるビジネスモデル作成授業の改善  
成瀬喜則・○清水 真 (富山高専)

◎研究会終了後、懇親会を予定していますので、是非御参加下さい。参加を希望される方は、下記「問合先」まで、メールでお知らせ下さい。

☆ET 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

10月27日 (土) 信州大〔締切済〕テーマ：教育・学習支援プラットフォーム/一般

11月17日 (土) 佐賀大本庄キャンパス [9月10日 (月)]  
テーマ：e-Learning 運用/一般

12月 関東〔未定〕テーマ：若手支援企画/一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

渡辺健次 (佐賀大)  
TEL [0952] 28-8828  
E-mail: watanabe@is.saga-u.ac.jp

◎原稿締切日までに原稿がアップロードされない場合には、自動的に発表キャンセルとなります。原稿がない発表は認めていませんので御注意下さい。

——四国支部における開催——

★回路とシステム研究会 (CAS)

専門委員長 中野敬介 副委員長 山路隆文  
幹事 前田義信・三友敏也 幹事補佐 高藤大介・宮北和之

★非線形問題研究会 (NLP)

専門委員長 上田哲史 副委員長 池口 徹  
幹事 高坂拓司・神野健哉 幹事補佐 坪根 正・木村貴幸

日時 9月20日 (木) 12:40~17:25  
21日 (金) 9:30~16:30

会場 高知県立大学永国寺キャンパス南学舎 137 教室 (高知市永国寺町 5-15. <http://www.u-kochi.ac.jp/access/eikokuji.htm> 一色健司)

議題

20日

1. 連続したオン状態を実現するブートストラップスイッチ回路の設計 ○西面尚彰・橘 昌良 (高知工科大)

2. 四足歩行運動パターンを制御するアナログ回路設計の試み  
○前田義信・久保田真仁(新潟大)・鈴木康之・野村泰伸(阪大)
3. 電気自動車の「ながら充電」における予約方法について  
○伊部優大・中野敬介・宮北和之(新潟大)
4. 高齢者における胃電図の数理モデルについて  
○松浦康之・高田宗樹(福井大)
5. 量子波干渉系の古典粒子モデルに関する基礎的研究  
○永田啓介・藤坂尚登・神尾武司・生岩量久(広島市大)
6. 3つのスパイクニューロンによるパルス結合系の基本ダイナミクス  
○柴田 翔・松岡祐介(米子高専)
7. 周期解から2-トラス, 3-トラスへの遷移  
○伊藤 薫・稲葉直彦(明大)・関川宗久(東大)・遠藤哲郎(明大)
8. [招待講演] タイムインターリーブ型 A/D 変換器のデジタル補正技術  
○松野隼也・山路隆文・古田雅則・板倉哲朗(東芝)
9. [招待講演] 送電鉄塔サージインピーダンス—その定義と C. A. Jordan の公式—  
奥村浩士(サイモンレーザ大)
- 21 日午前
1. 粒子群最適化による Multi-timescale Adaptive Threshold モデルのパラメータ推定  
○宮脇昌司・小林亮太・北野勝則(立命館大)
2. Pulse Coupled Neural Network を用いた画像内容検索における計算量の最適化  
○石田祐大・黒川弘章(東京工科大)
3. 回路ベース FDTD 法における回路分割手法の導入  
丹治裕一(香川大)
4. スイッチングタイミングの摂動による DC-DC コンバータの未知不安定周期解の安定化  
○グエン ティ ミー ハン・坪根 正(長岡技科大)
5. Proof of an inequality related to the Omega-matrix  
○Tetsuo Nishi・Shin'ichi Oishi (Waseda Univ.)・Norikazu Takahashi (Kyushu Univ.)
6. 分割面が長方形である直方体分割の表現法  
高橋俊彦(新潟大)
- 21 日午後 (13:10~)
7. [招待講演] DCDC コンバータのデジタルヒステリシス予測制御方式  
劉 鳴(日立)
8. [招待講演] 損失を持つ疎結合トランスを用いた受動複素バンドパスフィルタ  
○庄野和宏・天野 悠(筑波大)
9. 単電子リングオシレータ結合回路網の同相化の検討  
○野田遥華・永田啓介・藤坂尚登・神尾武司・生岩量久(広島市大)
10. 安定性変換に基づくカオス制御法の高次元系への適用  
○長谷川拓海・坪根 正(長岡技科大)
11. 3次元自律系の対称平衡点に関するベイスン崩壊の数値検証  
○稲葉純平(徳島大)・西内悠祐(高知高専)・上田哲史(徳島大)
12. 2つの異なる周期外力を有する断続回路について—Fast-scale に生じる Border-collision 分岐が Slow-scale 分岐にもたらす影響—  
○和泉 悠・麻原寛之・高坂拓司(大分大)

☆CAS 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

11月1日(木), 2日(金) 岩手大〔締切済〕テーマ: グラフ, ベトリネット, ニューラルネット及び一般

【問合せ先】

宮北和之(新潟大)

TEL [025] 262-7581

E-mail: miyakita@cais.niigata-u.ac.jp

◎回路とシステム研究専門委員会では, 研究会の振興を目的として「回路とシステム研究会学生優秀発表賞」を制定しました. 優秀な学生発表は, 3月の総合大会にて表彰致しますので, 奮って申し込み・投稿をお待ちしております. 受賞資格は回路とシステム研究会で御自身で発表され, かつ予稿にて第一著者の IEICE 学生会員(申し込み中でも可)の方です. 詳しくは幹事までお問い合わせ下さい.

☆NLP 研究会

【問合せ先】

高坂拓司(大分大)

TEL [097] 554-7799, FAX [097] 554-7790

E-mail: takuji@oita-u.ac.jp

### ★コミュニケーションクオリティ研究会 (CQ)

専門委員長 山崎達也 副委員長 高橋 玲・板倉英三郎  
幹事 布目敏郎・岡本 淳 幹事補佐 立花篤男

### ★モバイルマルチメディア通信研究会 (MoMuC)

専門委員長 横田英俊 副委員長 井上真杉  
幹事 鶴岡行雄・榎原 茂  
幹事補佐 上村郷志・北形 元・小林基成

◎本研究会は CQ 研究会と MoMuC 研究会の併催です. 研究会資料は各研究会ごとに発行されます.

日時 9月27日(木) 9:00~18:00

28日(金) 9:00~16:40

会場 丸亀町レッツホール(高松市丸亀町13-2 丸亀町ビル.  
<http://kame3.jp/access/> TEL [087] 821-1651)

議題 モバイルネットワーク, モバイルサービスとアプリケーション, マルチメディアコンテンツと配信, 及びこれらの品質, 一般

27 日午前

MoMuC-1. 脳波の時系列情報を用いた不快反応の検出

○今若卓也・山下雄己・上岡英史(芝浦工大)

MoMuC-2. N-gram モデルを用いた Twitter における影響力のあるツイート分析

○中田侑輝・上岡英史(芝浦工大)

MoMuC-3. Web コンテンツ共有を実現するためのセッション制御手法

○猪股耕平・上岡英史(芝浦工大)

CQ-4. ピア補助型コンテンツ配信における組み合わせ配信による削減トラフィック量の評価

○真木尚也・西尾理志・新熊亮一(京大)・森 達哉・上山憲昭・川原亮一(NTT)・高橋達郎(京大)

CQ-5. An Integrated Communication System Architecture for Information-Range Control

○Yasuharu Sawada・Ryoichi Shinkuma (Kyoto Univ.)・Hiroyuki Kasai (Univ. of Electro-Comm.)・Kazuhiro Yamaguchi (KDL)・Elio Salvadori (CREATE-NET)・Tatsuro Takahashi (Kyoto Univ.)

CQ-6. 3D 映像に対する他覚的疲労感評価法の一検討

○川嶋喜美子・岡本 淳(NTT)・石川和夫(東京工芸大)・根岸一乃(慶大)

27 日午後 (13:30~)

MoMuC-7. 無線 LAN アクセスポイントの省電力化のための  
キューイング制御方式 小川将克 (上智大)

MoMuC-8. モバイル環境においてソーシャルな関係性を推定する  
アルゴリズムの検討 ○木田明宏・新熊亮一 (京大)・  
笠井祐之 (電通大)・山口和泰 (KDL)・高橋達郎 (京大)

MoMuC-9. フローへのノード毎に異なる優先度付与方式  
○林 裕平・山岡克式 (東工大)

#### パネルセッション

共通-10. [招待講演] 情報メディアの変容とコミュニケーション  
岡田朋之 (関西大)

共通-11. [招待講演] デジタル・テクノロジーを用いた視覚情  
報表現 肥後有紀子 (武庫川女子大)

共通-12. [招待講演] 無線 LAN オフロードに伴う無線稠密環  
境における課題 ○岸田 朗・岩渕匡史・新宅俊之・  
阪田 徹 (NTT)

共通-13. [パネル討論] モバイルマルチメディアの展望—有無  
線統合ネットワークの観点から— 中内清秀 (NICT)

#### 14. パネル討論

28 日午前

CQ-1. IEEE 802.16j リレーネットワークにおけるレイリー  
フェージング環境下の電波干渉モデルの性能評価

○三根量輔・長谷川 剛・谷口義明・中野博隆 (阪大)

CQ-2. 無線 LAN における MC パケット損失の解析及び実験に  
よる評価 ○小川知将・平栗健史 (日本工大)

CQ-3. リンク情報を用いた無線 LAN 映像伝送のためのレート  
制御手法の検討 ○黒住正顕・小田周平・  
青木勝典 (NHK)・安食和晃 (NHK *7iテック*)

CQ-4. 3D 映像を対象とした主観品質評価法の性能比較  
○河野太一・山岸和久 (NTT)

CQ-5. 音声切り替え可能な多視点ビデオ・音声 (MVV-A) IP  
伝送の QoE 多次元評価 ○石田卓也・布目敏郎 (名工大)

CQ-6. 汎用 Android スマートフォンを用いた CMT-SCTP ス  
キームの提案 ○立花篤男・長谷川輝之 (KDDI 研)

28 日午後 (13:30~)

MoMuC-7. SPDY アクセラレータを用いた Web アクセス高速  
化方式の実装評価 ○峯木 巖・上村郷志・  
長谷川輝之 (KDDI 研)

MoMuC-8. Android アプリケーション開発におけるデータベ

ス構築手法の検討

○佐々木喜一郎 (岐阜経済大)・  
安田孝美 (名大)

MoMuC-9. Architecture to Rapidly Distribute IMS Processing  
Workload in Severely Congested Situations

○Yoshinori Kitatsuji・Hidetoshi Yokota (KDDI Labs.)

CQ-10. ノードの接触時間分布を利用したエビデミックブロード  
キャスト方式 ○松田浩輔・渡部康平・大崎博之 (阪大)

CQ-11. 局地的大量トラフィックの発生による複数設備の同時輻輳  
を考慮した負荷分散法 ○塩津晃明・土屋利明・  
長谷川治久 (NTT)

CQ-12. Fuzzy logic based MPR selection for OLSR  
○Narangerel Dashbyamba・Celimuge Wu・  
Satoshi Ohzahata・Toshihiko Kato (Univ. of Electro-Comm.)

☆CQ 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

11 月 15 日 (木), 16 日 (金) 長浜バイオ大 [未定] テーマ:  
ネットワーク品質, ネットワーク管理, 計測, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

#### 【問合先】

布目敏郎 (名工大)

TEL & FAX [052] 735-7785

岡本 淳 (NTT)

TEL [0422] 59-6526, FAX [0422] 59-6364

E-mail: [cq\\_ac-kanji@mail.ieice.org](mailto:cq_ac-kanji@mail.ieice.org)

◎最新情報は, CQ 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/cq/jpn/>

☆MoMuC 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

11 月 福岡工大 [9 月 14 日 (金)] テーマ: ホームネットワー  
ク, ユビキタスネットワーク, クラウドコンピューティン  
グ, コンテキストウェア, 位置情報サービス, e-コマース  
及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

#### 【問合先】

鶴岡行雄 (NTT)

E-mail: [tsuruoka.yukio@lab.ntt.co.jp](mailto:tsuruoka.yukio@lab.ntt.co.jp)

樫原 茂 (奈良先端大)

E-mail: [shigeru@is.aist-nara.ac.jp](mailto:shigeru@is.aist-nara.ac.jp)

### お詫びと訂正

以下の 1 件の電子情報通信学会 SITE 研究会技術報告に高橋 寛氏の氏名を冒用し, 事実に反し  
あたかも著作者であるかのように表示しました。ここに, 深くお詫び申し上げますとともに, 訂正す  
ることと致します。

平松幸男, 竹村茉莉

・竹村, 平松, 高橋, 「通信・放送融合における著作権問題」, 信学技報, vol.111,  
no. 485, SITE2011-39, pp. 101-106 (2012 年 3 月) (情報処理学会 IOT 研究会と共催)

### ★電子ディスプレイ研究会 (EID)

専門委員長 服部励治 副委員長 志賀智一・小南裕子  
 幹事 伊達宗和・山口雅浩  
 幹事補佐 増田善友・山口留美子・山口 一・藤田悦昌・  
 新田博幸・小澤史朗・中田 充

☆EID 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

1月24日(木), 25日(金) 静岡大浜松キャンパス [10月27日(土)] テーマ: 発光型/非発光型ディスプレイ

一般講演: ディスプレイに関する技術全般

LCD (バックライトを含む), PDP, 有機/無機 EL, CRT, FED, VFD, LED などのディスプレイに関するデバイス, 部品・材料及び応用技術 (ショート口頭発表付きポスター講演を予定)

映像情報メディア学会; 情報ディスプレイ研究会, 電気学会; 電子デバイス技術委員会/スマートユビキタスディスプレイ調査専門委員会連催. 照明学会; 固体光源分科会, SID 日本支部 共催

【発表申込先】 下記の学会のいずれからでも発表の申込みができます (予稿の著作権は申込み学会に帰属します).

・電子情報通信学会研究会発表申込システム

<http://www.ieice.org/ken/program/index.php?tgid=IEICE-EID>

・映像情報メディア学会研究会発表申込システム

<http://www.ite.or.jp/ken/program/index.php?tgid=ITE-IDY>

・電気学会 (事業サービス課に電子メールで申込み)

E-mail: event@iee.or.jp TEL [03] 3221-7313

【問合先】 映像情報メディア学会; 情報ディスプレイ研究委員会 根尾陽一郎 (静岡大)

TEL [053] 478-1319, FAX [053] 478-1321

E-mail: y-neo@rie.shizuoka.ac.jp

### ★ニューロコンピューティング研究会 (NC)

専門委員長 西井 淳・副委員長 古川徹生  
 幹事 小澤誠一・宮下真信 幹事補佐 佐藤直行・木村聡貴

☆NC 研究会今後の予定 [ ] 内発表申込締切日

・10月4日(木), 5日(金) 九工大 [締切済] テーマ: ニューロコンピューティングの実装及び人間科学のための解析・モデル化, 一般 ([招待講演] 松岡清利 (九工大))

(日本神経回路学会, IEEE CIS-Japan 共催)

【問合先】

古川徹生 (九工大)

TEL [093] 695-6124

E-mail: furukawa@brain.kyutech.ac.jp

・11月16日(金), 17日(土) 東北大青葉山キャンパス [9月12日(水)] テーマ: BCI/BMI とその周辺, 一般

MBE 研究会併催, 日本神経回路学会, IEEE CIS-Japan 共催

【発表申込先】 発表申込システムより電子的に行ってください.

<http://www.ieice.org/ken/program/index.php?tgid=NC>

【問合先】

木村聡貴 (NTT)

TEL [046] 240-3681

E-mail: kimura.toshitaka@lab.ntt.co.jp

### ●第25回情報伝送と信号処理ワークショップ

実行委員長 笹瀬 巖 (慶大)

テーマ 「メディアとネットワークの最前線」

年に一度の本ワークショップも今年で25回目を迎えます. 今回は、「メディアとネットワークの最前線」をテーマとし, 第一線で御活躍中の技術者・研究者をお招きして, 情報通信ネットワーク, 信号処理, アプリケーションの最新技術について9件の御講演を企画致しました. また, ICTの新たな可能性を示す3件の特別講演とフェロー講演もお願い致しました. 雄大な景色の中で, リラックスした雰囲気, ICTの将来について議論をお楽しみ頂くとともに, 親交を深めて頂ければ幸いです. 併催の通信方式研究会と共に, 多数の皆様のお参加をお待ちしております. (詳細は <http://www.ieice.org/cs/cs/jpn/cs/ws/>)

期日 平成24年11月20日(火)~22日(木)

会場 湯元名水亭 (伊達市大滝区北湯沢温泉 <http://www.meisuitei.com/> TEL [0142] 68-6677)

講演 テーマ「メディアとネットワークの最前線」

以下のセッションを計画しています. なお, スケジュール等は変更になる場合があります. 最新情報は学会ホームページ (<http://www.ieice.org/cs/cs/jpn/cs/ws/>) にて御確認下さい.

20日 (13:00~18:30)

オープニング

笹瀬 巖 (慶大)

[第1セッション]

1. 超解像を利用した高画質化及び画像符号化技術

影山昌広 (日立)

2. スーパーハイビジョンによるロンドン五輪のパブリックビューイング

鹿喰善明 (NHK)

3. VHF-High 帯マルチメディア放送 NOTTV のサービスと技術

大矢智之 (mmbi)

4. Media HUB

香取啓志 (メディアプラットフォームラボ)

5. 将棋プロ棋士の直観力を脳科学で探る—応用と計算理論構築に向けて—

山川 宏 (富士通研)

[特別講演]

6. 植物工場=植物の科学的生産法—データにもとづく科学的思考と判断—

池田英男 (千葉大)

7. 日本を変える—分離の科学技術から非分離の科学技術へ—

矢野雅文 (東北大)

夕食・懇親会 (19:00~)

21日 (9:00~12:00) CS 研究会 第一部

21日 (13:00~17:50)

[第2セッション]

1. 情報理論と情報スペクトル

韓 太舜 (NICT)

2. Compressed Sensing and its Applications in Wireless Communication

李 斗煥 (東大)

3. 将来ネットワークに向けた ICT 統合マネジメント

山田一久 (NTT)

4. NTT の一研究者が眺めてきた IPv6 の昔から今まで

宮川 晋 (NTT コミュニケーションズ)

[特別講演]

5. 注目される二つの周波数割り当て要求 (携帯だけがワイヤレスではない!)

伊藤泰彦 (KDDI 研)

[フェロー講演]

6. 伝達ネットワークの発展と今後の課題 佐藤健一(名大)  
フェローと講師を囲んで(交流会)(20:30~)

22日(9:00~12:00)CS研究会 第二部

#### 【参加申込】

参加申込締切 11月9日(金)

参加費(予稿集込):

学会員 25,000円, 非会員 30,000円, 学生 10,000円

宿泊費: 16,000円(2泊/全参加者共通), 予稿集: 4,000円

参加申込手続き: 学会ホームページ(<http://www.ieice.org/cs/cs/jpn/csws/>)のCSワークショップ参加申し込みフォームにてお申し込み下さい。宿泊、及び航空券手配につきましてもCSWSバックを御用意しておりますので、同フォームよりお申し込み下さい。会場案内等の詳細は上記学会ホームページを御覧下さい。

#### 【参加費の銀行振込先】

振込先: みずほ銀行(銀行コード: 0001)

金沢文庫支店(店番号: 899) 口座番号: 1146610

CSWS実行委員会(シーエスダブルエスジツコウイインカイ)

なお、振込通知(金額内訳を明記)を下記までE-mail, FAX等で行って下さい。

会計幹事 樽林亮介

FAX [046] 855-1284

E-mail: kurebayashi.ryosuke@lab.ntt.co.jp

#### 【問合せ先】

山垣則夫 E-mail: n-yamagaki@cj.jp.nec.com

主催 情報伝送と信号処理ワークショップ実行委員会  
通信方式研究専門委員会

## ◇ ◇ 第二種研究会発表募集案内 ◇ ◇

### ●複雑コミュニケーションサイエンス研究会(CCS) 日韓合同ワークショップ“Korea-Japan Joint Workshop on Complex Communication Sciences”

General Co-chair: 岡本英二(CCS委員長, 名工大)

Dong-Kyue Kim(漢陽大)

複雑コミュニケーションサイエンス時限研究専門委員会(CCS)は、情報通信技術(ICT)の全ての階層、それを取り巻く情報通信環境、そして神経系や生物システム、更には人間のソーシャルコミュニケーションをも含めた広範な研究対象を扱い、そこにある現実的問題の本質、限界、そして、それらの背後に横たわる普遍的特質を明らかにするサイエンスの創出を目指します。「複雑コミュニケーションサイエンス」という標語は、こうした実用的・実体的システムにおける情報伝達とインタラクションのリアリティにこそ、豊かなサイエンスへと成長する多くの芽が潜在しているはずであるという、我々の科学的直観を反映しています。

具体的には、下記の分野に芽生える新領域への取組みを計画しています。

- 1) 通信システムの理論
- 2) 分散ネットワークと分散アルゴリズムの理論
- 3) 通信システムの基盤としてのパワー、エネルギー的側面に關

する基礎研究

4) 電理工学と通信システムの界面

5) 上記4領域と関連する実証的アプローチ、実システム上の諸問題

6) 通信システムの技術、知見から神経系、生体システムを捉え直す研究

7) 電磁波伝搬(フェージングの問題等含む)の理論・モデリングの研究

8) レーダ、トモグラフィの計測分野で見られる非線形性、更に信号レベルで現れる非線形ひずみ等の非線形性が本質となる諸問題

9) レーザ等の非線形デバイスと通信システムの界面

この度CCSは、近年日本と韓国で独自に進められているICTに関わる複雑コミュニケーションサイエンス研究の情報交換を行い、交流を深める目的で、ソウル市内の漢陽大学にて国際ワークショップを行います。韓国からはSamsung社や漢陽大学のICT関係の研究者を、日本からも新領域の先導的な研究者をお招きし、御講演頂く予定です。(基調講演・招待講演: 3件予定)

期日 平成24年11月22日(木)、23日(金)

会場 韓国漢陽大学(Hanyang Univ.)ソウルキャンパス

発表申込締切 9月30日(日)

概要集原稿提出締切 10月15日(月)

参加費(食費込み) 10,000円程度(未定)

#### 【発表/参加申込】

氏名(和文・英文)、所属(和文・英文)、連絡先、発表される場合は題目(英文)をメールにて下記世話人まで御連絡下さい。

参加費は、事前振込みにてお支払い下さい。

銀行振込口座情報は、参加申込み後にお知らせ致します。

会場では概要集のみの配布となります。御講演内容の論文発表につきましては、学術論文誌の特集号を企画しておりますので、ワークショップ終了後に改めてお知らせ致します。

#### 【発表/参加申込・問合せ先】

金 成主(理研韓国支所)・青野真士(理研)

E-mail: masashi.aono@riken.jp

◎最新情報は、当研究会のホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/ess/ccs/>

主催 複雑コミュニケーションサイエンス時限研究専門委員会

### ●第5回集積光デバイスと応用技術研究会

委員長 裏 升吾(京都工繊大)

副委員長 粕川秋彦(古河電工)

日時 平成24年12月6日(木) 13:00-17:40(予定)

会場 JR博多シティ会議室(A+B)(福岡市博多区博多駅中央街1-1JR博多シティ9階。 <http://www.jrhakatacity-event-space.jp/meetingroom/index.html>)

テーマ: 有機デバイス及びプリンタブルデバイス

第5回研究会を下記の内容で開催し、一般講演を募集します。

近年、有機ELや各種バイオセンサと言った有機材料と従来の無機エレクトロニクス融合による新しいデバイス創成が注目を集めています。有機材料あるいは有機・無機ハイブリッド材料は、有機分子の設計度の自由さも相まって、新しい材料の出現によるブレイクスルーが今後も期待されています。更に、有機材料の特長としてプリンタブル作製が容易であることも挙げられます。製膜技術から始まり、直接描画・三次元実装・低ランニングコストを可能とする本技術についても盛んな研究が行われています。集

積光デバイスと応用技術研究会では、このような有機及びプリンタブルデバイスをテーマとして第5回の講演会を企画することとなりました。活発な議論ができますよう、多数の方々の御応募と御参加をお待ちしております。

発表申込 9月18日(火)までに、講演題名、概要(数行)、著者名、所属、連絡先(住所、TEL、FAX、E-mail)を下記の第5回研究会担当委員もしくは幹事までお知らせ下さい。

原稿提出 11月6日(火)締切、A4判、6枚程度。

参加資格 特に問いません。

参加申込 研究会開催当日、会場にて受け付けます(事前申し込み不要)。

参加費 一般参加者5,000円、学生1,000円

特別招待講演

安達千波矢(九大最先端有機光エレクトロニクス研究センター)

都甲 潔(九大システム情報科学研究院)

講演会御参加の方で御希望の方のみ、翌12月7日に九州大学最先端有機光エレクトロニクス研究センター見学会(九州大学伊都キャンパス、福岡市西区元岡744)にお連れします。御参加を御検討下さい。

**【講演に関する申込・問合先】** 第5回研究会担当委員

興 雄司(九大)

TEL [092] 802-3742, FAX [092] 802-3739

E-mail: oki@ed.kyushu-u.ac.jp

**【その他の研究会一般に関する問合先】** 幹事

大磯義孝(NTT フォトニクス研)

TEL [046] 240-3282, FAX [046] 240-4345

E-mail: ohiso@aecl.ntt.co.jp

山下兼一(京都工繊大)

TEL [075] 724-7423, FAX [075] 724-7400

E-mail: yamasita@kit.ac.jp

主催 集積光デバイスと応用技術時限研究専門委員会

## ●第5回超高速光エレクトロニクス研究会

委員長 神成文彦(慶大)

超高速光通信、短パルス発生、超高速光計測などから材料・デバイスまで、また、応用技術から基礎研究まで、超高速光技術を中心とした光の技術に関連する一般講演を広く募集致します。是非奮って御応募下さい。

期日 平成24年12月7日(金)、8日(土)

会場 箱根強羅ラフォーレ強羅(<http://www.laforet.co.jp/lfhotels/gor/>)

テーマ: 超高速光技術を軸に光の技術を俯瞰する—基礎研究から応用技術まで—

内容

超高速光技術に関連した光の技術は、通信分野や計測分野等の様々な分野で、電子情報通信分野の基盤技術の一つとして用いられてきた。近年の100 Gbps デジタルコヒーレント伝送の実用化は、超高速光技術を中心に光の技術が培ってきた、波長・位相・偏光といった光の持つ様々な特性を制御する技術を土台としている。今後も、将来の基盤技術の一つとして、光の技術は、光の持つ高速性、広帯域性といった特長を生かしつつ、新たな展望を切り開く必要がある。このような現状を踏まえ、材料からシステムまで、基礎から応用まで、超高速光技術を軸としてそれに関連した光の技術を幅広く俯瞰し、横断的に議論することにより、現状の課題と今後の研究の方向性を抽出し、当技術分野の研究開発を

加速するとともに、新たな展開の創出を模索する。

◎招待講演 10件程度を予定

最新プログラムは下記 URL にて御確認下さい。

<http://www.ieice.org/femto/jpn/>

◎一般講演 数件の予定

**【参加資格・参加費】**

参加資格 特に設けておりません。

参加費 一般2,000円、学生無料(宿泊費は別途・詳細はお問合せ下さい)

**【講演申込方法】**

氏名、所属、講演題目、概要(数行)、連絡先(住所、TEL、FAX、E-mail)をE-mailで下記申込先に9月21日(金)までにお送り下さい。追って必要事項をお知らせ致します。

**【問合先】**

鍛塚治彦(産総研)

E-mail: haruhiko.kuwatsuka@aist.go.jp

田邊孝純(慶大)

E-mail: takasumi@elec.keio.ac.jp

主催 超高速光エレクトロニクス時限研究専門委員会

## ●第4回情報ネットワーク科学(NetSci)研究会

委員長 村田正幸(阪大)

副委員長 会田雅樹(首都大東京)・中村 元(KDDI)

期日 平成24年12月14日(金)

会場 関西学院大学大阪梅田キャンパス1405教室

講演申込締切 10月15日(月)

◎講演申込に必要な情報や連絡先など詳細については情報ネットワーク科学時限研究専門研究会のホームページに掲載しておりますので、御参照下さい。<http://www.ieice.org/~netsci/>

◎第4回情報ネットワーク科学研究会では招待講演3件:石田賢治氏(広島市大)、加美伸治氏(NEC)、古澤 力氏(理研)も予定致しております。

**【問合先】**

成瀬 誠(NICT)・巳波弘佳(関西学院大)

久保 健(KDDI研)・井上 武(JST ERATO)

E-mail: netsci-admin@mail.ieice.org

主催 情報ネットワーク科学時限研究専門委員会

● ..... 2012年ソサイエティ大会開催案内 ..... ●

本ソサイエティ大会は、基礎・境界、通信、エレクトロニクスの3ソサイエティが合同で開催する大会です。奮って参加されま  
すようお願い致します。会員以外の方の御参加も歓迎致します。

期 日 2012年9月11日(火)～14日(金)  
会 場 富山大学(富山市)  
(会場構内は駐車禁止ですので公共機関を御利用下さい)  
交 通 富山地铁市内線「大学前駅」から構内まで、徒歩5分。  
または「富山大学前」バス停から構内まで、徒歩1分。

2012年ソサイエティ大会ホームページ  
[http://www.toyoag.co.jp/ieice/S\\_top/s\\_top.html](http://www.toyoag.co.jp/ieice/S_top/s_top.html)

交通・宿泊の問合せ：上記ホームページにて御覧頂けます。  
主なイベント内容：上記ホームページにて御覧頂けます。

◎ 聴講参加・冊子講演論文集予約について(予定)  
<聴講参加>(本会会員：不課税、本会会員外：消費税込)  
☆ 2011年ソサイエティ大会から、学生の聴講参加費を値下げ致  
しました。学生の皆様、奮って御参加下さい。

[当日申込み(DVD含む)]

会 員	名誉員・正 員	10,000 円
	学生員(DVDなし)*	無料
	学生員(DVD購入)**	3,000 円
	60歳以上の会員***	3,000 円
非会員	社会人	20,000 円
	学生(DVDなし)	3,000 円
	学生(DVD購入)	6,000 円

※凡 例  
\* DVDを必要とされない「学生員」は無料で聴講できますの  
で事前申込みの必要はございません。総合受付までお越し頂  
ければ参加章をお渡し致します。(会員証を提示して頂きます  
ので御持参下さい。)

\*\* 会場で会員証を提示して下さい。  
\*\*\*年金以外の収入がない方が対象となります。  
[法人価格申込み]

1. DVD 1枚(合本付)	75,000 円
2. DVD 1枚	60,000 円

☆この機会に入会されますと、会員扱いとさせていただきます。  
☆電気学会、照明学会、映像情報メディア学会、情報処理学会の  
会員及び本会と協定を締結した海外の学会の会員は会員扱いと  
なります。

なお、情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケー  
ショングループにつきましては、下記のFIT(情報科学フォー  
ラム)2012の開催案内を御覧下さい。[http://www.ipsj.or.jp/  
event/fit/fit2012/index.html](http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2012/index.html)

今後の大会予定  
2012年FIT(情報科学技術フォーラム)  
会 期：2012年9月4日(火)～6日(木)  
会 場：法政大学(小金井市)

2013年総合大会  
会 期：2013年3月19日(火)～22日(金)  
会 場：岐阜大学(岐阜市)

2013年FIT(情報科学技術フォーラム)  
会 期：2013年9月4日(水)～6日(金)  
会 場：鳥取大学(鳥取市)

2013年ソサイエティ大会  
会 期：2013年9月17日(火)～20日(金)  
会 場：福岡工業大学(福岡市)



——平成 24 年度 (第 63 回) 電気・情報関連学会  
中国支部連合大会——

日 時 平成 24 年 10 月 20 日 (土) 9:00~17:00  
 会 場 鳥根大学 (松江市西川津町 1060)  
 聴講料 無料 (多数の聴講をお待ちしています.)  
 一般講演  
 時 間 9:00~12:00, 14:00~17:00 (予定)  
 内 容 最近行った研究, 計画及び工事報告, 現地試験報告,  
 新製品紹介等  
 会 場 教養棟 1 号館, 2 号館, 教育学部棟  
 特別講演 午後一般講演の前に, 特別講演を行います.  
 時 間 13:00~13:45  
 演 題 ベビーパウダーでつくる超低コスト発光ダイオード  
 講演者 藤田恭久 (鳥根大)  
 会 場 大学ホール (定員 380 名)  
 懇親会 講演終了後, 参加されました皆様の親睦と交流を深める  
 ため, 懇親会を開催します. 多数の皆様の御参加をお願い  
 致します.  
 時 間 17:20~19:00  
 会 場 鳥根大学 学生会館 3 階大集会室  
 会 費 (事前予約) 一般 3,000 円, 学生 500 円  
 (当日受付) 一般 3,500 円, 学生 1,000 円  
 ※会費は当日, 大会総合受付にてお支払い下さい.  
 事前予約: 大会 HP <http://rentai.ecs.shimane-u.ac.jp>  
 からお申込み下さい. [期日 10 月 12 日 (金)]  
 交通案内 学内には駐車場がありませんので, 公共交通機関の御  
 利用をお願いします. JR 山陰本線: 松江駅からバス  
 (市営バス, 一畑バス), タクシーを利用  
 ・松江市営バス: 北循環線内回り, 鳥根大学前下車 (約 15  
 分), 「大学・川津」行, 鳥根大学前下車 (約 25 分)  
 ・一畑 (いちばた) バス: 「美保関ターミナル」行, 鳥根大学  
 前下車 (約 20 分), 「マリンゲート」行, 鳥根大学前下車  
 (約 20 分)  
 ・タクシー (約 10 分)  
 大会 HP <http://rentai.ecs.shimane-u.ac.jp>  
 大会全般に関する問合せ  
 電気・情報関連学会中国支部連合大会実行委員会  
 〒690-8504 松江市西川津町 1060  
 鳥根大学大学院総合理工学研究科 (担当: 増田浩次)  
[rentai@ecs.shimane-u.ac.jp](mailto:rentai@ecs.shimane-u.ac.jp) (お問合せはできるだけメールで  
 お願いします.)  
 TEL [0852] 32-8907, FAX [0852] 32-8909  
 主 催 電気・情報関連学会各中国支部 (電子情報通信学会・電  
 気学会・照明学会・映像情報メディア学会・情報処理学  
 会・電気設備学会)

——関西支部——

●IEICE 関西支部 ICT 基礎講座  
 「OFDM 通信基礎 (無線通信基盤技術と光通信への展開)」  
 近年の情報通信関連開発では, 必要とされる基礎技術の多様化  
 と開発期間の短縮により, 若手技術者が OJT を通して基礎知識  
 や基礎技術を習得することが難しくなっていると指摘されていま  
 す. また, 情報通信技術が予想を越えた分野で実用化されるな  
 ど, 大学・大学院教育で身に付けた技術分野を超えて多彩な技術  
 を取得する必要性も高まっています.  
 このような状況を鑑み, 電子情報通信学会関西支部では, 情報  
 通信に関する様々な技術を集中講義形式で学習できる講座  
 「IEICE 関西支部 ICT (Information and Communication Technol-  
 ogy) 基礎講座」を開講しています. 幸いなことに, 受講生から  
 は大変高い評価を頂いております.  
 本講座では, 基礎知識, 基礎技術に重点を置きながら, 基礎か  
 ら展開して最先端技術へ至る流れを講義・実習するため, 各講座  
 の受講者数を最大 15 名の少人数クラスとして講師との双方向コ  
 ミュニケーションを実現し, 短期間で先端技術の基礎を習得して  
 頂きます. 今年度第三回目の講座として「OFDM 通信基礎 (無  
 線通信基盤技術と光通信への展開)」を下記のとおり開講しま  
 す. 皆様の積極的な受講をお待ちしております.  
 日 時 平成 24 年 10 月 4 日 (木) 9:40~16:50  
 会 場 中央電気倶楽部 215 号室 (大阪市北区堂島浜 2-1-25,  
 ドージマ地下センター南詰を右側に上がり, 右へ約  
 50 m, 左側のレンガ造り建物)  
 内 容 シラバスは下記 URL から御覧頂けます.  
<http://www.ieice.org/kansai/ict.html>  
 講 師 吉田悠来 (阪大)  
 受講料 会員: 8,000 円, 学生: 2,000 円, 非会員: 20,000 円  
 募集人数 5 名以上 (最大 15 名程度) (開講 2 週間前までに申込  
 み人数が 5 名に達しない場合, 不開講となることもあり  
 ます)  
 申込方法 関西電気関連学会事務センターに電子メールで申し込  
 み下さい.  
 問合せ 〒530-0004 大阪市北区堂島浜 2-1-25  
 中央電気倶楽部内 関西電気関連学会事務センター  
 TEL [06] 6341-2529, FAX [06] 6341-2534  
[denki4g@ares.eonet.ne.jp](mailto:denki4g@ares.eonet.ne.jp)  
 主 催 電子情報通信学会関西支部  
 ●電気四学会関西支部講演会及び見学会  
 「理化学研究所スーパーコンピュータ「京」」  
 関西のみならず日本が誇る企業と研究施設が神戸ポートアイ  
 ランドに多数あります. その中でも, 理化学研究所のスーパーコン  
 ピュータ「京」は, 世界的な計算能力を有する最先端施設です.  
 9 月末には, 研究機関や企業の利用が開始され, 研究開発, 自然  
 災害の予測, 製品開発等での活躍が期待されています.  
 今回この大注目の施設の見学を企画しました. 奮って御参加下  
 さい.  
 日 時 平成 24 年 10 月 10 日 (水) 13:30~16:40  
 見学先 理化学研究所スーパーコンピュータ「京」(神戸市中央  
 区港島南町 7-1-26)  
 集合時間 13:30 (時間厳守, 晴雨不問, 昼食は各人で集合前に

お済ませ下さい)

集合場所 ポートライナー「京コンピュータ前」駅改札口前  
(「神戸空港行き」ポートライナーを御利用下さい。三宮駅から約14分です。)

行程

13:45 ポートライナー「京コンピュータ前」駅出発  
13:50 理化学研究所(計算科学研究機構)到着  
14:00~14:20 メーキングビデオ鑑賞  
14:20~14:40 スーパーコンピュータ「京」システムと関連施設の御講演  
14:40~15:10 スーパーコンピュータ「京」の見学(質疑・応答)  
15:10~15:20 休憩  
15:20~16:30 関連施設の見学(質疑・応答)  
16:40 理化学研究所(計算科学研究機構)解散

募集人員 30名(定員になり次第、締め切らせて頂きます。)

参加費 参加費無料。交通費は各人で負担をお願いします。

申込方法 参加希望者は氏名・年齢・所属、電話番号等連絡先を映像情報メディア学会関西支部のHP(<http://www.ite.or.jp/kansai/>)からお申込み下さい。なお、FAX、E-mailでも受付致しますので下記にお申込み下さい。

申込先 関西電気関連学会事務センター  
TEL [06] 6341-2529, FAX [06] 6341-2534  
[denki4g@ares.eonet.ne.jp](mailto:denki4g@ares.eonet.ne.jp)

主催 電子情報通信学会・映像情報メディア学会・電気学会・照明学会各関西支部

#### ●電気四学会関西支部専門講習会

「こんなことまでできる磁界解析—磁気測定・モデル化の基礎から電気機器設計への応用まで—」

社会基盤を支える電気機器の開発では、高効率規制やエネルギー需給事情、CO<sub>2</sub>排出量の削減など、近年の環境問題・エネルギー問題意識の高まりなどにより、省エネルギー化への関心があります。高効率な電気機器の設計を行うためには損失の合計値に加えて発生箇所と原因を精度良く把握する必要があります。そのための手段として磁界解析が広く活用されています。計算機の高性能化・低価格化と電磁現象特有の困難さを克服する様々な数値解析手法の開発により、損失の詳細な要因分析に基づく最適設計が可能となるなど、高効率電気機器の開発に画期的な進歩がもたらされました。しかし、磁性材料モデリングについては解決すべき課題も残されており、更なる技術の深度化が要求されている状況にあります。そこで本講習会では、電磁鋼板をはじめとした磁性材料の測定技術、磁界解析に適したモデリング方法、希土類磁石材料の最新動向や磁界解析技術を活用した電気機器開発事例を御紹介致します。奮って御参加下さい。

日時 平成24年10月15日(月) 13:30~17:10

会場 中央電気倶楽部513号室(交通等前掲参照)

講演題目と講師

- (1) 開講の挨拶 電気学会関西支部支部長
- (2) 磁気特性測定の基礎から応用まで 藤原耕二(同志社大)
- (3) 磁性材料モデリングの方法 松尾哲司(京大)
- (4) 希土類磁石材料の最新動向 樋口大(信越化学)
- (5) 磁界解析を用いた電気機器開発事例 山崎克巳(千葉工大)
- (6) 閉講の挨拶 電気学会関西支部総務企画幹事

講演会・講習会・学術研究集会等

聴講料 主催学会会員8,000円、准員・学生員 無料、  
一般10,000円、学生2,000円

定員 80名(定員になり次第、締め切らせて頂きます。)

申込方法 電気学会関西支部HPからお申込み下さい。(http://www2.iee.or.jp/ver2/kansai/)。はがき、FAX、E-mailによるお申込みの場合、講習会題目、開催日、会員種別、氏名、連絡先(会社あるいは学校名、所属、郵便番号、所在地、電話番号)を、下記の申込先まで御連絡下さい。後日、参加証と請求書をお送りします。なお、お知らせ頂きました個人情報、行事を運営する目的以外に使用することはありません。

申込先 〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-25  
中央電気倶楽部内関西電気関連学会事務センター  
TEL [06] 6341-2529, FAX [06] 6341-2534  
[denki4g@ares.eonet.ne.jp](mailto:denki4g@ares.eonet.ne.jp)

主催 電子情報通信学会・電気学会・照明学会・映像情報メディア学会各関西支部

#### ●電気四学会関西支部

「准員及び学生員のための講演会(前半)」

例年、電気四学会関西支部では、平素は聴講できない他大学並びに一般企業の諸先生方の講義を交換講義の形で聴講できるように、定期講演会を開催しています。

平成24年度の前半分は、下記により開催しますのでこの機会を生かして自由に御聴講下さるよう、御案内申し上げます。

- ・10月16日(火) 14:30~16:30  
テーマ: 拡がるプラズマエネルギーの応用  
講師: 八坂保能(神戸大)  
会場: 舞鶴工業高等専門学校(視聴覚教室)  
TEL [0773] 62-8965
- ・10月17日(水) 13:20~14:50  
テーマ: 情報活用の原点  
講師: 西岡郁夫(イノベーション研究所)  
会場: 大阪工業大学(OITホール)  
TEL [06] 6954-4229
- ・10月19日(金) 14:40~16:10  
テーマ: 自然界をヒントにした小さなものづくりと接合—ナノテクノロジーとその魅力—  
講師: 大原 智(阪大)  
会場: 和歌山工業高等専門学校(大講義室)  
TEL [0738] 29-8367
- ・10月19日(金) 10:00~12:00  
テーマ: 福島原発事故の本質—技術経営の過失を防ぐために科学者・技術者は何ができるか—  
講師: 山口栄一(同志社大)  
会場: 神戸大学(神戸大学百年記念館)  
TEL [078] 803-6083
- ・10月24日(水) 13:10~14:40  
テーマ: 第3世代レーザーダイオードの開発  
講師: 近藤正彦(阪大)  
会場: 神戸市立工業高等専門学校(本部棟ホール)  
TEL [078] 795-3237
- ・11月19日(月) 16:20~17:50  
テーマ: 知的情報システム構築の実学—企業と大学の経験から—  
講師: 木戸出正継(ATR)  
会場: 立命館大学(BKCキャンパスC-203)

TEL [077] 561-2747

- ・11月19日(月) 16:30~18:00  
テーマ: HAYABUSA で用いられたエレクトロニクス技術  
講師: 津野克彦(理研)  
会場: 近畿大学(19号館19-2教室)  
TEL [06] 6721-2332
- ・11月20日(火) 13:00~14:30  
テーマ: 光エレクトロニクスの進展とともに  
講師: 西原 浩(放送大)  
会場: 大阪大学(基礎工学国際棟シグマホール)  
TEL [06] 6850-6301
- ・11月22日(木) 13:00~14:30  
テーマ: 携帯電話の技術進化と価値の創造  
講師: 大田恭士(富士通)  
会場: 関西大学(千里山キャンパス第四学舎3号館3401教室)  
TEL [06] 6368-0828
- ・11月22日(木) 16:00~17:30  
テーマ: 電波と光波の境界にある電磁波「テラヘルツ波」の科学と応用  
講師: 永妻忠夫(阪大)  
会場: 京都工芸繊維大学(総合研究棟4F多目的室)  
TEL [075] 724-7456
- ・11月29日(木) 14:40~16:10  
テーマ: 原子と原子の間に働く力で原子を観る動かす組み立てる  
講師: 森田清三(阪大)  
会場: 大阪電気通信大学(寝屋川キャンパスJ号館J409教室)  
TEL [072] 824-1131
- ・12月10日(月) 14:40~16:10  
テーマ: 無線で電気を送る未来—マイクロ波電力伝送—  
講師: 三谷友彦(京大)  
会場: 明石工業高等専門学校(階段教室)  
TEL [078] 946-6135

#### ●電気四学会関西支部専門講習会

「周波数再編とホワイトスペース」—周波数割り当ての今後の見通しと新たな無線活用の動向—

有限な無線周波数の有効利用に向けて、周波数割当の再編成が行われています。また、デジタル技術の進展により、地理的条件や時間的条件によって他の目的にも利用可能な周波数帯(いわゆる「ホワイトスペース」)が生まれ、「安心・安全の確保」や新たなサービスに活用する動きも活発化しています。

本専門講習会では、周波数再編の全体概要、現時点での検討状況、及び今後の新たなサービス展開について、最前線で御活躍の専門家の方々に幅広く御紹介頂きます。奮って御参加下さい。

日時 平成24年11月2日(金) 9:55~16:20

会場 中央電気倶楽部513号室(交通等前掲参照)

講演内容

- (1) 開講の挨拶 電子情報通信学会関西支部
- (2) 周波数再編成・全体概要 久保純一(近畿総合通信局)
- (3) RFID開発状況について 中谷崇史(三菱電機)
- (4) 電力スマートメーターでのマルチホップ通信利用 佐藤範之(OKI)
- (5) ホワイトスペースの活用について 田中秀人(近畿総合通信局)
- (6) SHF帯を活用した地デジ配信システム 高橋暢彦(DXアンテナ)

(7) 閉講の挨拶 電子情報通信学会関西支部  
聴講料 主催・共催学会会員(正員10,000円, 准員・学生員無料), 非会員(一般12,000円, 学生2,000円)

定員 80名(定員になり次第, 締め切らせて頂きます。)

申込方法 開催日・会員種別・氏名・連絡先(会社学校名・所属・郵便番号・所在地・電話番号)を電子情報通信学会関西支部のHP(<http://www.ieice.org/kansai/>)からお申込み下さい。なお、はがき、FAX、E-mailでも受け付けますので下記にお申込み下さい。

申込先 〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-25  
中央電気倶楽部内関西電気関連学会事務センター  
TEL [06] 6341-2529, FAX [06] 6341-2534  
denki4g@ares.eonet.ne.jp

主催 電子情報通信学会・電気学会・照明学会・映像情報メディア学会各関西支部

### —本会が協賛等のもの—

(※は参加費割引あり)

第22回マイクロエレクトロニクスシンポジウム 秋季大会(MES2012)(※)

期日 平成24年9月12日(水), 13日(木)

会場 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス(堺市)

問合先 エレクトロニクス実装学会事務局 金井

TEL [03] 5310-2010, FAX [03] 5310-2011

kanai@jiep.or.jp

第6回プラズマエレクトロニクスインキュベーションホール(※)

期日 平成24年9月19日(水)~21日(金)

会場 国立中央青少年交流の家(御殿場市)

問合先 応用物理学会 唐橋一浩(大阪大学大学院工学研究科)

TEL [06] 6878-6411, FAX [06] 6879-7916

karahashi@ppl.eng.osaka-u.ac.jp

第72回ロボット工学セミナー「アドバンストな環境認識センサとその処理方法」(※)

期日 平成24年9月25日(火)

会場 東京大学本郷キャンパス工学部(東京都文京区)

問合先 日本ロボット学会事務局 担当 水谷

TEL [03] 3812-7594, FAX [03] 3812-4628

soumu@rsj.or.jp

第36回結晶成長討論会

期日 平成24年9月26日(水)~28日(金)

会場 国民宿舎 虹の松原ホテル(唐津市)

問合先 日本結晶成長学会事務局 安部

TEL [03] 5950-4741, FAX [03] 5950-1292

jacg@words-smile.com <http://www.soc.nii.ac.jp/jacg/>

第2回コンピューターショナル・インテリジェンス(CI)研究会「CIにおける高次元化, 高次元表現」(※)

期日 平成24年9月28日(金)

会場 岡山大学津島キャンパス(岡山市)

問合先 計測自動制御学会部門協議会担当

TEL [03] 3814-4121 bumon@sice.or.jp

**第73回ロボット工学セミナー「生体計測とインタフェース技術」**  
(※)

期日 平成24年10月9日(火)  
会場 東京大学本郷キャンパス工学部(東京都文京区)  
問合先 日本ロボット学会事務局 担当 水谷  
TEL [03] 3812-7594, FAX [03] 3812-4628  
soumu@rsj.or.jp

**「図解による光学入門」技術講座(※)**

期日 平成24年10月11日(木), 12日(金)  
会場 機械振興会館別館(東京都港区)  
問合先 日本オプトメカトロニクス協会  
TEL [03] 3435-9321, FAX [03] 3435-9567  
info@joem.or.jp <http://www.joem.or.jp>

**第54回表面科学基礎講座「表面・界面分析の基礎と応用」(※)**

期日 平成24年10月16日(火), 17日(水)  
会場 大阪大学コンベンションセンター(吹田市)  
問合先 日本表面科学会事務局  
TEL [03] 3812-0266, FAX [03] 3812-2897  
shomu@sssj.org <http://www.sssj.org>

**GPS/GNSS シンポジウム 2012**

期日 平成24年10月24日(水)~27日(土)  
会場 東京海洋大学越中島会館(東京都江東区)  
問合先 測位航法学会事務局  
TEL & FAX [03] 5245-7365 info@gnss-pnt.org

**FPD International 2012**

期日 平成24年10月31日(水)~11月2日(金)  
会場 パシフィコ横浜(横浜市)  
問合先 日経BP社 企画事務局 草野  
TEL [03] 6811-8084, FAX [03] 5421-9170  
fkusano@nikkeibp.co.jp

**第122回技術講習会「Praatによる音声加工と知覚実験の実施法」講習会(※)**

期日 平成24年11月1日(木), 2日(金)  
会場 全国家電会館(東京都文京区)  
問合先 日本音響学会事務局  
TEL [03] 5256-1020, FAX [03] 5256-1022

**第38回リモートセンシングシンポジウム(※)**

期日 平成24年11月2日(金)  
会場 リモート・センシング技術センター(東京都港区)  
問合先 計測自動制御学会部門協議会担当  
TEL [03] 3814-4121 bumon@sice.or.jp

**第123回技術講習会「デジタル信号処理の基礎」講習会(※)**

期日 平成24年11月8日(木), 9日(金)  
会場 東京電機大学北千住キャンパス(東京都足立区)  
問合先 日本音響学会事務局  
TEL [03] 5256-1020, FAX [03] 5256-1022

**2012年度学術講演会(※)**

期日 平成24年11月9日(金), 10日(土)

本会が協賛等のもの

会場 大手前大学夙川キャンパス(西宮市)  
問合先 日本e-Learning学会事務局 河野  
TEL & FAX [044] 856-3620 jela-npo@m7.gyao.ne.jp

**第42回結晶成長国内会議(NCCG-42)**

期日 平成24年11月9日(金)~11日(日)  
会場 九州大学筑紫キャンパス(春日市)  
問合先 日本結晶成長学会事務局 安部  
TEL [03] 5950-4741, FAX [03] 5950-1292  
jacg@words-smile.com <http://www.soc.nii.ac.jp/jacg/>

**第53回真空に関する連合講演会(※)**

期日 平成24年11月14日(水)~16日(金)  
会場 甲南大学ポートアイランドキャンパス(神戸市)  
問合先 日本真空学会事務局 担当 大工原  
TEL [03] 3431-4395, FAX [03] 3433-5371  
ofc-vs@vacuum-jp.org

**人文科学とコンピュータシンポジウム(じんもんこん2012)「つながらるデジタルアーカイブ—分野・組織・地域を越えて」**

期日 平成24年11月17日(土), 18日(日)  
会場 北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟(札幌市)  
問合先 情報処理学会 関野 樹(総合地球環境学研究所)  
TEL [075] 707-2491 Sekino@chikyu.ac.jp

**「めっき技術の最先端と新展開」コース—高精度、多機能の表面を創成するものづくり技術の可能性—**

期日 平成24年11月28日(水), 12月4日(火)(計2日間)  
会場 かながわサイエンスパーク(川崎市)  
問合先 神奈川科学技術アカデミー教育研修グループ 石川  
TEL [044] 819-2033, FAX [044] 819-2097

**「光学薄膜技術—光学薄膜技術の基礎~応用コース—」技術講座(※)**

期日 平成24年12月6日(木), 7日(金)  
会場 機械振興会館別館(東京都港区)  
問合先 日本オプトメカトロニクス協会  
TEL [03] 3435-9321, FAX [03] 3435-9567  
info@joem.or.jp <http://www.joem.or.jp>

**第9回ノートパソコンで出来る原子レベルのシミュレーション入門講習会—分子動力学計算と電子状態計算—(※)**

期日 平成24年12月10日(月), 11日(火)  
会場 東京大学山上会館(東京都文京区)  
問合先 日本材料学会 同講習会係  
TEL [075] 761-5321, FAX [075] 761-5325  
jimu@jsms.jp

**第25回バイオエンジニアリング講演会(※)**

期日 平成25年1月9日(水)~11日(金)  
会場 産業技術総合研究所つくばセンター(つくば市)  
問合先 同講演会事務局(産業技術総合研究所ヒューマンライフテクノロジー研究部門内)  
TEL & FAX [029] 861-7848 bioconf13@jsme.or.jp

●…………… 国 際 会 議 ……………●

第 25 回マイクロプロセス・ナノテクノロジー国際会議 (MNC 2012)

期 日 2012 年 10 月 30 日 (火)～11 月 2 日 (金)  
会 場 神戸メリケンパークオリエンタルホテル (神戸市)  
問合先 同国際会議事務局 (セクレタリーアート気付)  
TEL [03] 3420-1800, FAX [03] 3420-1840  
secretariat@imnc.jp http://imnc.jp/

第 10 回宇宙用半導体素子放射線影響国際ワークショップ

期 日 2012 年 12 月 10 日 (月)～12 日 (水)  
会 場 つくば国際会議場 (つくば市)  
問合先 宇宙航空研究開発機構 加藤真耶  
TEL [050] 3362-6624, FAX [029] 868-2978  
kato.maya@jaxa.jp

●…………… 受賞候補者募集等 ……………●

——第 5 回 (平成 24 年度) 中谷賞——

表彰対象 以下の条件を満たす研究者。

- (1) 対象研究分野の発展に寄与する新規性のある開発的研究、あるいは対象研究分野への波及効果が広く期待できる独創性のある基礎的研究、あるいは有益な実用化が期待できる応用的研究などで優れた成果を上げていること。
- (2) 表彰対象研究分野に関連する学会の会員または大学及びこれに準ずる研究機関に属する者であって、所属する研究機関の長による推薦が得られる者。
- (3) 募集締切日に、満年齢 50 歳以下であること。

対象研究分野 生体に関する計測及び関連技術

表彰内容 件数 1 件、賞金 300 万円

応募方法 当財団宛てに財団所定の推薦書 (HP から、ダウンロードして下さい。) を文書とメールで送付して下さい。

募集締切日 平成 24 年 10 月 31 日 (水) (電子データは必着、郵送分は、当日消印有効)

問合先 中谷医工計測技術振興財団  
TEL [03] 5719-5216, FAX [03] 5496-9217  
info@nakatani-foundation.jp  
http://www.nakatani-foundation.jp

——日本万国博覧会記念基金助成——

対象の区分

- (1) 国際相互理解の促進に資する活動
  - ① 国際文化交流、国際親善に寄与する活動
  - ② 学術、教育、社会福祉、医療及び保健衛生に関する国際的な活動
  - ③ 自然の保護その他人間環境の保全に関する国際的な活動
- (2) 文化的活動
  - ① 日本の伝統文化の伝承及び振興活動

② 芸術及び地域文化に関する活動

助成予定総額 約 1 億円

対象事業者

国及び地方公共団体を除く公益的な事業を実施する団体事業の実施期間 平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

申請期間 平成 24 年 8 月 31 日～10 月 1 日 (当日消印有効)

申請方法 当機構 HP から募集要項及び申請用紙をダウンロードして申請書を作成の上、郵送で提出して下さい。

問合先 日本万国博覧会記念機構 総務部基金課  
TEL [06] 6876-5581 http://www.expo70.or.jp/  
jecfund@expo70.or.jp

——第 27 回塚原伸晃記念賞、第 27 回研究助成、  
第 26 回海外派遣研究助成、

第 26 回海外研究者招聘助成——

・第 27 回塚原伸晃記念賞

趣 旨 生命科学の分野において優れた独創的研究を行っている当該年度 (平成 25 年 3 月 31 日まで) において 50 歳以下の研究者 (国内外を問わない) に対して贈呈する。

褒賞金 贈呈件数は原則として 1 件とし、賞牌並びに副賞 (100 万円) を贈呈。

推薦締切日 平成 24 年 10 月 12 日 (金)

推薦方法 所定の推薦書に必要事項を記入し、当財団に提出して下さい。推薦書は当財団の HP から取り出せます。

・第 27 回研究助成

趣 旨 脳科学の広い分野における研究に対して助成を行うが、特に、脳のメカニズムを解明する独創的な研究計画の助成に重点を置く。研究分野は実験研究のみならず、理論、モデリング研究をも含む。

研究助成額 助成額は 1 件 100 万円、助成件数は 8～12 件。

応募締切日 平成 24 年 10 月 12 日 (金)

応募方法 所定の応募用紙に必要事項を記入し、当財団に提出して下さい。

応募用紙 応募用紙は当財団の HP から取り出せます。

・第 26 回海外派遣研究助成

趣 旨 我が国における脳科学の研究の促進を図るため、国際学会、シンポジウム等への参加、あるいは短期間 (6 か月以内) の共同研究のための研究者の海外派遣を助成する。ただし、平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日の間に出発できるものに限る。

助成予定総額 1 件当りの助成額は往復の航空運賃を主とし、30 万円までを限度として必要額を若干件数助成する。

応募締切日 平成 25 年 1 月 11 日 (金)

応募方法 所定の応募用紙に必要事項を記入し、当財団に提出して下さい。

応募用紙 応募用紙は当財団の HP から取り出せます。

・第 26 回海外研究者招聘助成

趣 旨 脳科学研究分野において、独創的テーマに意欲的に取り組んでいる外国人研究者の短期間 (3 か月以内) の招聘を助成する。ただし、平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日の間に招聘するものとする。

招聘助成予定総額 1 件当りの助成額は往復の航空運賃を主とし、30 万円までを限度として必要額を若干件数助成する。

申込締切日 平成 25 年 1 月 11 日 (金)

申込方法 所定の申込書に必要事項を記入し、当財団に提出して  
下さい。申込書は当財団 HP から取り出せます。  
問合せ先 ブレインサイエンス振興財団  
TEL [03] 3273-2565, <http://www.bs-f.jp/>

### ——平成 24 年度コニカミノルタ画像科学奨励賞——

対象研究分野

- ①光と画像に関する材料及びデバイスの研究
- ②光と画像に関するシステム及びソフトウェアの研究
- ③光と画像に関するその他の先進的な研究

奨励賞及び副賞

- ・奨励賞（優秀賞） 4 件程度 副賞 1 件 100 万円
- ・奨励賞 4 件程度 副賞 1 件 50 万円

応募締切 平成 24 年 9 月 30 日（日）

問合せ先 コニカミノルタ科学技術振興財団事務局  
TEL [03] 6250-2120  
<http://konicaminolta.jp/pr/foundation/>

### ——丸文財団研究業績表彰、 交流研究助成 第 16 回（2012 年度）——

対象技術分野 原則として以下のエレクトロニクス関連分野を表  
彰対象とします。

- ①集積デバイス技術・LSI システム、②光エレクトロニクス、  
③先端デバイス及び材料、④エネルギー・環境エレクトロニク  
ス、⑤バイオ・医用エレクトロニクス

・表彰内容

総額：700 万円以内

件数：3 件（①丸文学術賞 1 件、②丸文研究奨励賞 2 件）

・助成内容

総 額：1,800 万円

採択件数：約 15 件程度（1 件につき上限 150 万円）

※海外へ派遣される日本人研究者の場合は、「海  
外研究特別奨励」の上乗せ助成により、助成金  
総額は最高 300 万円になります。

助成期間：原則として平成 25 年 4 月 1 日から 1 年間（多少  
の期間変更は可）

推薦締切日 平成 24 年 10 月 31 日（水）

問合せ先 丸文財団

TEL [03] 3661-1881, FAX [03] 3808-2959

<http://www.marubun-zaidan.jp/>

#### 複写される方へ

一般社団法人電子情報通信学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。本誌に掲載された著作物の複写を御希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。ただし、企業等法人による社内利用目的の複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写権センター（(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体）と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はございません。（社外頒布目的の複写については、許諾が必要です。）

<権利委託先> 一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル 3F FAX [03] 3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾（著作物の引用、転載、翻訳等）に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接、下記へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> 一般社団法人電子情報通信学会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

#### Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication

Please obtain permission from the following Reproduction Rights Organizations (RROs) to which the copyright holder has consigned the management of the copyright regarding reprographic reproduction.

Obtaining permission to quote, reproduce; translate, etc.

Please contact the copyright holder directly.

→Users in countries and regions where there is a local RRO under bilateral contract with Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Users in countries and regions of which RROs are listed on the following website are requested to contact the respective RROs directly to obtain permission.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Address 9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

Website <http://www.jaacc.jp/> E-mail: info@jaacc.jp Fax: +81-33475-5619

## ●…………… 求 人 欄 ……………●

求人欄出稿にあたってのお願い

求人欄原稿を受領後、事務局では原稿受領通知をお送りしております。原稿送信後、数日たっても受領の連絡がない場合は、事故防止のため下記までお問合せ願います。

問合せ先：電子情報通信学会編集出版部

TEL [03] 3433-6692, E-mail: shuppan@ieice.org

### ——教官・教員募集——

#### ●近畿大学

公募人員 工学部電子情報工学科 教授または准教授 1名

専門分野 コンピュータハードウェア・通信ネットワーク機器などの分野

応募資格 博士の学位を有し、大学院まで担当可能な方

採用予定日 平成 25 年 4 月 1 日

応募締切 平成 24 年 9 月 7 日 (金) 必着

問合せ先 〒739-2116 東広島市高屋うめの辺 1 番

近畿大学工学部電子情報工学科長 畠山一達

hatake@hiro.kindai.ac.jp

詳細 <http://www.hiro.kindai.ac.jp/saiyo/2013teacher-ele-b.html>

#### ●近畿大学

公募人員 工学部電子情報工学科 准教授または講師 1名

専門分野 コンピュータハードウェア・エネルギー変換などの電子情報分野

応募資格 博士の学位を有し、大学院まで担当可能な方

採用予定日 平成 25 年 4 月 1 日

応募締切 平成 24 年 9 月 7 日 (金) 必着

問合せ先 〒739-2116 東広島市高屋うめの辺 1 番

近畿大学工学部電子情報工学科長 畠山一達

hatake@hiro.kindai.ac.jp

詳細 <http://www.hiro.kindai.ac.jp/saiyo/2013teacher-ele-a.html>

#### ●近畿大学

公募人員 教授 1名

所属 生物理工学部システム生命科学科

専門分野 情報系あるいは物質系で特に生命現象に関連する分野

着任時期 平成 25 年 4 月 1 日

応募締切 平成 24 年 9 月 30 日 (日) 必着

問合せ先 〒649-6493 紀の川市西三谷 930

近畿大学生物理工学部システム生命科学科長

栗山敏秀, kuriyama@waka.kindai.ac.jp

詳細 [http://www.waka.kindai.ac.jp/tea/csb/topics/pos\\_prof\\_201207.pdf](http://www.waka.kindai.ac.jp/tea/csb/topics/pos_prof_201207.pdf)

#### ●千葉工業大学

公募人員 工学部電気電子情報工学科 教授、准教授、または助教 1名

専門分野 通信工学・通信システム

応募締切 平成 24 年 9 月 17 日 (月) 必着

問合せ先 工学部電気電子情報工学科教授 芳賀 裕

TEL [047] 478-0398, yutaka.haga@it-chiba.ac.jp

詳細 研究者人材データベース JREC-IN (下記 URL) の求人情報検索で本学本学科の教授、准教授、または助教

の公募 (通信工学・通信システム分野) の記事を御確認下さい <http://jrecin.jst.go.jp/>

#### ●東邦大学

公募人員 准教授または専任講師 2名

所属 理学部情報科学科

専門分野 知能・情報処理分野

応募資格 博士の学位を有し、大学院の教育・研究担当可能な方

着任時期 平成 25 年 4 月 1 日

応募締切 平成 24 年 9 月 21 日 (金) 必着

問合せ先 〒274-8510 船橋市三山 2-2-1

東邦大学理学部情報科学科主任 新谷幹夫

TEL [047] 472-1277, shinya@is.sci.toho-u.ac.jp

詳細 <http://www.is.sci.toho-u.ac.jp>

#### ●東海大学

公募人員 情報通信学部組込みソフトウェア工学科 講師 1名

専門分野 集積回路工学, デジタル/アナログ混載 LSI 設計

担当科目 デジタル信号処理, 電気・電子回路, 実験等

応募資格 博士の学位を有するか、着任までに確実に取得できること。教育・研究に意欲的な方

着任時期 平成 25 年 4 月 1 日

応募締切 平成 24 年 9 月 24 日 (月) 必着

問合せ先 組込みソフトウェア工学科主任 高 正博

saiyo@www.jk.u-tokai.ac.jp

詳細 <http://www.jk.u-tokai.ac.jp/>

#### ●東海大学

公募人員 テニユアトラック講師または准教授 1名

専門分野 理工学関連分野

任期 平成 25 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日 (単年度契約)

応募締切 平成 24 年 10 月 1 日 (月) 17 時必着

書類送付先・問合せ先 〒259-1292 平塚市北金目 4-1-1

東海大学創造科学技術研究機構

TEL [0463] 50-2532, FAX [0463] 50-2478

iist-office@tsc.u-tokai.ac.jp

詳細 HP 参照のこと <http://www.u-tokai.ac.jp/tuiist/>

#### ●東京理科大学

公募人員 理工学部電気電子情報工学科 准教授または講師 1名

専門分野 電力システム, パワーエレクトロニクス, 環境・エネルギー工学

着任時期 平成 25 年 4 月 1 日

応募締切 平成 24 年 9 月 28 日 (金) 必着

問合せ先 電気電子情報工学科主任 兵庫 明

TEL [04] 7124-1501 (内線 3756)

hyogo@ee.noda.tus.ac.jp

詳細 [http://www.tus.ac.jp/boshuu/pdf/koubo20120928\\_riko\\_ele\\_01.pdf](http://www.tus.ac.jp/boshuu/pdf/koubo20120928_riko_ele_01.pdf)

#### ●東京理科大学

公募人員 理工学部電気電子情報工学科 嘱託助教 1名

専門分野 情報・通信・コンピュータ分野 (画像情報処理), または, エレクトロニクス・物性・材料分野 (電子材料・デバイス)

着任時期 平成 25 年 4 月 1 日 (任期 5 年)

応募締切 平成 24 年 9 月 28 日 (金) 必着  
 問 合 先 電気電子情報工学科主任 兵庫 明  
 TEL [04] 7124-1501 (内線 3756)  
 hyogo@ee.noda.tus.ac.jp  
 詳 細 [http://www.tus.ac.jp/boshuu/pdf/koubo20120928\\_riko\\_ele\\_02.pdf](http://www.tus.ac.jp/boshuu/pdf/koubo20120928_riko_ele_02.pdf)

### ●東京理科大学

公募人員 工学部第一部電気工学科 教授または准教授 1 名  
 専門分野 エネルギー・制御分野のうちのエネルギー系  
 応募資格 博士号取得者で、大学院の学生の研究指導ができる方  
 応募締切 平成 24 年 10 月 5 日 (金) 必着  
 問 合 先 工学部第一部電気工学科主任 村口正弘  
 murag@ee.kagu.tus.ac.jp  
 詳 細 <http://www.ee.kagu.tus.ac.jp/top.html>

### ●東京理科大学

公募人員 工学部第一部電気工学科 助教 2 名 (原則任期 5 年)  
 専門分野 通信・情報分野で主に情報系 (2 名)  
 応募資格 博士号取得者または平成 25 年 3 月までに取得見込みの者 (着任時に学位を取得していること)  
 応募締切 平成 24 年 10 月 5 日 (金) 必着  
 問 合 先 工学部第一部電気工学科主任 村口正弘  
 murag@ee.kagu.tus.ac.jp  
 詳 細 <http://www.ee.kagu.tus.ac.jp/top.html>

### ●名古屋大学

募集人員 准教授 1 名  
 所 属 大学院情報科学研究科情報システム学専攻  
 専門分野 ソフトウェア基礎論  
 (プログラム変換, 項書き換え系など)  
 応募資格 博士の学位を有する方  
 着任時期 平成 25 年 4 月 1 日  
 応募期限 平成 24 年 9 月 28 日 (金) 必着  
 問 合 先 情報システム学専攻長 結縁祥治  
 yuen@is.nagoya-u.ac.jp  
 詳 細 <http://www.is.nagoya-u.ac.jp/>を御覧下さい

### ●愛媛大学

公募人事 大学院理工学研究科電子情報工学専攻 助教 1 名 (任期 5 年, 再任有)  
 専門分野 計算機システム (大規模集積回路のための設計方法, 検証, テスト, 組込みソフトウェア等の研究分野)  
 応募資格 教育と研究に熱意と能力があり, 博士あるいは Ph.D の学位を有するか, 着任時までに取得見込みの方  
 応募締切 平成 24 年 9 月 30 日 (日) 当日消印有効  
 問 合 先 情報工学コース長 高橋 寛, TEL [089] 927-9957  
 FAX [089] 927-9973, takahashi@cs.ehime-u.ac.jp  
 詳 細 <http://www.ehime-u.ac.jp/information/employment/teacher.html>

### ●福岡大学

公募人員 工学部電子情報工学科 教授または准教授 1 名  
 専門分野 伝送方式, ユビキタスネットワーク, ネットワーク管理, QoS, ネットワークセキュリティ等通信工学分野  
 応募資格 博士の学位を有する方. 上記専門分野に加え, 電気回路や計測に関する基礎的内容の講義を担当できる方  
 着任時期 平成 25 年 4 月 1 日

応募締切 平成 24 年 9 月 30 日 (日) 必着  
 問 合 先 電子情報工学科主任 森元 暉  
 詳 細 [http://w3.tl.fukuoka-u.ac.jp/contents/content\\_34.html](http://w3.tl.fukuoka-u.ac.jp/contents/content_34.html)

### ●福岡大学

公募人員 工学部電子情報工学科 助教 1 名  
 専門分野 無線通信システム, ソフトウェア無線, リコンフィギャラブル無線機, 高周波回路, アンテナシステム分野  
 応募資格 博士の学位を有する方 (着任までに取得見込みの方を含む)  
 着任時期 平成 25 年 4 月 1 日  
 応募締切 平成 24 年 9 月 30 日 (日) 必着  
 問 合 先 電子情報工学科教授 太郎丸 真  
 詳 細 [http://w3.tl.fukuoka-u.ac.jp/contents/content\\_35.html](http://w3.tl.fukuoka-u.ac.jp/contents/content_35.html)

### ●福岡大学

公募人員 工学部電子情報工学科 助教 1 名  
 専門分野 ホログラフィー応用, 光応用計測, 光情報通信等を中心とした光エレクトロニクス分野  
 応募資格 博士の学位を有する方 (着任までに取得見込みの方を含む)  
 着任時期 平成 25 年 4 月 1 日  
 応募締切 平成 24 年 9 月 30 日 (日) 必着  
 問 合 先 電子情報工学科准教授 文仙正俊  
 そ の 他 応募書類など詳細は下記 Web を御参照下さい  
 詳 細 [http://w3.tl.fukuoka-u.ac.jp/contents/content\\_35.html](http://w3.tl.fukuoka-u.ac.jp/contents/content_35.html)

### ●宮崎大学

公募人員 工学教育研究部電気システム工学科 准教授 1 名  
 専門分野 電動力駆動システム, 電力システムなどのシステム制御関連分野 (電気系)  
 応募資格 博士の学位を有し, 上記の専門分野に業績があること, 電気電子工学分野の教育ができること, 修士課程の教育・研究指導, 博士後期課程の教育ができること  
 採用予定日 平成 25 年 2 月 1 日  
 応募締切 平成 24 年 10 月 2 日 (火) 必着  
 問 合 先 工学教育研究部電気システム工学科担当 淡野一  
 TEL [0985] 58-7406, tanno@cc.miyazaki-u.ac.jp

### ●立命館大学

公募人員 理工学部電気電子工学科 教授または准教授 1 名  
 専門分野 ハードウェア技術を基盤とする情報処理分野 (データ処理工学, 信号・画像処理, 情報ネットワーク)  
 応募資格 着任までに博士の学位を有し, 上記の専門分野の優れた研究業績がある方  
 着任時期 平成 25 年 4 月 1 日  
 応募締切 平成 24 年 10 月 12 日 (金) 必着  
 問 合 先 電気電子工学科長 服藤憲司  
 TEL [077] 561-5853, harafuji@se.ritsumei.ac.jp  
 詳 細 [http://www.ritsumei.jp/job/index\\_j.html](http://www.ritsumei.jp/job/index_j.html)

### ●岡山大学

公募人員 大学院自然科学研究科 准教授 1 名  
 専門分野 グリーン及びバイオインフォメーション分野の開拓を目的とした, フォトニクス・MEMS・半導体などによるセンシング技術, 集積回路技術, ネットワーク技術, 並び

にそれらの融合技術（センサネットワーク技術等）

着任時期 平成24年度のできるだけ早い時期,または25年4月1日  
 応募締切 平成24年10月15日(月)必着  
 問合先 電気電子機能開発学講座主任 船曳繁之  
 sfunabiki@elec.okayama-u.ac.jp  
 詳細 [http://www.gnst.okayama-u.ac.jp/other/koubo\\_index.html](http://www.gnst.okayama-u.ac.jp/other/koubo_index.html)

### ●岐阜大学

公募人員 工学部応用情報学科 准教授1名  
 専門分野 自然言語処理, 言語工学  
 応募資格 博士の学位を有する方, 大学院博士後期課程の講義を担当できる方  
 着任時期 平成25年1月1日以降の, できるだけ早い時期  
 応募締切 平成24年10月15日(月)必着  
 問合先 伊藤 昭, ai@gifu-u.ac.jp  
 詳細 <http://db.ieice.org/jpn/service/kyokan-show.php?index=2921>

### ●東京電機大学

公募人員 助教2名(有期3年間)  
 所属 工学部電気電子工学科電子光情報コース  
 専門分野 材料・物性分野, 回路・計測分野, 各1名  
 応募資格 着任時に博士の学位を有しているか取得見込みであり, 教育・研究・実務に意欲的な方  
 着任時期 平成25年4月1日  
 応募締切 平成24年10月15日(月)必着  
 問合先 電子光情報コース長 金杉昭徳  
 kanasugi@mail.dendai.ac.jp  
 詳細 <http://atom.dendai.ac.jp/recruit.html>

### ●東京電機大学

公募人員 工学部電気電子工学科電気電子システムコース 助教2名(有期3年間)  
 専門分野 ①エコエネルギー, ②生体・情報システム, ③スマートシステム, ④エレクトロデバイスのいずれかの分野  
 応募資格 博士の学位, 教育・研究への熱意, 校務への貢献  
 着任時期 平成25年4月1日  
 応募締切 平成24年10月15日(月)必着  
 問合先 電気電子システムコース長 高井裕司  
 TEL [03] 5284-5400, takai@cck.dendai.ac.jp  
 詳細 <http://atom.dendai.ac.jp/recruit.html>

### ●東京都立産業技術高等専門学校

公募人員 ものづくり工学科 准教授若しくは助教1名  
 専門分野 コンピュータ設計(アーキテクチャ, OS), コンピュータハードウェア, 論理回路  
 着任時期 平成25年4月1日  
 応募締切 平成24年10月19日(金)必着  
 問合先 ①公募全般: 公立大学法人首都大学東京総務部人事課 人事制度係, kyoinisaiyo@jmj.tmu.ac.jp  
 ②専門分野: 高専品川キャンパス教務主事 富永一利  
 TEL [03] 3801-0145, tomi@s.metro-cit.ac.jp  
 詳細 [http://www.houjin-tmu.ac.jp/recruit\\_teacher/cit.html](http://www.houjin-tmu.ac.jp/recruit_teacher/cit.html)

### ●熊本大学

公募人員 大学院自然科学研究科情報電気電子工学専攻 助教1名  
 専門分野 計算機科学(特に, データベース・データ工学, 並列

分散システム, 情報検索, データマイニング, 機械学習, ソフトウェア工学など)

応募資格 博士学位(取得見込み含む), 研究・教育への意欲  
 着任時期 採用決定後できるだけ早い時期  
 応募締切 平成24年10月31日(水)必着  
 問合先 情報電気電子工学専攻 有次正義  
 TEL [096] 342-3641, aritsugi@cs.kumamoto-u.ac.jp  
 詳細 <http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/saiyou/>

### ●高知工科大学

公募人員 システム工学群 教授, 准教授または講師 計2名  
 専門分野 電子工学及び光エレクトロニクス分野, あるいは医工連携分野, 例えば生体情報処理/計測, バイオエレクトロニクス, メディカルエレクトロニクス分野など  
 応募締切 平成24年10月31日(水)必着  
 問合先 〒782-8502 香美市土佐山田町宮ノ口185  
 高知工科大学システム工学群副学群長 岩下 克  
 TEL [0887] 53-1010, FAX [0887] 57-2120  
 iwashita.katsushi@kochi-tech.ac.jp  
 詳細 <http://www.kochi-tech.ac.jp>

### ●豊田工業大学

公募人員 准教授(TenuredあるいはTenure Track)1名  
 専門分野 知能数理及び関連する情報処理分野(機械学習, データマイニング, 画像認識, 知的インタフェースなど)  
 応募資格 博士の学位取得者  
 着任時期 平成25年4月1日, 若しくはできるだけ早い時期  
 応募締切 平成24年10月31日(水)当日消印有効  
 問合先 知能数理・情報処理分野選考委員会委員長 教授 成清辰生  
 TEL [052] 809-1816, n-tatsuo@toyota-ti.ac.jp  
 詳細 <http://www.toyota-ti.ac.jp/bosyu/index.html>

### ●新潟工科大学

募集人員 助教2名(任期5年)※ただし, 任期の更新または任期の定めのない教員への変更があり得る  
 所属学科 情報電子工学科  
 専門分野 ①グリーンイノベーション(エネルギー)1名  
 ②グリーンイノベーション(電子・情報通信)1名  
 採用日 平成25年4月1日  
 応募締切 平成24年11月2日(金)必着  
 問合先 情報電子工学科教授 金井 靖  
 TEL [0257] 22-8111(代表), kanai@iee.niit.ac.jp  
 詳細 <http://www.niit.ac.jp/>

### ●北陸先端科学技術大学院大学

公募人員 情報科学研究科 助教1名(任期付・再任制度あり)  
 専門分野及び関連する主な職務 計算機システム・情報機器の中核構成要素である集積回路に係る回路・システム論(大規模集積回路やSoCのための回路・システム理論, 解析・シミュレーション, 設計方法, 最適化手法, EDAシステム開発, 検証, テスト等). 学生の指導, 計算機システム・ネットワーク領域の講義の一部を担当  
 応募締切 平成24年11月7日(水)必着  
 問合先 情報科学研究科担当, is-dean@jaist.ac.jp  
 詳細 <http://www.jaist.ac.jp/>

## ●北陸先端科学技術大学院大学

公募人員 情報社会基盤研究センター 助教1名(任期付)  
専門分野及び関連する職務 情報基盤業務部門。本学の情報環境の構築と運用・管理。特に大規模ネットワークシステムのためのシステムソフトウェアとセキュリティの研究・開発、及びセンターサービスとしての実装と運用。情報科学研究科の教員を兼任し、また情報科学研究科の導入講義の一部を担当することがあります

応募締切 平成24年11月19日(月)必着  
問合先 センター長 金子峰雄, mkaneko@jaist.ac.jp  
詳細 <http://www.jaist.ac.jp/>

## ●首都大学東京

公募人員 システムデザイン学部・研究科  
経営システムデザインコース・学域 助教1名  
専門分野 情報ネットワーク工学または経営工学  
着任時期 平成25年4月1日  
応募締切 平成24年11月9日(金)必着  
問合先 総務部人事課人事制度係  
TEL [042] 677-1111 (内線1028)  
kyoinsaiyo@mj.tmu.ac.jp  
詳細 [http://www.houjin-tmu.ac.jp/recruit\\_teacher/tmu.html](http://www.houjin-tmu.ac.jp/recruit_teacher/tmu.html)

## ●京都大学

公募人員 大学院工学研究科電気工学専攻システム基礎論講座  
(システム創成論分野) 教授または准教授1名  
応募資格 博士の学位を有すること。システム理論とシステム工学に関する深い学識と優れた研究業績を有し、数学・物理的な深い考察に基づいて、異なる研究領域を横断し新たな工学の学問分野を切り開く能力を有する方  
着任時期 採用決定後なるべく早い時期  
応募締切 平成24年11月12日(月)当日消印有効  
問合先 工学研究科電気工学専攻長 松尾哲司  
詳細 <http://www.ee.t.kyoto-u.ac.jp/> 教員公募情報参照

## ●福岡工業大学

公募人員 教授、准教授または助教1名  
所 属 情報工学部情報システム工学科  
専門分野 システム工学(電気電子工学、電気自動車など)  
応募資格 博士の学位を有し大学院の教育研究指導が可能な方  
着任時期 平成25年4月1日  
応募締切 平成24年11月22日(木)必着  
問合先 情報工学部情報システム工学科教授 木室義彦  
TEL [092] 606-4813, FAX [092] 606-0754  
kimuro@fit.ac.jp  
詳細 <http://www.fit.ac.jp>

## ●福岡工業大学

公募人員 情報工学部情報通信工学科 特任教員1名  
担当科目 情報通信工学科の実験(回路基礎、電波関連等)及び電気回路関連  
応募資格 着任時の年齢が60歳以上。博士の学位・研究業績・教育経験のある方  
着任時期 平成25年4月1日  
応募締切 平成24年12月7日(金)必着  
問合先 情報通信工学科長 若原俊彦

TEL [092] 606-4948, wakahara@fit.ac.jp

詳細 [http://www.fit.ac.jp/daigaku/koubo/kyoin\\_kobo/kyoin\\_jotsu\\_20120723](http://www.fit.ac.jp/daigaku/koubo/kyoin_kobo/kyoin_jotsu_20120723)

## ●豊橋技術科学大学

公募人員 情報・知能工学系メディア情報学分野 助教2名  
専門分野 (A)情報検索(特にマルチメディア)・機械学習・データマイニング  
(B)テキストマイニング・自然言語処理  
着任時期 平成25年4月1日以降のできるだけ早い時期  
応募締切 平成24年11月30日(金)必着  
問合先 (A)青野雅樹, TEL [0532] 44-6764, aono@tut.jp  
(B)増山 繁, TEL [0532] 44-6894, masuyama@tut.jp  
詳細 <http://www.tut.ac.jp/about/kyoin-koubo.html>

-----  
◎求人欄の執筆要領につきましては下記を御覧下さい。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/koukoku/kyokanshainboshu.html>

◎次回締切 11月号掲載分 平成24年9月25日(火)必着

◎会告求人欄に掲載された内容は本会ホームページにも掲載しておりますので、併せて御覧下さい。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/service/kyokanboshu.html>  
-----

—銀行・ゆうちょ銀行（郵便局）口座  
自動引落しの割引特典のお知らせ—

銀行／ゆうちょ銀行（郵便局）の口座からの会費の自動引落し  
を選ばれますと、次年度基本会費から、5% 割引になる特典がご  
ざいます。

手続きの詳細は下記の URL を御参照下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/service/kaihishiharai/koza.html>

なお、新規にお申込みを希望される方、また口座の変更を行う  
方は 10 月 1 日までに依頼書を事務局宛てに御送付下さい。

—御登録情報の変更・確認はマイページを  
御利用下さい—

<http://www.ieice.org/jpn/service/member/mypage.html>

◆御利用方法

事前に、上記の URL からパスワードを取得の上御利用下さ  
い。なお、パスワードは現在会員システムに登録されているメー  
ルアドレスに自動送信されます。

◆マイページで御利用頂ける内容

- (1) 登録情報の確認／変更について—送付先住所、会費支払方  
法(クレジットカードでの Web 決済、支払い方法の変更)、  
学生員申請、オンラインジャーナル購読内容の変更、  
満 60 歳以上の方の会費減額手続き、退会手続き
- (2) 研究会情報配信サービスのための研究会名登録
- (注) †がついている内容は、会費の金額が変わる事項であり事  
故を防ぐため、マイページのリンク先から申請書類をダウ  
ンロードの上、FAX／郵送して頂く形式をとっております。

和・英論文誌編集委員会

(基礎・境界ソサイエティ)

9 月号 [英文] Software Reliability Engineering

10 月号 [英文] Signal Processing for Practical Applications and  
Implementations

(通信ソサイエティ)

9 月号 [和文] 無線システムの進展の基盤となるアンテナ・伝  
搬技術

9 月号 [英文] Emerging Technologies and Applications for Ad  
Hoc and Wireless Mesh Networks

10 月号 [和文] 多様な社会要請に適応可能なインターネット  
アーキテクチャ

10 月号 [英文] Medical Information Communication Technology  
for Disaster Recovery and Human Health Care  
Support

(エレクトロニクスソサイエティ)

9 月号 [英文] Recent Development of Electro-Mechanical De  
vices (Selected Papers from IS-EMD2011)

10 月号 [英文] Recent Progress in Microwave and Millimeter-  
Wave Technologies

(情報・システムソサイエティ)

9 月号 [和文] 画像符号化・映像メディア処理レター

9 月号 [英文] Software Reliability Engineering

総合版ハンドブック

「知識ベース」の一般公開について

総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開  
を開始しております。一般公開は、会員限定β版  
での公開後3か月を経過した一部のコンテンツが  
対象となります。

閲覧にあたっては、本会ホームページ（トップ  
ページ）→「総合版ハンドブック「知識ベース」」  
または、以下の URL からお入りください。

<http://www.ieice-hbkb.org/portal/>



——人や社会と共生するシステムを実現する  
ネットワークソフトウェア論文特集号

(和文論文誌B) 論文募集——

人や社会と共生するシステムを実現する  
ネットワークソフトウェア論文特集編集委員会

この一年で通信サービスが“人と人のつながり”や“人や社会とのつながり”を実現できることを改めて認識させられました。例えば、災害時でのtwitterによる情報収集、FacebookやmixiなどのSNSを用いた友達作り、スマートフォン、センサを用いた見守りサービスなどが現実のものとなっています。またビジネスの世界では、クラウドコンピューティング、M2Mなどの技術が検討され、通信サービスが“これからの社会”の実現の原動力になることが更に期待されています。

通信ソサイエティにおいても、このような人と人、あるいは人と社会の共生の推進を、通信システムがどのように実現していくかの課題について、ネットワークシステムや情報ネットワーク等の第一種研究会はもとより、ネットワークソフトウェア時限研究専門委員会においても活発に議論が進められています。例えば、サービスのアイデアを早く実現するための手法、“漠然とした不安”を取り除くためのセキュリティ技術、安定したサービス提供のためのシステム設計手法、サービス実現のための新しい方法論などが課題として考えられます。このようなサービスを広く確実なものとするために、ネットワークとネットワークソフトウェア技術の応用によるサービスの設計、開発、評価、運用など技術的課題を研究・技術者間で共有し、これまでのシステム開発のための検討で得られた知見を広く共有することが求められます。このような背景を踏まえ、人や社会と共生するシステムを実現するネットワークソフトウェア論文特集号(平成25年8月号)を企画しました。本特集では、ネットワークソフトウェアに関連する分野について、理論・実験に関するものはもとよりシステム開発に関する論文を広く求めます。皆様の積極的な御投稿をお願い申し上げます。

1. 対象分野

[ネットワークサービスソフトウェア技術]

以下に列挙するネットワークサービスを実現するためのソフトウェア技術：Socio-Familiar Personalized Service (S-P サービス)、ユビキタスサービス、クラウドコンピューティング、プレゼンス・コンテキストウェアサービス、グループウェア、VoIP (Voice over IP)、通信放送融合、Web サービス、サービス指向アーキテクチャ、サービス連携、コンテンツ配信、ソフトウェア定義ネットワーク、ソーシャルウェア、マルチメディアストリーム、人と機械の共生、M2M (Machine to Machine)、SNS (Social Network Service)、RFID (Radio Frequency Identifier) 応用サービス

[ネットワーク制御管理ソフトウェア技術]

以下に列挙するネットワーク制御管理技術を実現するためのソフトウェア技術：SIP (Session Initiation Protocol)、QoS (Quality of Service) 制御、トラフィック制御、Bandwidth On Demand、ネットワーク品質、ネットワーク管理、ポリシー管理、ネットワークオペレーション、移動管理

[ネットワークソフトウェア基盤技術]

以下に列挙するネットワーク基盤を実現するためのソフトウェア技術：ポスト NGN、NGN、オーバレイネットワーク、P2P ネットワーク、SDP (Service Delivery Platform)、モバイルネットワーク、LTE (Long Term Evolution)、第4世代携帯電話、FMC (Fixed Mobile Convergence)、アドホックネットワーク、ホーム ICT、オフィス ICT、センサネットワーク、クラウドネットワーク、CDN (Content Delivery Network)、PAN (Personal Area Network)、DRM (Digital Rights Management)、セキュリティ、認証、VPN (Virtual Private Network)、マルチキャスト、IPv6、ネットワークミドルウェアソフト

[ソフトウェア要素技術]

上記ネットワーク基盤・サービス・制御管理技術を実現するソフトウェアに関する要素技術：オブジェクト指向、アスペクト指向、リファクタリング、モデル駆動アーキテクチャ、コンポーネント指向、リアルタイムソフトウェア、高信頼ソフトウェア、高可用ソフトウェア、オープンソースソフトウェア、ネットワーク仮想化、自己組織化、オープン API、分散オブジェクト、分散処理プラットフォーム、通信プログラム言語、通信 OS (Operating System)、スクリプト言語、セキュア OS、セキュアプログラミング、エージェント、プログラマブルネットワーク、ソフトウェア発展機構、オントロジー

[ネットワークソフトウェア開発管理技術]

上記ネットワーク基盤・サービス・制御管理技術を実現するソフトウェア開発管理技術：ソフトウェア品質保証、仕様記述、仕様検証、開発環境、開発手法、試験技術、設計パラダイム、アジャイル開発、テスト駆動開発、ネットワークソフトウェア性能測定・性能向上技術

[その他のネットワークソフトウェア技術]

2. 論文の執筆と取扱い

通常の一般論文と同一とし、論文は原則として刷り上がり8ページ以内とします。詳細は和文論文誌投稿のしおり [http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs\\_mokuji.html](http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 主なスケジュール

投稿締切日：平成24年11月20日(火) 厳守

最終判定予定：平成25年4月中旬

発行月：平成25年8月号

4. 投稿方法

(A) 郵送

[https://review.ieice.org/regist\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist_j.aspx) にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

(B) 電子投稿

[https://review.ieice.org/regist\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist_j.aspx) にアクセスし、投稿原稿のPDFファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

【注意】登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール(Notification registration completion)が送信されますので、メール内に記載のURLから「仮登録情報の修正/削除、電子投稿(原稿のアップロード)画面」にアクセスして下さい。表示される画面から原稿のアップロードができます。

で、必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

送付先：

一般社団法人電子情報通信学会 編集出版部論文課  
〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館  
E-mail : wabun-b@ieice.org FAX [03] 3433-6616

## 5. 特集編集委員会

委員長 水野 修 (工学院大)  
編集幹事 末田欣子 (NTT), 宮本大輔 (東大)  
編集委員 伊藤 篤 (KDDI 研), 太田 理, 角田良明 (広島市大), 加藤 圭 (OKI), 北方 元 (東北大), 中村光宏 (富士通), 新津善弘 (芝浦工大), 三宅優 (KDDI 研), 若原 恭 (東大)

## 6. 問合せ先

末田欣子 (NTT ネットワーク基盤技術研究所)  
E-mail : sueda.yoshiko@lab.ntt.co.jp  
TEL [0422] 59-3036, FAX [0422] 59-6364

## ——ヒト・モノ・データをつなげる

### インターネットアーキテクチャ特集号

(和文論文誌 B) 論文募集——

ヒト・モノ・データをつなげるインターネット  
アーキテクチャ特集編集委員会

インターネットは現代社会における様々な活動を支える重要な基盤としてなくてはならない存在となり、従来の通信網では実現困難な可用性や新規サービスの迅速な提供に大いに貢献しています。特に、最近では SNS (ソーシャルネットワークサービス) やスマートフォンの急速な普及により、ネットワークを介したヒトとヒト、あるいはヒトとモノのつながりが重要になってきています。その一方で、クラウドサービスやサイバーフィジカルシステムなどを利用した、個人や企業が多様かつ大量のデータを利用できる環境が整いつつあり、これによって社会全体の発展をもたらす技術の開発が望まれています。このように、ネットワーク技術自体の進化に加えて、ヒト・モノ・データをつなげる技術に関する議論が必要になってきています。

このような状況を踏まえ、本特集号 (平成 25 年 10 月号) では、インターネットの基本設計や設計思想につながる基盤技術、運用技術、更には新しい技術の展開に関する論文に加えて、新しいアプリケーションやネットワークを活用した社会システムなど、ヒト・モノ・データをつなげるインターネットアーキテクチャに関する論文 (一般、システム開発論文、及びレター) を募集します。皆様の積極的な御投稿をお願い致します。

## 1. 対象分野

- ・ネットワークアーキテクチャ技術
- ・セキュリティ技術
- ・アプリケーション技術
- ・実装・応用技術
- ・ミドルウェア技術
- ・プロトコル技術
- ・ルーティング技術
- ・トラフィック制御技術
- ・サステナビリティ技術
- ・ディペンダビリティ技術
- ・システム仮想化技術
- ・ホームネットワーク

- ・センサネットワーク
- ・モバイルデバイス活用技術
- ・コミュニケーション技術
- ・情報・コンテンツの拡散・流通技術
- ・遅延・分断耐性ネットワーク (DTN)
- ・省電力ネットワーク技術
- ・ネットワークを活用した省電力化技術
- ・医療・ヘルスケア応用
- ・ITS 応用
- ・計測・管理・運用技術
- ・サイバーフィジカルシステム
- ・Internet of things
- ・システムの迅速な導入・展開に関する技術
- ・シームレスなシステム移行技術
- ・クラウドサービス

## 2. 論文の執筆と取扱い

・通常の一般論文と同一とし、論文は原則として刷り上がり 8 ページ以内とします。詳細は、投稿のしおりを御参照下さい。

[http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs\\_mokuji.html](http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html)

・査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

## 3. 主なスケジュール

投稿締切日：平成 25 年 1 月 31 日 (木) 厳守  
初回判定通知：平成 25 年 3 月中旬を予定  
最終判定通知：平成 25 年 6 月中旬を予定  
発行月：平成 25 年 10 月号

## 4. 問合せ先

山井成良 (岡山大学情報統括センター)  
〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1  
TEL [086] 251-7238, FAX [086] 251-7244  
E-mail : yamai@cc.okayama-u.ac.jp

## 5. 投稿方法

### (A) 郵送

[https://review.ieice.org/regist\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist_j.aspx) にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

### (B) 電子投稿

[https://review.ieice.org/regist\\_j.aspx](https://review.ieice.org/regist_j.aspx) にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

**【注意】** 登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール (Notification registration completion) が送信されますので、メール内に記載の URL から「仮登録情報の修正/削除、電子投稿 (原稿のアップロード) 画面」にアクセスして下さい。表示される画面から原稿のアップロードができますので、必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

### 【送付先】

一般社団法人電子情報通信学会 編集出版部論文課  
〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館  
FAX [03] 3433-6616 E-mail : wabun-b@ieice.org  
郵送時、封筒に「インターネットアーキテクチャ」特集号と朱記して下さい。

## 6. 特集編集委員会

編集委員長 福田健介 (NII)

編集幹事 山井成良 (岡山大), 義久智樹 (阪大)

編集委員 白井 健 (NICT), 近堂 徹 (広島大), 中村素典 (NII), 福本昌弘 (高知工科大), 三宅 繁 (日立), 宮地利幸 (NICT), 柳生智彦 (NEC), 山本成一 (東大), 山本 寛 (長岡技科大), 吉田健一 (筑波大)

## ——並列分散コンピューティングと ネットワーク小特集号

(英文論文誌 D) 論文募集——

並列分散コンピューティングと  
ネットワーク小特集編集委員会

近年, システムの大規模化や高度化, ネットワーク利用の拡大や複雑さの増大に伴い, 並列分散コンピューティングの重要性はますます高まっています。VLSI 技術やネットワーク技術の発展に伴ってこの研究分野のカバーする対象領域は年々拡大しており, 学界のみでなく, 将来の産業界においても重要な役割を果たすことが期待されています。2012年12月に沖縄で開催される ICNC'12 や関連する国際会議の発表者・参加者, 関連研究に携わる方々に広く投稿を呼びかけ, この分野における最新の研究動向を集めることを目的に「並列分散コンピューティングとネットワーク」小特集号 (平成25年12月号) を企画しました。本小特集では, 並列分散コンピューティングとネットワークに関する論文を広く募集します。並列分散コンピューティングに係る有用な手法の提案に加え, 具体的なシステムの実装に係るシステム開発論文なども歓迎致します。

### 1. 対象分野

- 並列・分散アルゴリズムとその応用 (高性能計算, 画像・グラフィックス処理, データマイニング, マルチコア・アクセラレータ利用計算, クラスタ計算, ネットワークアルゴリズム, グリーンコンピューティング, シミュレーションと可視化, 性能モデルと評価など)
- 並列・分散システムとアーキテクチャ (並列・分散システム, クラスタ, グリッド, 並列ストレージシステム, ネットワークオンチップ, ネットワークアーキテクチャ, 高性能インタコネクトなど)
- 分散システムとネットワーク (ユビキタス計算, P2P ネットワーク, ワイヤレスネットワークとモバイル計算など)
- 並列・分散ソフトウェア (オペレーティングシステム, ミドルウェア, ツール, 並列プログラミングモデルと言語, 分散エージェント技術, Web サービスとインターネットコンピューティング, クラスタ・グリッド・クラウドの資源管理とスケジューリングなど)

### 2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。原則として刷り上がり8ページ以内とします。詳細は Information for Authors ([http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_iss.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html)) を御参照下さい。小特集号であることから, 査読後の再提出期間 (通常60日) を短縮することがあります。また, 論文採録の場合は, 掲載別刷代が必要となりますので御了承下さい。

### 3. 論文投稿締切日 平成24年12月25日 (火)

### 4. 投稿方法

投稿は, 本会電子投稿システム [https://review.ieice.org/regist\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist_e.aspx) による電子投稿とします。なお登録時には必ず "Type of Issue (Section)/Transactions" で [Special-ED] Parallel and Distributed Computing を選択して下さい。[Regular-ED] や他の特集号を選択されませんよう御注意下さい。仮登録用紙と著作権譲渡承諾書は印刷して下記問合せ先へ平成25年1月11日 (金) までに, 電子メール, FAX, 郵便のいずれかにてお送り下さい。

### 5. 問合せ先

緑川博子 成蹊大学理工学部情報科学科

〒180-8633 武蔵野市吉祥寺北町3-3-1

TEL [0422] 37-3773, FAX [0422] 37-3871

E-mail: [midori@st.seikei.ac.jp](mailto:midori@st.seikei.ac.jp)

### 6. 小特集編集委員会

編集委員長 天野英晴 (慶大)

幹事 井上浩明 (NEC), 藤原暁宏 (九工大), 緑川博子 (成蹊大)

委員 安里 彰 (富士通), 荒川 豊 (九大), 泉 泰介 (名工大), 市川周一 (豊橋技科大), 井口 寧 (北陸先端大), 片山喜章 (名工大), 北須賀輝明 (熊本大), 鯉淵道紘 (NII), 笹部昌弘 (阪大), 塩谷亮太 (名大), 柴田裕一郎 (長崎大), 新熊亮一 (京大), 田頭茂明 (関西大), 竹房あつ子 (産総研), 中田秀基 (産総研), 藤田 聡 (広島大), 松澤照男 (北陸先端大), 森野博章 (芝浦工大), 山内利宏 (岡山大), 山口弘純 (阪大), 横田隆史 (宇都宮大), Jacir Luiz Bordim (ブラジリア大)

### 7. 重要なお知らせ

\* 採録が決まった論文等の著者 (招待論文も含む) には, 最終原稿の提出方法に応じて掲載別刷代が必要となります。この掲載別刷代には, 別刷50部が含まれています。

\* 投稿に際しては, 著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については, 投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい:  
<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

## ——ディペンダブルコンピューティング小特集号

(英文論文誌 D) 論文募集——

ディペンダブルコンピューティング小特集編集委員会

本小特集号は, 新潟において, 2012年11月18日~19日に開催される「The 18th Pacific Rim International Symposium on Dependable Computing」, 2012年11月19日~22日に開催される「The 21st Asian Test Symposium」, 及び2012年11月22日~23日に開催される「The 13th Workshop on RTL and High Level Testing」での発表論文を主体に「ディペンダブルコンピューティング」の分野の論文を募集致します。安心・安全な情報社会を実現するためには, 情報システムを構成するハードウェア・ソフトウェア・ネットワークの品質・信頼性を測定・評価・管理する技術, 及びハードウェアのテスト・検証に関する技術を確立することは重要となります。そこで, 今後のディペンダブルコンピューティングに関する研究の一層の躍進を目的とし, 本小

特集号（2013年9月号掲載）を企画致します。

### 1. 対象分野

ハードウェア・ソフトウェア信頼性、ネットワーク信頼性、モデリング・評価、計測・実証、耐故障システム、設計とアルゴリズム、安全性、情報セキュリティ、テスト生成、アナログ/ミックスドシグナルテスト、組込み自己テスト、テスト容易化設計、設計検証、Defect-Based Testing、遅延テスト、故障診断、故障モデル、故障シミュレーション、オンラインテスト、System-on-a-ChipTest、テスト圧縮、テスト品質、ハイレベルテスト生成、RTLテスト生成

### 2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として、論文の場合は刷り上がり8ページ、レターの場合は刷り上がり2ページを標準とします。初期投稿時のレターの最大ページ数は4ページです。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors ([http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji\\_iss.html](http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html)) を御参照下さい。

### 3. 投稿方法

Webによる電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順1: [https://review.ieice.org/regist\\_e.aspx](https://review.ieice.org/regist_e.aspx) より登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体 (TeX/Word)、図、著者の写真、biographyも投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Type of Issue (Section)/Category of Transactions”で [Special-ED] Dependable computing を選択して下さい。[Regular-ED] を決して選択しないで下さい。

手順2: 登録時に生成される“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を、論文投稿締切日までに下記送

付先へ電子メール添付、FAX、郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

### 4. 論文投稿締切日 2012年12月28日(火) 必着

### 5. 投稿書類送付先及び問合せ先

土肥 正 広島大学大学院工学研究科情報工学専攻  
〒739-8527 東広島市鏡山一丁目4番1号  
TEL [082] 424-7698, FAX [082] 422-7025  
E-mail: dohi@rel.hiroshima-u.ac.jp

### 6. 小特集編集委員会

編集委員長: 高橋 寛 (愛媛大)  
幹事: 土肥 正 (広島大)  
幹事補佐: 細川利典 (日大), 市原英行 (広島市大)  
編集委員: 井上智生 (広島市大), 井上美智子 (奈良先端大), 大竹哲史 (大分大), 岡村寛之 (広島大), 梶原誠司 (九工大), 金川信康 (日立), 北神正人 (千葉大), 土屋達弘 (阪大), 中尾教伸 (ルネサスエレクトロニクス), 中村 宏 (東大), 橋爪正樹 (徳島大), 浜口清治 (阪大), 樋上喜信 (愛媛大), 福本 聡 (首都大東京), 三浦幸也 (首都大東京), 横田治夫 (東工大), 米田友洋 (NII)

### 7. 付記

- \*招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代 (別刷50部含む) が必要となります。
- \*投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。  
<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

## ——各種証明、閲覧の手数料について——

電子情報通信学会では、各種の証明、閲覧について、下記のとおり料金を頂きますので御了承下さい。

なお、突然来局された場合すぐに対応できない場合がありますので、必ず前もって御連絡下さるようお願い致します。

TEL [03] 3433-6691 ※は、TEL [03] 3433-6692

種類	内容	料金 (税込)	備考
証明手数料	特許証明	会員 200円/件 非会員 500円/件	
	在会証明書	無料	
閲覧手数料	会誌・論文誌※ 技術研究報告 各種大会論文集 その他本会出版物	会員 無料 非会員 300円/冊 コピー 10円/枚	料金は1冊(綴)ごととします。

(注) 会員からの依頼で非会員が代行される場合は、非会員の料金となります。

論文特集号論文募集カレンダー

◎基礎・境界ソサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
周波数発生・制御デバイスの新展開特集	・24年9月5日(水) ・和文誌 A 25年6月号	藤井 知：千葉大学産学連携・知的財産機構 TEL [043] 290-3994 E-mail : s_fujii@faculty.chiba-u.jp	6月号	A分冊 6～8月号
Special Section on Circuit, System, and Computer Technologies	・24年9月20日(木) ・英文誌 A 25年6月号	Shingo YAMAGUCHI : Graduate School of Science and Engineering, Yamaguchi University FAX [0836] 85-9501 E-mail : ieice_csct_secretary@ieice.org	7月号	A分冊 7～9月号 EA分冊 7～9月号
離散数学とその応用小特集	・24年9月24日(月) ・英文誌 A 25年6月号	古賀久志：電気通信大学大学院情報システム学研究科 TEL [042] 443-5601, FAX [042] 443-5601 E-mail : koga@is.uec.ac.jp	7月号	A分冊 7～9月号 EA分冊 7～9月号
電子情報通信分野における萌芽的研究小特集	・24年10月31日(水) ・和文誌 A 25年8月号	岡 育生：大阪市立大学大学院工学研究科電子情報系専攻 E-mail : oka@info.eng.osaka-cu.ac.jp	8月号	A分冊 8～10月号
Special Section on Nonlinear Vibration in Mechanical Systems and Its Control —from Nano to Macro—	・24年10月10日(水) ・NOLTA 25年6月号	Kohei Yamasue : Dielectric nano-devices, Research Institute of Electrical Communication, Tohoku University FAX [022] 217-5526 E-mail : yamasue@riec.tohoku.ac.jp	8月号	

◎通信ソサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
震災復興や新興国の近未来に役立つ情報ネットワーク技術特集	・24年10月1日(月) ・和文誌 B 25年6月号	船越裕介：NTT サービスインテグレーション研究所次世代ネットワーク方式SEプロジェクト TEL [0422] 59-7839 E-mail : in-wb2013@m.ieice.org	7月号	B分冊 7～9月号
次世代セルラシステムのためのヘテロジーニアスネットワーク小特集	・24年10月12日(金) ・英文誌 B 25年6月号	須山 聡：東京工業大学大学院理工学研究科集積システム専攻 TEL [03] 5734-3770, FAX [03] 5734-3770 E-mail : rcs_ac-hetnet@mail.ieice.org	7月号	B分冊 7～9月号 EB分冊 7～9月号
若手研究者のためのブラッシュアップ特集	・24年10月30日(火) ・和文誌 B 25年7月号	佐波孝彦：千葉工業大学 TEL [047] 478-0532 E-mail : saba@m.ieice.org	7月号	B分冊 7～9月号
ワイヤレスシステムを支える技術を融合するアンテナ・伝搬技術論文特集	・25年1月7日(月) ・和文誌 B 25年9月号	笹森崇行：秋田県立大学システム科学技術学部 TEL [0184] 27-2103, FAX [0184] 27-2212 E-mail : sasa@akita-pu.ac.jp	8月号	B分冊 8～10月号
持続的な発展を可能とするインターネットアーキテクチャ、プロトコル、管理手法小特集	・24年11月7日(水) ・英文誌 B 25年7月号	秋山豊和：京都産業大学コンピュータ理工学部 TEL [075] 705-1531, FAX [075] 705-1531 E-mail : ia-eb-1307-submit@inl.ics.keio.ac.jp	8月号	B分冊 8～10月号 EB分冊 8～10月号
人や社会と共生するシステムを実現するネットワークソフトウェア論文特集	・24年11月20日(火) ・和文誌 B 25年8月号	末田欣子：日本電信電話(株)ネットワーク基盤技術研究所 TEL [0422] 59-3036, FAX [0422] 59-6364 E-mail : sueda.yoshiko@lab.ntt.co.jp	9月号	B分冊 9～11月号
ヒト・モノ・データをつなげるインターネットアーキテクチャ特集	・25年1月31日(木) ・和文誌 B 25年10月号	山井成良：岡山大学情報統括センター TEL [086] 251-7238, FAX [086] 251-7244 E-mail : yamai@cc.okayama-u.ac.jp	9月号	B分冊 9～11月号

◎エレクトロニクスサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
エレクトロニクス分野におけるシミュレーション技術の進展特集	・24年9月7日(金) ・和文誌 C 25年6月号	平田晃正：名古屋工業大学大学院情報工学専攻 TEL [052] 735-7916, FAX [052] 735-7916 E-mail：ahirata@nitech.ac.jp	6月号	C分冊 6～8月号
アナログ回路技術とSoC向け混載技術に関する小特集	・24年10月5日(金) ・英文誌 C 25年6月号	古田雅則：(株)東芝研究開発センターワイヤレスシステムラボラトリ TEL [044] 549-2280, FAX [044] 520-1806 E-mail：masanori.furuta@toshiba.co.jp	6月号	C分冊 6～8月号 EC分冊 6～8月号
集積光デバイス技術小特集	・24年10月31日(水) ・英文誌 C 25年7月号	植之原裕行：東京工業大学精密工学研究所 TEL [045] 924-5038, FAX [045] 924-5038 E-mail：uenohara.h.aa@m.titech.ac.jp	7月号	C分冊 7～9月号 EC分冊 7～9月号

◎情報・システムサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
画像の認識・理解特集	・24年10月10日(水) ・和文誌 D 25年8月号	大町真一郎：東北大学大学院工学研究科電気・通信工学専攻 TEL [022] 795-7087, FAX [022] 795-7086 E-mail：machi@ecei.tohoku.ac.jp	6月号	D分冊 6～8月号
リコンフィギャラブルシステム小特集	・24年11月1日(木) ・英文誌 D 25年8月号	佐野健太郎：東北大学大学院情報科学研究科情報基礎科学専攻 TEL [022] 795-4541, FAX [022] 795-4541 E-mail：kentah@caero.mech.tohoku.ac.jp	6月号	D分冊 6～8月号 ED分冊 6～8月号
インターネット技術とその応用特集	・24年9月3日(月) ・和文誌 D 25年6月号	山本 寛：長岡技術科学大学電気系 TEL [0258] 47-9510, FAX [0258] 47-9521 E-mail：ia-jd2012-sec@mail.ieice.org	7月号	D分冊 7～9月号
ディバダブルコンピューティング小特集	・24年12月28日(火) ・英文誌 D 25年9月号	土肥 正：広島大学大学院工学研究科情報工学専攻 TEL [082] 424-7698, FAX [082] 422-7025 E-mail：dohi@rel.hiroshima-u.ac.jp	9月号	D分冊 9～11月号 ED分冊 9～11月号
並列分散コンピューティングとネットワーク小特集	・24年12月25日(火) ・英文誌 D 25年12月号	緑川博子：成蹊大学理工学部情報科学科 TEL [0422] 37-3773, FAX [0422] 37-3871 E-mail：midori@st.seikei.ac.jp	9月号	D分冊 9～11月号 ED分冊 9～11月号